

平成21年 (2009年)

久米島町議会会議録

第4回臨時会 (7月7日)	1日間
第5回臨時会 (7月14日)	1日間
第6回臨時会 (7月28日)	1日間
第7回定例会 (9月10日～25日)	16日間

久米島町議会

目 次

目 次	I
平成21年第4回久米島町議会臨時会会期日程	V
平成21年第5回久米島町議会臨時会会期日程	VI
平成21年第6回久米島町議会臨時会会期日程	VII
平成21年第7回久米島町議会定例会会期日程	VIII
平成21年第7回定例会一般質問通告一覧表	IX

〈平成21年第4回久米島町議会臨時会（7月7日）〉

第1号（7月7日）

出席議員	1
議事日程第1号	2
開会	3
日程第1 会議録署名議員の指名	3
日程第2 会期の決定	3
日程第3 発議第4号 県立久米島高等学校園芸科の存続を求める要請決議について	3
日程第4 閉会中の議員派遣について	4
散会	6

〈平成21年第5回久米島町議会臨時会（7月14日）〉

第1号（7月14日）

出席議員	7
議事日程第1号	8
開会	9
日程第1 会議録署名議員の指名	9
日程第2 会期の決定	9
日程第3 議案第30号 平成21年度久米島町一般会計補正予算（第3号）について	9
日程第4 議案第31号 久米島町消防本部救助ボート購入請負契約について	28
日程第5 議案第32号 久米島町結婚披露宴助成金支給条例の一部を改正する条例 について	31
閉会	34

平成21年第6回久米島町議会臨時会（7月28日）

第1号（7月28日）

出席議員	37
議事日程第1号	38
開会	39
日程第1 会議録署名議員の指名	39
日程第2 会期の決定	39
日程第3 議案第33号 久米島町営路線バス車両購入契約について	39
日程第4 議案第34号 久米島町営路線バス車両購入契約について	41
閉会	45

平成21年第7回久米島町議会定例会（9月10日）

第1号（9月10日）

出席議員	47
議事日程第1号	48
開会	49
日程第1 会議録署名議員の指名	49
日程第2 会期の決定	49
日程第3 議長諸般報告	49
日程第4 一般質問	49
散会	84

平成21年第7回久米島町議会定例会（9月11日）

第2号（9月11日）

出席議員	87
議事日程第2号	88
開会	89
日程第1 会議録署名議員の指名	89
日程第2 議案第40号 久米島町地域雇用創出推進基金条例について	89
日程第3 議案第41号 久米島町財政調整基金条例の一部を改正する条例について	95
日程第4 議案第42号 久米島町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	97
日程第5 議案第35号 平成21年度久米島町一般会計補正予算（第4号）について	98
日程第6 議案第36号 平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	108

日程第7	議案第37号	平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第1号）について	110
日程第8	議案第38号	平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	111
日程第9	議案第39号	平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	112
日程第10	議案第43号	4号農道整備工事請負契約について	113
日程第11	認定第1号	平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について	115
日程第12	認定第2号	平成20年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	118
日程第13	認定第3号	平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について	121
日程第14	認定第4号	平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について	122
日程第15	認定第5号	平成20年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について	123
日程第16	認定第6号	平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について	124
日程第17	認定第7号	平成20年度久米島町水道事業会計決算認定について	125
日程第18	報告第5号	平成20年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	126
		散会	126

平成21年第7回久米島町議会定例会（9月25日）

第3号（9月25日）

出席議員	129		
議事日程第3号	130		
開会	131		
日程第1	会議録署名議員の指名	131	
日程第2	認定第1号	平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について	131
日程第3	認定第2号	平成20年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	131
日程第4	認定第3号	平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について	131

日程第5	認定第4号	平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について	131
日程第6	認定第5号	平成20年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について	131
日程第7	認定第6号	平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について	131
日程第8	認定第7号	平成20年度久米島町水道事業会計決算認定について	131
日程第9	報告第6号	平成21年度健全化判断比率及び貸金不足比率の報告について	137
日程第10	発議第5号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書について	138
日程第11		閉会中の議員派遣の件について	138
		閉会	139

平成21年第4回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会 平成21年7月7日（火）
 閉 会 平成21年7月7日（火） 会期1日間

月 日	曜日	会議別	開議時刻	摘 要
7月7日	火	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 会期の決定 ○ 議案審議 発議第2号 ○ 閉会

平成21年第5回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会 平成21年7月14日（火）
 閉 会 平成21年7月14日（火） 会期1日間

月 日	曜日	会議別	開議時刻	摘 要
7月14日	火	本会議	午後3時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 会期の決定 ○ 議案審議 議案第30号 議案第31号 議案第32号 ○ 閉会

平成21年第6回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会 平成21年7月28日（火）
 閉 会 平成21年7月28日（火） 会期1日間

月 日	曜日	会議別	開議時刻	摘 要
7月28日	火	本会議	午後1時45分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 会期の決定 ○ 議案審議 議案第33号 議案第34号 ○ 閉会

平成21年 第7回久米島町議会定例会 会期日程

開 会 平成21年 9月10日（木）
 閉 会 平成21年 9月25日（金） 会期16日間

月 日	曜日	会議別	開議時刻	摘 要									
9月10日	木	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 会期の決定 ○ 議長諸般の報告 ○ 一般質問 ○ 散会 									
9月11日	金	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開議 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 議案審議 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>議案第35号</td> <td>議案第36号</td> <td>議案第37号</td> </tr> <tr> <td>議案第38号</td> <td>議案第39号</td> <td>議案第40号</td> </tr> <tr> <td>議案第41号</td> <td>議案第42号</td> <td>議案第43号</td> </tr> </table> 報告第5号 ○ 散会 	議案第35号	議案第36号	議案第37号	議案第38号	議案第39号	議案第40号	議案第41号	議案第42号	議案第43号
議案第35号	議案第36号	議案第37号											
議案第38号	議案第39号	議案第40号											
議案第41号	議案第42号	議案第43号											
9月12日	土	休 会											
9月13日	日	休 会											
9月14日	月	休 会											
9月15日	火	休 会											
9月16日	水	休 会											
9月17日	木	休 会											
9月18日	金	休 会											
9月19日	土	休 会											
9月20日	日	休 会											
9月21日	月	休 会											
9月22日	火	休 会											
9月23日	水	休 会											
9月24日	木	休 会											
9月25日	金	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開議 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 議案審議 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>認定第1号</td> <td>認定第2号</td> <td>認定第3号</td> </tr> <tr> <td>認定第4号</td> <td>認定第5号</td> <td>議案第6号</td> </tr> </table> 認定第7号 報告第6号 発議第5号 ○ 閉会 	認定第1号	認定第2号	認定第3号	認定第4号	認定第5号	議案第6号			
認定第1号	認定第2号	認定第3号											
認定第4号	認定第5号	議案第6号											

平成21年第7回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	頁
1	上里総功議員	1. バーデハウス久米島の経営について	49 p ~ 54 p
2	仲村昌慧議員	1. カジノについて	54 p ~ 57 p
		2. 大原下線の歩道設置について	
3	宮里洋一議員	1. 具志川農村環境改善センター周辺の外灯設置について	57 p ~ 59 p
4	平良義徳議員	1. 堆肥センターについて	59 p ~ 61 p
5	饒平名智弘議員	1. 中高一貫教育について	61 p ~ 63 p
6	崎村正明議員	1. グリーンビュー阿里の環境整備について	63 p ~ 66 p
7	宇江原総清議員	1. 鳥島射爆撃場の早期返還と自衛隊駐屯基地の問題について	66 p ~ 76 p
		2. コンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽について(河川問題を含む)	
		3. 久米島町立中央保育所民営化に対する町の対応について	
		4. 堆肥センターチップ機器の対応について	
		5. タイムカード改ざんについて	
8	幸地良雄議員	1. 遊休施設の有効利用について	76 p ~ 81 p
9	宮田勇議員	1. インターハイ(高校総体)の会場誘致について	81 p ~ 84 p

平成21年（2009年）

第4回久米島町議会臨時会

1日目

7月7日

平成21年 第4回久米島町議会臨時会

会議録 第1号

招集年月日	平成21年7月7日 (火曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	7月7日 午前10時30分	議長	山里昌輝
	閉会	7月7日 午前10時37分	議長	山里昌輝
応招議員 出席議員 出席14名 欠席0名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	崎村正明	8番	幸地良雄
	2番	宮田勇	9番	上里総功
	3番	饒平名智弘	10番	安村達明
	4番	宇江原総清	11番	宮里洋一
	5番	山城宗太郎	12番	翁長学
	6番	仲村昌慧	13番	平良義徳
	7番	喜久里猛	14番	山里昌輝
(不応招) 欠席議員	番			
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	7番	喜久里猛	8番	幸地良雄
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原秀雄	書記	
	係長	安田栄		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長		教育課長		
副町長		商工観光課長		
教育長		環境保全課長		
総務課長		建設課長		
町民課長		農林水産課長		
企画財政課長		農業委員会事務局長		
プロジェクト推進室長		上下水道課長		
税務課長		消防長		
福祉課長		空港管理事務所長		
会計管理者				

平成21年 第4回久米島町議会臨時会

議事日程〔第1号〕

平成21年7月7日(火)

午前10時30分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	3p
第2		会期の決定	3p
第3	発議第4号	県立久米島高等学校園芸科の存続を求める要請決議について	3p
第4		閉会中の議員派遣について	4p
		閉会	6p

(午前 10時30分 開議)

○ 議長 山里昌輝

おはようございます。これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 山里昌輝

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、7番喜久里猛議員、8番幸地良雄議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 山里昌輝

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日7月7日の1日間としたいと思っております。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。従って、会期は本日の1日間に決定しました。

日程第3 県立久米島高等学校園芸科の存続を求める決議書について

○ 議長 山里昌輝

日程第3、発議第4号、県立久米島高等学校園芸科の存続を求める決議書についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

12番翁長学議員。

○ 12番 翁長学議員

発議第4号 平成21年7月7日

久米島町議会議長 山里昌輝殿

提出者 久米島町議会議員 翁長学

賛成者 久米島町議会議員 饒平名智弘

県立久米島高等学校園芸科の存続を求める要請決議

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第14条の規定により提出します。

提案理由

久米島高等学校園芸科が廃科になった場合、農業関係の高校に進学したい生徒は沖縄本島の高校に進学しなければならなくなり、保護者の経済的負担も非常に大きくなる。

よって、本町議会は久米島高等学校園芸科の存続を求める為、本案を提出する。

県立久米島高等学校園芸科の存続を求める要請決議

県立久米島高等学校は昭和21年、県立糸満高等学校久米島分校として設立され今年で63年目になります。これまで8,613名の卒業生を輩出し、各界でめざましい活躍をしている。島で唯一の高校として、教職員、生徒を中心にPTA、同窓会、地域住民のご協力の下、輝かしい業績を残してきている。

しかしながら、今年度県教育庁より、来年度からの園芸科の募集を廃止し、3年後には廃科にしたいという打診があった。理由は3年連続定員が半分以下であり、久米島高校だけ特別な配慮ができないとのことである。

園芸科は平成2年学科改編に伴い、農業科、家政科を募集停止とし設置された学科で、これまで久米島に対して貢献は計り知れないものがあります。

一例をあげると、久米島空港玄関前の装飾や空港内装飾、久米島マラソン大会での一周道路沿道の装飾、島内小中学校への校内装飾用の草花苗の配布、無農薬野菜の販売、保育園児を農場に招いての「野菜・卵の収穫実習」即売会の実施、島内の希少植物「カワラナデシコ」「ハマボウフウ」の保護・生態調査等、様々な取り組みを行ってきている。

園芸科が廃止となった場合、沖縄本島の農業関係の学校に進学しなければならなくなり、保護者の経済的負担も非常に大きくなる。

よって、本町議会は、県立久米島高等学校園芸科を存続させることを強く要請する。

以上、決議する。

平成21年7月7日

沖縄県島尻郡久米島町議会

【提出先】

沖縄県議会議長、沖縄県知事、沖縄県教育長

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案については質疑を省略したいと思います。ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。

これから討論を行います。

まず、原案に反対者の発言を許します。

次に、原案に賛成者の発言を許します。

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

県立久米島高等学校園芸科の存続を求める要請決議について、賛成の立場で討論いたします。

4月30日に久米島高校の園芸科が来年度から募集停止をし、3年後には学科の廃科の打

診がありました。これを受けまして、久米島高等学校PTA、それから同窓会の連名で署名運動をしまして、去る6月22日に町長、それから教育長、またPTA会長が、5,600名の署名を提出されました。

これまで久米島高校の園芸科の果たす役割としては久米島にいろんな貢献をされてきたわけでありますが、3年連続定数割れということで、久米島高等学校だけが特別な配慮ができないということが理由となっております。

しかし、久米島は離島という非常なハンディがありまして、これが廃科となると、久米島にとって経済的な、子供達にとって経済的な負担が増していくこととなります。そのようなことを含めて、ぜひ、久米島高校の存続をしていただきたいということで、本決議に賛成するものであります。

○ 議長 山里昌輝

他に討論ありませんか。

これで討論を終わります。

これから発議第4号、県立久米島高等学校園芸科の存続を求める決議書についてを採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。したがって発議第4号、県立久米島高等学校園芸科の存続を求める決議書については原案のとおり可決されました。

日程第4 閉会中の議員派遣について

○ 議長 山里昌輝

日程第4、閉会中の議員派遣についてをお諮りします。閉会中の議員派遣については配

布資料のとおり、県立久米島高等学校園芸科の存続を求める要請行動をすることで決定したいと思います。

これにご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。したがって議員派遣については配布資料のとおり決定されました。

閉会中の議員の派遣の件

平成21年7月7日

本義会は、地方自治法第100条第12項及び会議規則121条の規定により、次のとおり議員を派遣するものとする。

記

- 1 件名 県立久米島高等学校園芸科の存続を求める要請
 - (1) 目的 県立久米島高等学校園芸科の存続を求める要請
 - (2) 派遣場所 沖縄県庁、沖縄県教育庁、沖縄県議会
 - (3) 期間 平成21年7月8日(水)
 - (4) 派遣議員 総務・文教・民生委員会委員
建設・経済委員会委員

○ 議長 山里昌輝

以上で本臨時議会に付議されました事件はすべて終了しました。

これで平成21年第4回久米島町議会臨時議会を閉会します。

お疲れ様でした。

(散会 午前10時37分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 山里昌輝

署名議員（議席番号7番） 喜久里 猛

署名議員（議席番号8番） 幸地良雄

平成21年（2009年）

第5回久米島町議会臨時会

1日目

7月14日

平成21年第5回久米島町議会臨時会

会議録 第1号

招集年月日	平成21年7月14日 (火曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	7月14日 午後3時00分	議長	山里昌輝
	閉会	7月14日 午後5時26分	議長	山里昌輝
応招議員 出席議員 出席14名 欠席0名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	崎村正明	8番	幸地良雄
	2番	宮田勇	9番	上里総功
	3番	饒平名智弘	10番	安村達明
	4番	宇江原総清	11番	宮里洋一
	5番	山城宗太郎	12番	翁長学
	6番	仲村昌慧	13番	平良義徳
	7番	喜久里猛	14番	山里昌輝
(不応招) 欠席議員	番			
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	9番	上里総功	10番	安村達明
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原秀雄	書記	
	係長	安田栄		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良朝幸	教育課長	佐久田等	
副町長	大田治雄	商工観光課長	平田光一	
教育長	比嘉隆	環境保全課長	田端智	
総務課長	仲村渠一男	建設課長	盛本實	
町民課長	大道幸子	農林水産課長	平良朝幸	
プロジェクト推進室長	山城保雄	農業委員会事務局長	前里良正	
税務課長	平田明	上下水道課長	又吉敏雄	
福祉課長	日高清有	消防長	山城英明	
会計管理者	仲地泰	空港管理事務所長		

平成21年第5回久米島町議会臨時会

議事日程〔第1号〕

平成21年7月14日（火）

午後3時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	9p
第2		会期の決定	9p
第3	議案第30号	平成21年度久米島町一般会計補正予算（第3号）について	9p
第4	議案第31号	久米島町消防本部救助ボート購入請負契約について	28p
第5	議案第32号	久米島町結婚披露宴助成金支給条例の一部を改正する 条例について	31p
		閉会	34p

(午後 3時00分 開議)

○ 議長 山里昌輝

こんにちは。本日の会議を開きます。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 山里昌輝

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、9番上里総功議員、10番安村達明議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 山里昌輝

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日7月14日の1日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。従って、会期は本日7月14日の1日間に決定しました。

日程第3 平成21年度久米島町一般会計補正予算(第3号)について

○ 議長 山里昌輝

日程第3、議案第30号、平成21年度久米島町一般会計補正予算(第3号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

それでは、議案第30号、平成21年度久米島町一般会計補正予算(第2号)の概要についてご説明申し上げます。

久米島町一般会計補正予算(第3号)の概要は、歳入歳出予算ともに4億6千394万1千円を追加し、歳入歳出総額65億3千4万4千円といたします。

今補正予算につきましては、国の補正予算(第1号)により、閣議決定されました地域活性化経済危機対策臨時交付金が主な事業となっております。

予算書の7ページをお開きください。歳入においては、地域活性化経済危機対策臨時交付金が3億9千800万円となっております。

また、教育費、国庫補助金の理科備品振興整備事業が675万円。同じく教育費、国庫補助金により、学校情報通信技術環境整備事業で2千284万円を計上しております。理科備品振興整備事業については各小中学校9校に対して、理科備品の整備を目的としております。

学校情報通信技術環境整備事業は地上波アナログ放送がデジタル放送に移行されることにより、各小中学校9校のテレビをデジタル化することを目的に行う事業であります。

また、国庫補助委託金においては、プロジェクト推進室により、取り組みを行っております。景観緊急支援事業として993万5千円を計上しております。

続きまして、8ページ、歳出に入ります。歳出につきましても地域活性化経済危機対策臨時交付金の対象事業としまして、各費目に41事業を予定しております。

主な事業としまして、公立久米島病院の機

器整備事業としまして1千万円を計上しています。こちらについては沖縄県離島医療組合に対して、負担金として支出いたします。先ほどの説明にありましており、県が10分の9、久米島町が10分の1となっております。

同じく福祉課の事業としまして、新型インフルエンザ対策事業として250万円を計上し、予防対策や感染拡大を防ぐための必要な備品購入を予定しております。

また、2年に1度の実施となっております婦人検診を多くの町民に受診してもらえるよう、受診費用の個人負担分を交付対象経費とする婦人検診助成事業を実施いたします。

また、防災・緊急体勢の強化を図るため救急救命士が実施する高度な救急救命処置に対応できるよう、消防本部に高規格救急車を導入いたします。

観光関係におきましては、沖縄本島や先島諸島において導入されておりますリゾートウェディングを推進し、地域活性化を図る目的に、その調査及び計画書作成を予定しております。

普通建設事業費においては、町道整備工事、宇根地区、町全域を対象にした防犯灯設置工事を予定しております。

道路防災工事事業、山城地区、道路防災工事事業全域を実施いたします。

学校給食センターにおいては、調理場内の備品購入や配送車両を整備いたします。

その他の事業については、先ほど各担当課より説明がありました別紙のとおり、地域活性化経済危機対策臨時交付金事業一覧のとおり事業を予定しております。説明については先ほどの説明したとおりであります。

以上が平成21年度久米島町一般会計補正予

算（第3号）の概要となっております。

平成21年7月14日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

商工観光課、経済危機対策臨時交付金事業にもありました。提案理由の説明にもありました。リゾートウェディング推進事業補助金、この事業はどのようなかたちで導入するのか、そして受入態勢はどうなっているか、整備されているのか、お伺いします。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

これにつきましては、沖縄県で非常に需要がありまして、先ほども説明しましたが9千件という、リゾートウェディングがありまして、宮古、八重山でもその取り組みがされていまして、久米島においてもリゾートウェディングの可能性と申しますか、そういう機会をつくれなかなということのマーケティング調査とか、久米島においてどういうウェディング、挙式スタイルができるのかとかというものを調査をして、そして今後のリゾートウェディングの導入への計画をつくっていかうということなんです。

これにつきましては、観光協会を主体とし

て、いろいろ取り組みがされていますので、補助金として観光協会に補助をして、観光協会においては、その専門のコンサルとか、そういうものも含めての調査の予定をしております。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

425万円、これは調査費、これから進めるための調査費なんですね、そういった中で、この受け入れをやりたいという業者も予定推薦されているのか。もちろんユニークな事業でこれは久米島にまた大きな観光のメリットのメニューになると思うんですが、外国の場合は前々からハワイでやろうとか、あちこちでやろうとか、沖縄本島ではよく見かけますが、ぜひ久米島に導入してほしいと思いますが、受け入れの業者とか、そういったのはどうなっているか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

そのリゾートウェディングとか、沖縄本島内においても式をするところのチャペルとかが17カ所、八重山1カ所、宮古1カ所とか、そういうものがあります。そういうものを受け入れするためには、専門業者が必要になると思います。そこについても今、県内を多く取り扱っているその業者とか、そこにもいろいろなこれまでの経過とか、そういう可能性とか、そういうものを話し合いをしているところなんです。その受け入れができるのか、そして久米島での経営とか、そういうものが成り立つのか、そういうものを含めての今度の調査になります。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

ユニークな素晴らしい事業導入と思いますので、実現に向けてしっかりと頑張ってください。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

環境保全のハブ捕獲駆除報償費とありますが、地域でハブの買い取りをするという情報を聞いていますが、そのとおりですか。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

1匹当たり2千円で購入する考えであります。

○ 議長 山里昌輝

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

これは生きたものなのか、死んだものなのか、大きさとか、そういったものはどういうふうになっていますか。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

生きていても、死骸でも結構なんですけど、できるだけ危険性を避けるためには死骸、死んだハブの方がよろしいかと思えます。

生きていまして、県のハブ研究所が、年間相当研究材料としてつかっているようですので、生きているものについては研究所に送りたいと考えております。

○ 議長 山里昌輝

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

その件に関して、自然保護団体からいろいろ厳しいようですが、圧力等とかはないですか。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

そういったものはまったくございません。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

4点ほどお聞きします。先ほど同僚議員からご質問のありましたリゾートウェディングについてであります。7月10日にフォーラムに参加して感じましたが、先ほど課長からの答弁の中でオフシーズンの観光入域客の拡大が期待されるというふうにありました。確かに2001年の同時多発から急速に伸びたということで、9千1組が沖縄でリゾートウェディングに来ているということで、2011年に1万組に達するだろうということが予測されている中で、久米島がこれまでずっと8万、9万人態勢で続いてきて、伸びないのは沖縄本島から久米島の往復の2万3千円の価値はどうするかということ、それがフォーラムの中でも話がありました。

石垣島は島回り、宮古島はゴルフ場とかがあって、そういった一定の価値があるんだけど、これまでの久米島の伸びない理由はその価値が何なのかということがまだまだ見出せてない状況の中で、どう進めていくかということが非常に気になってきます。

そのリゾートウェディングのチャペルの建設にあたっては非常に見た目豪華で高級な感

じがするんですが、どのくらいの費用を要するのか、その箱物に高額、高額になるかどうか分からないんですが、その箱物をつくって、それだけの入客が望めるのかどうか。今、フォーラムの中では高望みはしてはいけませんよと、せいぜい今のところ100組くらい、年間2千名くらいでしょうというような予測をしていたわけですが、そのところの調査なんかできているのかどうか。チャペルのものについてどのくらいなのか、お聞きします。

それから今ありましたハブについて、町長は平成17年の一般質問の中で、町長がそれを質問しています。ハブ対策について、絶対数を減らすには、人が捕獲するしかない、町で買い上げする考えがないかということがありましたが、何年か前ですか、一時的に予算を確保して、予算の範囲内でそれが実施された事例がありますが、今後、これは条例化して、今年だけじゃなくて今後続ける考えはないのか。

実は伊江島が条例制定されて、ずっとこれまで続けてきました。昭和57年から2004年までやってきましたが、財政が厳しくて一時廃止になりましたが2007年からまたこれが復活しています。その中でハブ咬傷についても助成しています。2万円を超えない範囲で自己負担を2万円を超えない範囲で町が負担していると、事務局の方をお願いして、伊江島の条例を見せてもらったんですが、ある部分は参考になるかと思しますので、その方も検討していただきたいと思っています。

今回の場合、ハブを捕獲しても生け捕りしても殺しても同じ2千円ということの予算化なのかどうか、あと1回確認したいと思います。

それから仲里グラウンドの整備に500万円の土の入れ替えをするということですが、これまで楽天がそこの方にピッチングゲージの設置、または撤去で、町の予算を使ってきました。今回そういうことがまた起こりえないのか、土を入れてまた楽天が練習するためにまた黒土を入れるという、そういった無駄な予算の使い方をすることにならないか、お聞きします。

そして、先ほど教育委員会の中で、分かりにくい点があって、各種大会の補助金の名目で219万宴計上した、それは同額だからという、その名目の中で理科教育の設備整備費の補助金に充てているということの説明でありましたが、僕はまた、当初予算で一般財源から、この大会派遣費を出していたものを、それを減額して、今回の交付金でやるのかと思っていましたが、そこをあと1回確認しておきたいと思います。前の予算で減額したものは何だったのか、そこを含めてお聞きしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

リゾートウェディングの件ですが、現在の状況としましては、久米島においてそのリゾートウェディング、どういう実施の仕方ができるのか、望ましいのかとか、その形態についていろいろなマーケティング調査とか、そういうもの等とか、また受け入れとか、そういうものをして久米島に独特のリゾートウェディングができないかとか。そういうものについて、今回の調査でそれを見ていこうということですが、

その中において、リゾートウェディングを

進める中において、久米島においてもチャペルが必要だとか、そういうことが調査の中で出ましたら、それについて今後の、その導入の仕方について取り組んでいこうということの状況です。

そして、チャペルについても、小さいものから大きいものまでいろんな特徴があって、例えば一例を言いますと、恩納村のホテルに設置されているチャペルについては1億5千万円から備品等も入れて2億ぐらいのものということの内容であります。

それをチャペルだけをもっとすごいものとか、そういう作り方もあるだろうし、また、そうではなくて、その規模でなくても久米島の特徴を出したそういう形態ができるかとか、それについての今回の検討事項ということであります。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

ハブについてお答えいたします。恩納村の方が平成20年から条例施行しておりまして、その中身についても捕獲の届出とか、飼育の届出とか、罰則規定とかいろいろなものがありますが、今後、そういうのも検討しながら条例を制定していくかどうかは今後の課題としていきたいと思います。

ハブの買い取りについては、やはり、生きたハブというのは危険性が伴いますので、この事業のスタート当初は死骸ということでやっていきたいと思います。その後は生きたハブとか、研究所に送る分はどうするかという問題も出てきますので、今後の検討としていきたいと思っています。

それからグラウンドの土の件ですが、現在

は体育館の方に、それに代わる施設が整備されておりますので、今後は今まで使っていたグラウンドの方は土を替えて陸上ができるようにすると、万が一楽天が使うにしても土は入れ替えをしないでやっていくという方向で、球団側とのやりとりの中でもそういうふうな話があったと、担当課とも入れ替えしましょうという話はやっておりますので、陸上競技ができるようにしていきたいと思いません。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

第1回目の楽天のキャンプのときは、1軍も2軍も仲里野球場を使用ということで、それぞれの練習場所ということも含めましてグラウンドの改修といいますか、黒土を入れてやりました。そして、久米島野球場が完成しまして、1軍があちらにということでやっていて、今、1軍についても久米島野球場の多目的広場を使ってもやっていますが、そこについても黒土ではなくて普通の土でやっております。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

各種大会補助金についてご説明します。平成21年5月25日付けで県の教育庁財務課から文書が届きまして、理科教育設備の備品としまして、今回の交付金に約200億円が計上されたという文書が届きまして、その中で本補正予算にかかる補助金の地方負担分については当初予算に計上された地方単独事業の財源を本補助金の地方単独負担分に充て、当該地方単独事業の財源に地域活性化経済対策臨時

交付金を活用することができませんという文書が来ましたので、我々はぜひとも今回学習要領が改訂されまして、理科教材がぜひとも充実しなければいけないということで、この予算を計上しまして、各種大会補助金につきましては、そのまま継続して予算も支出しております。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

リゾートウェディングについてであります。これまで久米島観光が伸びなかった、この久米島らしさというのを、2万3千円の価値がどこにあるかということ、はっきり明確にそこまで打ち出して、その後、整備について、特に箱物については金がかかるわけですから、慎重に進めていただきたいなと思っています。

非常に難しいことではあるんですけども、これがずっと今までこれが出せなかった。努力しようとしたんだけど、なかなか結果が出されていない。おそらくこのような状況の中で進めていけば、同じ石垣、宮古には太刀打ちできないでしょう。だから2千名、年間といっても4月、5月、10月、11月の4カ月間が必要があるという中で、これだけの金をかけて、わずか2千名ぐらいとなれば、あまり観光客の拡大は期待されているとおりにはいかないと思いますので、これは十分慎重にしていきたいなと思っています。推進することもいいんですけども、私は反対ではありません。今までの久米島の伸びない原因を見つけてからやっていただきたいと思っています。

それからハブ条例については、町長は人間

が捕獲するしかないということでありまして、町長はこのときに、こういうことを言っています。今までのやり方は非常に甘いと、これはずっと続けていかないといけないということも言っておりましたので、それとこのときの質問の中で、ハブで島興しをしている奄美大島の例を取り上げました。その例を取り上げて、何か商品化できないかということをご提案したんですが、口頭では調査するようなことを言っていたんですが、まったくこれがされてない。今後、その奄美大島の事例の調査もし、それが商品化できないのかどうか、言葉だけじゃなくて、研究していただきたいと思っております。いかがでしょうか、町長。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

ハブの件につきましては、今回、予算措置をして、この状況を見ながら問題点、あるいは事後処置すべき事項を踏まえて、条例化も併せて事後検討していきたいというふうに思っています。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

2点ほど聞きたいと思っております。ふるさと納税推進事業ということで、今まで130万円ぐらい集まっているということなんですが、何名の方で130万円になっているのか。それと今後の納税の進め方についても聞きたい。

それと建設課、橋梁台帳作成業務事業ということなんですが、各地域に結構古い橋がある。銭田橋も剥離して、議会も1度見に行ったことがある。大変危険な状態なんです。ああいうのがあるのに拘わらずまだ台帳が整備

されていなかったというのが不思議ではない。

旧山田橋は文化財のアーチ型の橋です。そういうのはどうするのか、村時代に文化財に指定できないかということで、一般質問も出したんですが、その後検討したかどうか、ぜんぜん音沙汰ない。そういう古い文化財になる橋の調査はどのようにするのか。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

お答えします。ふるさと納税の現在の納税者の数については、手元に資料がありませんので、後ほど提供したいと思っております。今後の進め方なんですが、パンフレットを配布したりとか、それだけではなかなか納税者が集まらないのが現状です。

今後はできるだけ有志というんですか、馴染みのある方に、納税してもらいたいという働きかけも大事ではないかというふうに考えています。そういうことをすることによって、島の誰々からお願いされたということであれば、また、納税の意識も高まるのではないかなというようなことも検討していきたいと考えています。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

橋梁台帳がまったくないわけではないんですが、一部あるのはあります。それでも道路台帳の中で組み込まれている分があって、橋梁台帳単独というのがありません。以前はそれをつくらないのが一つの流れだったんですけど、しょうけれども、昔のものが無いのが多いんです。今後、これまでは例えばものをつくった

ら老朽化しても管理団体、管理自治体が改修までということで事業を進めてきたんですけども、今後は老朽化した橋とか、道路に関しては国も手を入れないと、なかなか管理自治体だけでは財政的に持たないということで、来年から橋梁の実態調査、台帳じゃなくて、橋梁の耐久度テストとか、そういう事業が入ってきます。本町としても来年から3年ぐらいかけて取り組もうと思っているんですが、その前に全体的な台帳がないと、なかなか全体としての事業として取り組めないものですから、今年はこのをつかって、来年以降は実際の橋梁の調査、細かい調査を入れようという計画で進めようとしています。

その中でも文化財的な橋梁もあろうかと思うんですが、それは壊すべきかどうか、保存すべきなのかということに関しては、関係者含めて調査しながらやっていければと考えています。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

橋について質問のありました山田橋につきましては、昨年度から自然文化センター事務局の中の会議におきまして、文化財保護審議委員会の中で話し合いをもって、文化財に指定する方向で持っていこうということで話し合いが現在事務局内で行われています。

そして、その他の古い橋につきましては、建設課の情報も得ながら事務局で今後の対応を検討していきたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

ふるさと納税、これは特典として町の広報

誌とか、特産品を贈呈していたと思うんですが、確実にやられていますか。

それと、橋の件なんですけど、老朽化しているところがいっぱいありますので、早急に対策をお願いしたい。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

金額によってどういうものをやるというのが決まっていますので、金額によって全部対応させてもらっています。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

補正予算全般的に一応してから箇々に入ります。今度の経済危機対策臨時交付金については、5月26日に説明がありまして、その説明の中では各部落の区長に何か必要があれば上げなさいと申し入れてやったと聞いています。そして実際に何件上がってきたのかどうか。即答できなければ後でもよろしいですので、示してほしいと思います。

というのは、この予算書を見ると各字から上がってきているのが非常に少ないような感じがします。ほとんど執行部案でつくられたような感じがするわけです。土木関係の一部においては、道路関係事業が上がってきていますけど、それにしても、私にも1件相談がございましたけれども、集落地の排水溝の整備についてということがありますが、その相談があったものについても、非常に厳しい状況の中で雨が続くとノリがはうぐらいの非常に悪い環境のところなんですけど、これ上がっていません。

そしてこの予算書の中で、お金があるから

使ってみましょうというかたちが見え見えなんです。

ということは一つひとつ例を挙げてみますと、資料の5番目、低公害車導入促進事業の中に車3台ありますよね、即3台が必要なのか、それとも更新期が来ているのかどうか。

低公害車と言っているが、今、新車はほとんど低公害車なんですよ、エコ車ですよ、それ本当に即必要なのかどうか。

それと7番目の具志川改善センターの厨房の備品1千万円、これは改善センターの改修費として前の補正で組みましたけど、さらに1千万円という備品が本当に必要なのか。備品が必要ですよということは示されたんですが、何なのかわからないですよ。それを示してほしいと思います。

9番目、そしてふるさと納税、説明がありましたが、あれは130万円入っているんですけど、人材育成につかうんだと言ってますけど、何でこのお金でつかうべきじゃないかと思うんです。その中には、そういったものがあります。

11番目、太陽光発電システムについては、これはプロジェクトでやっていますけど、温度差というのは厳しいという話は聞かされていますけど、調査費ということでありますが、もし調査してできるんだったら補助対象で事業導入ができるのかどうか、説明してほしいと思います。

12番目の生ゴミ処理回収実証事業、これは廃油なんかも回収して実証するというが、車の燃料につかえるよという実証なのか。どういった実証なのか、それが十分説明されていませんので、もう一度説明をお願いします。

24番目、それと道路整備工事、これは宇根

のどこなのか、これは補助事業はできないのかどうか、おそらく補助事業対象でできるものも全部組んでいるのはもったいないです。

そして34番の消防の高規格車、これについても補助事業対象になると思うんですが、何でこの事業でやらずにちゃいけないのかどうか。一般財源的扱いなんですよ、この事業というのは。今の活性化事業でやらないといけないのか。

39番目の学校給食車配送、これは前回の補正でもやりましたね、活性化事業の中で、さらに1台必要なのかどうか。

食器洗機、それは新しく導入されるのかどうか。新しく導入されて、省力ができるんだったら人件費に影響するのかどうか。その点、長くなりましたが説明をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

お答えします。具志川の改善センターの厨房備品なんですが、当初想定している分よりも、そこで厨房改修する目的が結婚式にも対応するというので、その結婚式に対応するような厨房の備品が必要だということで、当初、想定している以上に備品が必要だということで、今回これに計上させてもらっております。

ふるさと納税については、寄付が集まりませんので、それを活用するためには相当、今のペースでいきますと相当の年数がたたないとそれが使えないんじゃないかというふうな判断で、この交付金をふるさと納税事業と位置づけて人材育成と島づくりに充てようということで名称をふるさと納税事業と打って、納税者に対するアピールもやろうという考え方

で、ふるさと納税事業をつかわせてもらっております。

太陽光発電については、議員の温度差発電と勘違いの分があるかなと受け取れたんですが、太陽光でよろしいですか。目的に同じ温度差発電の…。待って下さい。

私の最初の説明の中では温度差発電のことも触れましたけれども、ここで説明に書いているのは太陽光発電システムということで書いてありますが、まず太陽光発電システムについては、一般家庭に導入するときに、この補助事業を利用して、一部助成をするという考え方があります。ただ、先ほど言いましたが、この分については今回の補正には乗っけておりません。と言いますのは、交付するための条例規則を整備しないと乗っけることができませんので、そのへんの議論を十分してからということで、次の議会に上げたいと考えています。今回、予算に上げているのは深層水を利用した温度差発電が、島で導入の実証の動きがあるもんですから、それに対応して、久米島でそういう事業を導入するための受け皿として協議会を設置したりとか、それからフォーラムを開催したり、そういうもののために予算を今回この事業を利用して計上しております。

それから生ゴミ回収については、今、各家庭から生ゴミがあって、これを一般ゴミと一緒に出して消却しているという状況ですので、それをどういうふうなかたちで各家庭のゴミを回収するかということを実証実験しよう、例えば集め方ですね、集落のある何カ所にブリキ缶とかというものを仮に容器を置いて、それに持ってきてもらうのか、家庭から取りに行くのかとか、いろんな地区を定め

て、調査アンケートも含めて実証して、今後の収集の態勢づくりに調査をしようということです。生ゴミをやると同じ個別から出るものですから廃油も合わせてやろうということです。回収されたものについては、廃油については、燃やす、ある企業が燃やすシステムを持っていますので、そこに持ち込むことも可能ですし、PDFというんですか、ディーゼルの、そこにストックしておいて、それに利用する方法もありますので、そういうシステムづくりの調査事業としてやろうということでもあります。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの低公害車導入事業についてお答えします。今回の経済危機対策臨時交付金の主目的の中に環境対策というのが入っています。環境対策の面で重点的にやっていきたいと思います。環境対策の面で重点的にやっていきたいと思います。太陽光発電とか、そういったものも当然環境対策の一環であります。この低公害車についても特に普及状況が芳しくないわけですから行政の方で率先して導入を進めていこうという狙いもございます。

また、現在、3台更新するわけですが、1台はクラウンで車齢が13年経過しているということで当然老朽化しているということもございしますが、更新することによってランニングコストがかなり抑えることができます。リッター当たり6kmぐらいしか走らないのが、リッター38km走るようになりますし、重量税、車検費用が当然コスト削減が図かれると。

あと2台の普通乗用車の更新になりますが、これも13年、19年とかなり老朽化してい

るということに合わせて、更新することによって、当然排ガス基準をかなり抑えられるという環境対策に合わせて、そのランニングコストもかなり抑えることができるということと両方をねらって、今回更新することで計画をいたしております。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

今回の事業に対して地元から、区長会説明、プロジェクト推進室の方で区長会で説明はやっています。何時何時までにその事業要望があれば出して下さいということで説明したんですが、その期限までに区長もしくは関係人からの要望というのは1件もなかった。ずっと期限が過ぎて、区長からではないんですが、それが必要ではないかとか、昨日もありました。この事業は何とかできないかとか。そういうこともある程度で形づくっているものですから、なかなかそういう要望は今回の事業に反映できなかったというのがあって、そういうかたちにはなっています。

宇根の道路の件ですが、この事業が土木にしても農林にしても採択用件を満たしきれないということで、通常の整備では難しいものがある。現状からすると、道路そのものがクラックが入りすべりが入っていると。

そういう状況の中で、その災害を未然に防止するような事業はほとんどない。あと、何かでやるのであれば、その道路そのものをすべて決壊させて災害事業でやるしかないんですが、この道路がかなり利用されている関係上、道路を封鎖して災害を持つというわけにはいかないということで、今回、災害の未然防止ということで、この事業を実施するとい

うことになっています。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

地域からの要望にたいする対応なんですけれども、今、建設課長から1件もないという報告がありましたけど、いろいろ地域からの要望事項も今後も出てくるということをもまず想定して、お手元の29番、道路防災工事事業全域ということであります。これにおいて追加の分については今後も対応していきたいということでの予算は確保しての計上になっています。29番です。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

給食センターの給食配送車の購入につきましては、2台とも経過年数が約13年から14年経過しておりまして、先ほどもお話したとおり、昨日から故障して1台で配送しております。

昨年度も両車両とも1台ずつ交互に故障しまして、そのときも交互に1台ずつで配送している状況でありました。どうしても調理後2時間以内に給食するとありますので、できるだけ温かい給食を対応してもらいたいということで今回予算計上しております。

そして、自動食器食缶洗浄機につきましては、現在ある食器食缶洗浄機が平成2年度に整備されました。しかし、それから18年が経過しておりまして、昨年度より都度都度不具合が生じまして、その都度、那覇の業者に電話を入れて自分たちで調整して使用したりとか、どうしてもできない場合は那覇の業者を呼んで修理を依頼している状況がありますの

で、今回、新しく機器更新ということになっています。

○ 議長 山里昌輝

山城英明消防長。

○ 消防長 山城英明

高規格救急車につきましては、同時出動等も多く見られるということであります。13年経過しておりまして、部品交換、修理等が多く、たいへん苦慮しておるといことです。高規格救急車には、救急救命士が利用できる心電図電送装置、除細動器、輸液ポンプ装置等が積載されまして、地域住民の生命財産を守るという立場上、早急にこの高規格救急車を整備する必要があるということなんです。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

低公害車導入ですね、今、21年度産のものはみんなエコ車ですよ、低公害車ですよ、別に新しく限定されたものじゃないですよ、買い換えすることによって国から補助金がありますよね、1台に12万5千円ぐらいあります。それを利用することはいいことですが、ただ、今までぜんぜん上がってこないものがいきなり3台というものだから、なんで金があるから買うんじゃないかというふうに思われがちです。買い換える必要であればよろしいでしょう。大いに利用して国の補助金を貰って下さい。

具志川の改善センター、私は前にも言いましたが、1億もかけたんですけど、その中に厨房の設備も入っていますよと言いながら、また1千万円もかけるかということなんです。大きすぎるんじゃないかということなんです。必要であればいいんですけど、しかし、

何々があるかということとはぜんぜん示されていないものだから、贅沢しようとするんだなというしか思われません。そう言われぬように何々と示して下さい。

次に、ふるさと納税事業ですか、130万円あって、この事業を活用することによって、こういうかたちでつかっていますよということを見せることは、一つの啓蒙にもなるし、促進にもなるし、つかい方によって生かされるということでもありますので、それは結構です。予算があるのに、これもつかたかという疑問を抱いたわけです。

それと、先ほど太陽光発電システムについては私の問い方がまずかったですけど、説明の中に温度差というものがありましたから、この事業の中に含めているかなと思ったわけです。

それとこれを導入することによって、今後各家庭に10万円の補助金を、これから条例化してやろうということなんですけど、これは非常に素晴らしいことで、これは国からも導入した事業者にも補助金もあるんじゃないですか、そういうシステムになっているんじゃないかと思うんですけど、その資料を取り寄せて促進、啓蒙してほしいと思います。

14番目の生ゴミ分別回収実証事業というのが、実証というのは技術的に確立されて、はいこれ実証してみせますよというのが実証事業なんです。今、あなた方がやろうとするものはこういうかたちもあるからやってみましょうというかたちの一つの模範的にやろうという事業なんですよね、実証じゃないと思うんですよ。実証というのは技術的に確立されて実際に実業化ができますよということにするのが実証事業なんですよね、今、その前の

段階だと思うんですよ皆さんかやろうとしているのは。廃油の利用にしても、機械をそこにもってきて、廃油を入れて出てくるのをガソリン、ディーゼル等、車に使える燃料というかたちがこれが実証ですよというかたちが実証事業ですよ、そういうことであれば早めにやって、本当の実証事業を導入してほしいと思います。

24番目の事業についてですが、国県の補助事業は対象にならないということですが、基準を満たさないということですが、できるだけ、知恵を出し補助事業対象できるように工夫してやるのが、僕は行政だと思うんですよ。そういうかたちで早めにやって、できるだけ一般財源を別の緊急の場所に回していくような方法をとってほしいと思います。

一般から募ったというのは、土木だけじゃないですよ、全般にわたってのことですからあえて説明しておりましたけど、結構ですけど、町全体としてのまとめはプロジェクト室ですか、区長会からどのくらい上がってきたか、示してほしいと思います。

34番の高規格車、この事業の内容については十分分かりますので、担当も説明してますので、単独でやるということではなくて、補助事業でも該当するんじゃないかと、高額ですから3千万円もする車ですから、防衛予算でもあるし、その他消防庁の予算もあるわけですから、何とか工夫して、補助事業で対応すれば、財政も軽くなるから、そういうふうにやるということではできないかということをお願いしたわけですから、もう一度答弁をお願いします。

学校の給食配送車については、これは元々2台は必要だったわけだね。最初からそうで

あれば、調整をしたかも分かりませんが、この際やったということはいいでしょう。

自動食器洗機、説明を十分聞いてなくて、私は今までにないものを導入することによって、省力化ができる、人間は1人はいらなくなる、人件費が抑制できるということで質問したわけでありまして。今述べた件について、もう一度お願いします。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

太陽光発電の件についてなんです、国からも一般家庭導入については、キロワット当たりいくらということでの補助金もつきます。町がやるときには、それに町の分として、プラスアルファの補助金を交付しようという考えであります。

○ 議長 山里昌輝

山城英明消防長。

○ 消防長 山城英明

5号車のポンプ車は、防衛の予算で購入しまして、この高規格車につきましては、急ぎよ、急いでいるということで、ここに乘せてあります。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

自動食器食缶洗浄機につきましては、平成2年にあるものの買い換えとなります。なくて導入して、人件費の抑制になるとか、そういうものではございません。あくまでも今あるものの買い換えとなります。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

配送車は新車ですか。新車もエコ車、低公害車。あれも買えば1台当たり12万5千円の補助もらえます。今の総務のものについてもこれは同様か。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後4時5分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後4時7分)

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

私が質問しようとしたものを全部幸地議員がやってみたいな感じであるんですが、若干確認したいのがありますのでお答え下さい。まずこの資料ですが、これは何月何日に作成したかということをお聞きしたい。私はこれは国への補助金交付申請の添付書類じゃないかと思っているんですが、まず、それからお答え願ってから次の質問にいきたいと思いません。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

これは去った6月26日に計画書の提出期限がありましたので、それに作成したものであります。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

順序追って細かいんですがもうちょっと我慢して下さい。

先ほどの低公害車導入促進事業、これも何回も聞いていますが、私は国から3台買えという指導はないと思うんですが、町に対して、あくまでも3台に拘っているようなんですが、今更3台も必要かということ、今の時代

に。皆さんも50をほとんど過ぎているはずで。皆さんが具志川役場や仲里役場に入所した頃思い出して下さい。カブゴーですよ、これでみんな一所懸命仕事してますよ。だから国からの金が落ちるから買うなんて考えはやめてほしい。当初予算から買うことになっているんですが、大事な金を500万もくっつけてやる必要はない。3台買いたいのか、台数を減らしたいか。

それから6番のFM放送ですね、久米島地域発信事業、当初予算ではこれは防衛庁予算ですから町の金は1銭も出ませんということだったんですが、儀間嘉手苅地先の埋立に急に必要だということで、向こうに回して、今度復活してますが、どうしてこんなもの防衛庁で予算とれるのに、わざわざこれに持ってくるんですかということ。これ一つ。

具志川改善センター、これはいいです。何回も答弁されていますので。

新型インフルエンザ対策事業の中で気になることなんです。対策は大事です。ただ、いまさら防護服の購入費必要なのかなということです。

それからリゾートウェディング推進事業です。これも何回も質疑応答ありましたが、私の聞きたいところまでいってませんので、再質問させていただきます。この間フォーラム参加させていただきました。久米島でもほしいなという気はします。だが、残念ながら久米島に欠けているものがありますよね。幸い結婚披露宴場はこの予算が通れば1億、1千万円追加してつくと思うんですが、私はその中にチャペルも入っていると解釈していました。しかし、今聞いてみたらそんな感じではない。その中でチャペルもないようなとこ

ろにパンフレットつくって誰が来るんですか、チャペルが先ですよ、これやっぱり。

久米島キリスト教会さん行ってきまして、やってもらえるんですかと言ったら喜んでしますよと、確かに貰っています回答は。ただし、うちはウェディングドレス1着、モーニング1着しかありませんよと。ところが本島の結婚式出た場合にはどうしても2回、3回着替えているということで、現在の状況で仮に420万円もつかってパンフレットを作った場合に、このチャペルは載らないわけですよ、久米島では。ですからこの予算はちょっと早過ぎるのではないかなという気がします。

さらに先ほど商工観光課長の議員の質問から回答で、商工観光に補助金を流しますということであったんですが、この間のフォーラム皆さん気づいたでしょうかね、沖縄コンベンビューのパンフレットは確かにあれでいいんですよ、あちこちチャペルいっぱいカラー刷りで、ところがその会合を進行するためのプログラム、あの上質のあの紙でカラー刷りなんです。こんな贅沢な印刷だったら、予算いくらあっても足りませんよ。ということで私はいらないと思う、今回は、この予算は。

それと優良自家保留牛支援事業ということなんですが、私は若い頃牛を飼っていたんですが、その中で気になることがあるんです。高齢出産による小牛の質の低下となっているんですが、私の習った範囲では、経産牛について、確かに受精しなくて、着かないというのは話はよくきくんです。体内に入ったら同じような小牛が生まれたような気がするんです。これは私の勉強不足なのかもしれない。ただ、これがそういうことでなければ、この

文書は非常にまずい、農林課長。

36項目のデジタル化に向けての費用計上ということになります。これは割と大きい額なんですけど、これはテレビを買うということだと思いますが、2011年ですね、地デジ実施するのは。あと2年あるんじゃないですかね、今、デジタルテレビどんどん値下がりしているんですよ、その時期に2年も早く、これ買う必要があるかということです。もったいないです。無駄な買い物です。地デジ化採用の私は1カ月、2カ月前で十分間に合うと思います。ということの回答ですね。これも本当に予算措置したいのかどうか。

とりあえず、この回答をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

FM放送局なんですけど、当初、防衛局の9条予算交付金事業でやるということで予算計上しておりましたが、この予算は儀間地先の用地の購入に充てるということです。なぜそれに充てるかと言いますと、民生安定事業が別件でパークゴルフ場を計画しておりますが、その民生安定事業だけでは、用地購入費に充てるだけの予算確保ができない。駐車場とかいろいろ付帯施設もありますので、パークゴルフ場に係る部分だけは民生安定事業でやって、この付帯するものは9条交付金事業でやろうという考えで、その関連性があって、どうしても9条の予算を一緒に投入していきたいという考えで、FM放送については今回の地域活性化臨時交付金に載せ替えて実施したいという考えで今回の財源の組み替えというかたちでの予算計上になっております。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

低公害車についてお答えいたします。国の方から今回3台導入して下さいということは特にございません。ただ、市町村における低公害車の導入状況調査というのがございます。これは国、県の方からです。どのくらい市町村が低公害車を導入しているのかというような、実態調査はございます。特に、何台をなささいというような具体的な指示というのはございません。理由につきましては、その車の老朽化の状況や、あるいは切り替えることによるコストの低減をねらったものであります。

全体の台数については、今後、抑制するような方向で、次の更新が出てきた場合、抑制して減らしていくというような方向で考えております。

これについては民間でも盛んにカーシェアリング、共有化を図ることによって、台数を抑えていくという取り組みが行われています。

役場においても、各課が専用を持つのではなくて、できるだけ共有車両を多くしていくことによって、台数を抑えていくことができるのではないかと考えておりますので、その取り組みを今後やっていきたいと考えています。

○ 議長 山里昌輝

日高清有福祉課長。

○ 福祉課長 日高清有

新型インフルエンザ対策で防護服が必要かというご質問ですけれども、まだ久米島に入ってきてないんですが、久米島の中でインフルエンザが蔓延してきた場合に、公立病院の

方だけでは対応できない状況になってくるかと思えます。そういった状況になりますと、本町職員の保健師とか、看護師、あるいはまた対策本部の職員も一緒に対応しなければいけないような状況が出てくると思えますので、その場合に防護服は必要になると思えます。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

リゾートウェディングの件ですが、その中でチャペルの話が出ておりますが、改善センターの改修とかの事業を進めているものについては、島内在住者、出身者とか、それを対象としたものの事業であります。その中において、教会とか、チャペルはとかいう話があったときに島にも教会がありますからという話はあったと思えます。

今回上げてあるものについては、島外からの観光客、リゾートウェディングを対象としてもものの、そのチャペルの必要性、管理運営の可能性とか、そういうものを合わせての今回の調査事業ということでありまして。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

優良自家保留牛支援事業の件ですが、肉用牛です。高齢出産ということで8産以上の牛がセリ価格が下がるということで、これは全国的な問題で、これも国も今回の経済対策事業の中でも取り上げられております。

県の家畜改良協会でもこの事業を導入しようということで、国と事務調整に入っているところです。なぜ高齢出産が肉質が悪くてセリ価格が下がるかというと、購買者の方が8

産以上の牛買った場合に、増体量が1日に1kgの増体量が普通ですが、高齢出産で8産以上になると70%とか、60%に下がって、なかなか増体しない、飼料効率が悪いということがあります。そしてそれを買っていった場合に、肉牛として肥育するときに、サシがなかなか入りにくいということで、いい肉がつかれないということで、そういった牛を買って持って行って肥育しても引き合わないということです。こっちの統計にも出ているんですが、子牛の平均が30万円ぐらいしているときでも8産以上になると15、6万円というぐらいの値段しかしないということの実態があります。これが久米島で20%を占めております。その解消をしようということで、牛の8産以上は更新しようということですが、農家の負担がかかりますから、それを支援していこうということでの事業になっています。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

今回のデジタル化のテレビにつきましては、当初予算におきまして、小学校の部分を予算計上しておりました。中学の部分におきましては、一般財源で今年度、次年度は中学校を予算化しようということで教育委員会内部で調整しておりまして、今回の交付金におきまして、その事業が約4千億円確保されておりまして、その中で今回の交付金予算におきましては教育活用されているすべてのテレビを50インチ以上のデジタルテレビに買い替えること。その内電子黒板を小学校中学校に1台ずつ整備することということになっております。

その中でも今回、交付金以外では、国庫補

助金もございまして、今回その中でまた、2千284万円の国庫補助金も該当しますので、今まで当初予算一般財源で対応しようとしている部分を今回、22年度分も含めて、国庫補助で対応したいということで、今回計上しております。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

細かいことは一応終わりたいと思うんですが、ただ、その前に、1つだけ抜けてましたので、区長会からの要望は1件もなかったという回答は今あったんですが、そのためにいつ作成したかということなんですが、少なくとも私はある区長に、この場所のここここは申請しなさいよということで、やってきましたということで報告受けているんですよ。2件あるんですよ、やったということで、今、山城課長も建設課長もやっていないと、ちょっと疑問、本当になかったのか再確認します。

それとこの見出し「地域活性化経済危機対策臨時交付金」なんですよ、地域のために地域の経済が今大変だから、これで地域を何とかしなさいということでの国の棚からばた餅のばらまき予算ですよ、はっきり言えば、ありがたい話であります。ただ、この項目全部チェックして、今日計算機持ってないのであれですが、15項目が直接地元に落ちる金で1億8千万円しかないんですよ、暗算ですから間違いもあると思います。少なくとも2億ぐらいしかない、残りの2億どうするかという話ですよ、これ全部島外に行くんですよ。地域の活性もくそもないですよ、こんな予算組んだらと、これは皆さんのための予算ではないかと、私は実にそう思っています。こんな

予算の組み方したら。

そのために皆さんも実は区長会にかけて、各字から上げていただくというはずでしたがそれがなかったということは腑に落ちない。それをもう1回確認します。

それと最初の質問の中から皆さんの回答はこれはこの予算は無駄ですかということは一言も聞かない。このとおりにやりたいという方向ですので、再質問はやめます。討論で意見します。ということで、今の質問は本当に区長からなかったのか、ひょっとしたらどこかに紛れ込んでいるのではないかと、疑いが出ているんですよ。

それから町長に伺いたい、この予算書については決して地域の経済を活性するような予算にはなっていないと、この時点で判断します。半分もないんですよ地元で落ちるのは、あれ買う、これ買うですよ、工事は少ない。あくまでもこの予算というのは読んで字の如く、地域の経済何とかせというための予算ですからそれにつかってほしかった。そのへん町長が回答願えればお願いします。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

今回の地域活性化経済危機対策臨時交付金について、町のスタンスとしてできるだけ町内の事業所を窓口にして事業発注していこうということを基本にして取り組んでいます。なかには特殊なもので直接島内で取り扱いしていないようなものもありますので、それに関しては島外事業者を活用するのもしかたない部分だと思いますが、できるだけ島内の事業者を窓口にして、事業発注していくということを基本として取り組んでおります。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

地域の要望がなかったことの再確認ですけれども、区長会の中でプロジェクト推進室の方からいついつまでに報告してください、これは緊急のもので、県との調整があり、いつまでに報告しないといけないというので期限を決めていました。結果的に期限前においては、区長会からの要望はなかったと。その後にはありました。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員の質疑は既に3回になりましたが、規則第54条但し書きの規定によって、発言を許します。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

聞き逃しました。期限は何月何日に切ったんですか。区長会の期限は。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後4時27分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後4時42分)

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

区長会で今回の地域活性化経済危機対策臨時交付金の要望についての期限を6月5日までということで区長会では申し上げております。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後4時43分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後4時45分)

他に質疑ありませんか。

5番山城宗太郎議員。

○ 5番 山城宗太郎議員

この資料の項目の22、荷揚げ用ウィンチですけど、この用途から③のカジキ等の大型魚及びエンジン等とありますけど、これ2台になるのか、移動式の1台なのか。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

このウィンチについては、久米島漁協の方から要望がありまして、仲里漁港の銭田地区と兼城漁港の大田地区の2カ所に設置する予定での要望がありました。

○ 議長 山里昌輝

5番山城宗太郎議員。

○ 5番 山城宗太郎議員

2カ所ということは、1カ所は、魚の釣り上げ、1カ所はエンジン修理なんかするときのエンジンの釣り上げになるわけですか。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

銭田地区と大田地区、同じ内容のものです。電動チェーンブロックと鉄骨で固定式で組んで電動チェーンブロックで引き上げるという、その式で両方同じ方式です。

これは重量ものですね、カジキ、マグロとか上がってきたら、人力で上げるのは大変だということで、その上げるものと、あと船のエンジンの上げ下ろしも、これで併用してできるというものになっております。

○ 議長 山里昌輝

5番山城宗太郎議員。

○ 5番 山城宗太郎議員

そうすると、船のエンジンの場合には上げて修理するわけですね、海に浮かべていてエンジンを上げる、そうした場合には魚を上

げるところでエンジンをウィンチで持ち上げて修理するというかたちになるわけですね。今の返事からすると。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

これは港の方に固定式で櫓を組んで、それにチェーンブロックをやって、それで魚の上げ下ろしですね、場合によっては船のエンジンとかもこれで、人力で持てない分はこれで上げ下ろしするということでもあります。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後4時49分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後4時50分)

他に質疑ありませんか。

これから討論を行います。

○ 議長 山里昌輝

討論はありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

せっかく国から4億近くの地域活性化ということで予算をいただいて、私は当然この4億すべての額プラスアルファで地域の活性化のために使ってくれるだろうと期待していました。そのために区長会も開いて区長の皆さんにも、何か工事があれば上げて下さいということで執行部は説明したはずなんですが、先ほども申しましたとおり、約半分ぐらいしか地域に直接降りてこない、この情報見ますと、購入が多いということですあまりにも、今の本当に切迫した土木業者の皆さん、商店街の皆さん、電気屋さんとかいろいろあるんですが、考えた場合には予算関係ですから賛

成はしたいんですが、今のこの内容では、私だけは反対させていただきたいということです。できればこの4億をプラスアルファして5億ぐらいはパッとばらまいてほしかった。ということで私は今回のこの予算については反対します。

○ 議長 山里昌輝

次に、議案に賛成者の発言を許します。

他に討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで討論を終わります。

これから、議案第30号、平成21年度久米島町一般会計補正予算（第3号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（挙手多数）

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。従って、議案第30号、平成21年久米島町一般会計補正予算（第3号）については、原案のとおり可決されました。

日程第4 久米島町消防本部救助ボート購入請負契約について

○ 議長 山里昌輝

日程第4、議案第31号、久米島町消防本部救助ボート購入請負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

議案第31号、久米島町消防本部救助ボート購入請負契約について、久米島町消防本部救助ボート購入について下記のとおり請負契約

を締結するため、地方自治法第96条第8号の規定により議会の議決を求める。

記

1 契約の目的 久米島町消防本部救助ボート

2 契約の方法 指名競争入札

3 契約金額 8,505,000円

4 契約の相手 沖縄県那覇市曙3丁目15番6号
南西船舶

代表者 仲尾欣也

平成21年7月14日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

久米島町消防本部救助ボート購入の契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例、第3条の規定により議会の議決を得る必要があるためであります。

次ページに物件供給契約書を添付しております。ご審議よろしくお願いいたします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

物件供給契約書の一番下の方に、議会の議決を得たとき本契約として認められるものとするということは、この書類が本契約書になるわけですね。そうなりますと、私は前の議会の請負契約のときに、役場は統一してほしいということを申し上げまして、総務課長は統一しますということで回答得ています。収入印紙なんですよ、このまま本契約になるわけですから、本契約書新たに作るわけじゃ

ないわけですから、貼られてないんですよ、そのへんはどうしてですか。

それと、この規模なんですけれども、850万円もする無茶苦茶高い船なんですけど、これは指名競争入札何件か出たのか。それと母港と、その都度その都度揚げるのか分かりませんが、管理ですね、非常に大事になってくると思います。特にエンジン部分がありますので、そのへんの管理はどのように考えているのかお聞きしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

山城英明消防長。

○ 消防長 山城英明

850万円の救助ボートと言いますと、フランス企業のソデアックという軍用ボートで知られているということでもあります。

船艇がFRP、舷側がゴムチューブ、全長6.3m、幅2.5mの12人乗り、船外機が115馬力ということでもあります。

特殊装備につきましては赤色灯、サーチライト、GPSということでありまして、保管につきましては、海に出ましたら必ず圧力ホースをもって全体を水道水で洗っています。そして毎朝、船外機に水道水を通してエンジンを始動して管理しております。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後4時57分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後4時57分)

○ 消防長 山城英明

指名競争入札には3社、有限会社総合マリン沖縄、株式会社マリンランド商会、そして今回落札しました南西船舶、以上3社であります。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

全長6.3、幅2.5、12人乗りということで馬力が115、割と大きな安心して乗れるようなものだと思うんですが、近海、久米島で言うリーフ内、リーフ外、外海何マイルまで航行可能ですか。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後4時58分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後4時59分)

本日の会議は都合により予め延長することにします。

山城英明消防長。

○ 消防長 山城英明

救助ボートにつきましては、近海、沿岸沿いということで、考えております。ちょっと遠くになりますと海上保安庁あたりに担当していただくということとなっております。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

これ大事なことなんですよね。近海沿岸ということは、久米島であれば近海沿岸というのは我々通常はリーフ内だと解釈するわけですよ。消防の皆さんのこの船が場合によって緊急を要した場合には、リーフ外に出て捜索できるかということを確認したいんです。今の状況でいいますと、近海沿岸だけではちょっと心許ないので、先ほど申しましたリーフから何キロまで出れるかです。

○ 議長 山里昌輝

山城英明消防長。

○ 消防長 山城英明

救助ボートにつきましては、あくまでも沿

岸沿いということで、何マイル先までといたしますのは保安庁並びに漁協の方に一任しております。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

印紙税の貼付につきましては、主管課の方から物品売買については、必要がないという報告を受けていますが、今、手元に法令集がございませんので、再度確認してお知らせをいたしたいと思っています。

○ 議長 山里昌輝

喜久里議員の本件に関する質疑は既に3回になりました。会議規則第54条但し書きにより、質疑を許します。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

物品購入について、総務課長は私と約束したわけですよ、貼付しますということで、この間も物品購入ですよ、ですからそれについては後で回答して下さい。でないと、その前に下の方に議会の議決を得られたとき本契約として認められるものとする。これは当たっていますよね。要するにこの書類が本契約になるわけですよ。そしたらこの紙に印紙を貼るわけですよ。それを約束したとおりにして下さい。

消防長、どうしても知りたい。救助ということでこのリーフ内の近海沿岸ではちょっと分からん。いわゆる外側の何メートル、何キロまでいかになくても、これも行けるのかということ。今、海上保安庁とかどうのこうの言ってますけれども、漁民の皆さん、釣り人の皆さん、必ずしもリーフ内で事故が起きるとは限らないんですよ。場合によっては皆さん

でリーフ外に救助してもほしいということですからこの質問なんです。

これも規則でできませんと言われたら、用が半分しかないわけです。この船は、そのへん回答できませんか。

○ 議長 山里昌輝

山城英明消防長。

○ 消防長 山城英明

最近の水難事故におきましては、イチュンジャ周辺での釣り並びにトクジム沿岸でのイカ釣り、旧イチャッチ島の方での幼児の水難事故に出動して、リーフ外にも出ております。これは東奥武島に行く際にはそうしております。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

救助ボートにつきましても基本的にはその免許の所有によっても違うかと思えます。ほとんどの職員が小型船舶の2級の免許しかもっていませんので、その免許に対応できる範囲内での活動になるかと思えます。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後5時3分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後5時4分)

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第31号、久米島町消防本部救助ボート購入請負契約についてを採決しま

す。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第31号、久米島町消防本部救助ボート購入請負契約については、原案のとおり可決されました。

日程第5 久米島町結婚披露宴助成金支給条例の一部を改正する条例について

○ 議長 山里昌輝

日程第5、議案第32号、久米島町結婚披露宴助成金支給条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

それでは、議案第32号、久米島町結婚披露宴助成金支給条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成21年7月14日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町結婚披露宴助成金支給条例の一部を改正する条例。

久米島町結婚披露宴助成金支給条例の一部を次のように改正する。

資料の大枠の中で改正前、改正後となっておりますが、改正後の中で、第2条の2項、下線の入った箇所、前項に定めるものの他、町長が特別に支給する必要があると認めるもので、規則で定めるものには、助成金を支給することができる。以上が改正内容となります。

附則

この条例は交付の日から施行し、平成21年7月1日から適用する。

なお、次ページにおいて、規則の一部改正、改正後の下線の引かれた部分が今回の改正内容となります。

先ほどの全体会議の中でも内容説明があったかと思いますが、ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

この条例案が改正されるきっかけとなったのは、3月にこの条例が制定されて、この条例が走り始めて、一番最初に最近結婚式があったわけですが、新郎新婦が島に住所がないということで、この条例が適用されないという話がありまして、議会の全員協議会の中で、その話が出されました。目的には十分該当する。町民の負担の軽減するためという目的には十分該当するのに、この条例が適用されてないことは、ちょっとおかしいのではないかという話し合いがなされ、そしてその条例が改正する提案がされるようになりましたが、条例そのものの改正は、今回の事例があって、それに答えるようなものになっておりますが、附則の中で2分の1ということについて、この執行部の方で十分話し合われて多数決によって、決まったということですが、その2分の1になった理由は何なのか、お伺ひします。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

2分の1の考え方は、島で新郎新婦が生活者としていろいろ地域貢献とかやっている方と、それから住所がなくて、島で行いたいという方との差をつける必要があるということの考え方から、2分の1という数字が出てきております。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

今回の事例、該当しないということをお聞きしました。これは話によると住所が3カ月前に登録されていないとできないということが最初あったみたいですが、それは事実なのかどうか。お伺いします。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

今回の、去った土曜日に結婚式があった事例の件だと思っておりますが、これについては、改正前の新郎新婦のどちらかが本町に住民登録を有しているものという、住民登録されているということで該当するというところで理解をしております。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後5時10分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後5時11分)

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

先ほど2分の1の理由をお聞きしたら、島で活躍している人と島外からすぐ来た人たちの差と言っていますが、今回の場合も、島外

に住所があって、向こうで仕事をして生活をしておるわけですが、住所を1人が移してそれが適用されるようになりましたと先ほどの説明がありました。それからすると、さっきの説明に当てはまらないのではないかとということでもあります。例えば、住所をすぐ移して、翌日からすぐできるということになります。しかしそういう事例はおかしいのではないかと、こんなしてまで貰いたくないという人もいるかもしれないですが、そういう人は2分の1、しかし住所を移して、もらう人は満額というのは、そこに差が出ていることはおかしいのではないかと思いますがいかがでしょうか。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

いろいろ考えていくと、いろいろの事例が出てくると思うんですが、島で何とかやりたいという方を、何とか、披露宴助成金の対象としてあげるということの考え方でありませう。

住所要件で、すぐ移動するという、問題にはなっています。現に。これを1カ年前とか、例えば、1月1日時点であれば町民税の対象にもなりますので、そういう期限もふったらどうかということの問題もあるんですけども、今回に限っては住所要件については、そういう先に問題が出てきたら対応していこうという考えも含めて、今回は住所要件については触ってなくて、先ほど言ったように必ず住所移動してまでやらなくていいという方もいると思うんですよ。そういうものに対応するために、今回、2分の1の差をつけるということなんです。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

仲村議員、本件に関する質疑は既に3回になりました。会議規則第54条の但し書きにより、質疑を許します。

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

条例というのは、1句1句非常に慎重にやるべきだと思うんですが、今回に限ってということもありましたね。この住所を移す時期というのは、移してすぐできるということで走らせていますよね、それが条例になっています。今度替えたら不公平が生じますよ。そこでそういうやり方するんだったら2分の1は対等に満額にするべきだと思っています。どうでしょうか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの2分の1の要件につきましては、先ほど山城室長から説明があったとおりでございますが、もう少し、補足をさせていただきますと、まず、本町においては、例えば工事の入札に参加する。あるいは町の職員に応募する。あらゆる面において、あるいは補助金の交付を受ける、あらゆる面において、納税ということを前提に補助金、あるいは工事請負、雇用に参加してもらうということで、やっております。これについては納税意識を高めると、これらの政策的な経費に使う金については当然納税者の皆様が納めた税金でもって充てるわけですから、それは非常に重要なことであるということで、どうしても納税要件というのは、はずすことができないとい

うことが基本的な考えでございます。

それに合わせて本町に住所を有するものは納税の要件があると、住所を有さないものについては、納税は問わないということになりますと、どうしても取り扱いの差があるわけです。そこで差をつけた方がいいんじゃないかという基本的な2分の1にしようと、そうすれば納得するんじゃないかという意見です。基本的にはその意見をもとにやっております。

今、ご指摘の住所の取り扱いについては、これについてもいろんな意見がございます。例えば3カ月という条件を打ちますと、これから移り住んで来て、結婚を機に久米島に住みたいという方は対象にならないのかという議論もございました。いろんな議論がございましたが、まずは住所の期間の要件についてはまず打たないでやってみようということで、今回、こういう条例の構成になっております。

ご指摘の問題については、今後運用しながら対処する必要があるのかなのかということについては検討していきたいと考えています。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後5時15分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後5時25分)

他に質疑ありませんか。

(「進行」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第32号、久米島町結婚披露宴助成金支給条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第32号、久米島町結婚披露宴助成金支給条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 山里昌輝

以上で本臨時会に付議された事件はすべて終了しました。これで平成21年第5回久米島町議会臨時会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 午後5時26分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 山里昌輝

署名議員（議席番号9番） 上里 総 功

署名議員（議席番号10番） 安 村 達 明

平成21年（2009年）

第6回久米島町議会臨時会

1日目

7月28日

平成21年 第6回久米島町議会臨時会

会議録 第1号

招集年月日	平成21年7月28日 (火曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	7月28日 午後1時45分	議長	山里昌輝
	閉会	7月28日 午後2時17分	議長	山里昌輝
応招議員 出席議員 出席13名 欠席1名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	崎村正明	8番	幸地良雄
	2番	宮田 勇	9番	上里総功
	3番	饒平名 智弘	10番	安村達明
	4番		11番	宮里洋一
	5番	山城宗太郎	12番	翁長 学
	6番	仲村昌慧	13番	平良義徳
	7番	喜久里 猛	14番	山里昌輝
(不応招) 欠席議員	4番	宇江原 総清		
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	11番	宮里洋一	12番	翁長 学
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原秀雄	書記	
	係長	安田 栄		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良朝幸	教育課長		
副町長	大田治雄	商工観光課長	平田光一	
教育長		環境保全課長		
総務課長	仲村渠一男	建設課長		
町民課長		農林水産課長		
プロジェクト推進室長	山城保雄	農業委員会事務局長		
税務課長		上下水道課長		
福祉課長		消防長		
会計管理者		空港管理事務所長		

平成21年 第6回久米島町議会臨時会

議事日程〔第1号〕

平成21年7月28日(火)

午後1時45分開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	39p
第2		会期の決定	39p
第3	議案第33号	久米島町営路線バス車両購入契約について	39p
第4	議案第34号	久米島町営路線バス車両購入契約について	41p
		閉会	45p

(午後 1時45分 開議)

○ 議長 山里昌輝

これより本日の会議を開きます。

日程に入る前に報告します。4番宇江原総清議員から欠席の届け出がありました。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 山里昌輝

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、11番宮里洋一議員、12番翁長学議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 山里昌輝

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日7月28日の1日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。従って、会期は本日7月28日の1日間に決定しました。

日程第3 久米島町営路線バス車両購入契約について

○ 議長 山里昌輝

日程第3、議案第33号、久米島町営路線バス車両購入契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第33号、久米島町営路線バス車両購入契約について。

久米島町営路線バス車両購入について、下記のとおり車両購入契約を締結したいので地方自治法第96条第1項第8号の規定により、議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 久米島町営路線バス車両購入(マイクロバス29名乗り)
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約の金額 1千117万585円
4. 契約の相手方

沖縄県浦添市港川495番地5

沖縄ふそう自動車株式会社

代表取締役 平良昌尚

平成21年7月28日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由であります。久米島町営路線バス車両購入契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を得る必要がある。

2枚目に物件供給契約書を添付しております。

そして、先ほども申し上げましたが、この事業分については平成20年度の一般会計の繰越明許費分の事業となります。

なお、今回は指名を4社やって、その内の1社が辞退しております。この件については請負比率が98.87%となっております。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

12番翁長学議員。

○ 12番 翁長学議員

29名乗りのマイクロバスなんですけど、これは代替えですか、増車ですか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

現在あります17年経過している46名乗りの代替えです。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

ただいま休憩時間にも話が出ましたが、一括入札できなかつたかと、年度が違うからできないということの説明でございましたが、入札する段階で最初で説明して一括入札して、その入札書の中でマイクロバスはいくら、54名乗りはいくらというふうに区分けしてやればできるんじゃないかなと思うんですけど、どうでしょうか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

マイクロバスについては20年度の繰越事業で、事業についても交付金事業であります。そして、21年度の今年度の事業につきましては、県補助と起債という事業になっていて、その事業の執行についても全部分けたかたちでの執行になります。書類の作成についても全部別々の事業執行というかたちになります。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

内容は分かります。ただ、請負率を下げるために、結局マイクロバスと54人との差額が18%もあるわけですね、かなりの差があるものですから、やはり大きいバス取引のあることこそ、請負率が低いわけですよ、そういうことからして、一括してやって、事業別には分けてにしてもその入札書にちゃんと明記して、このバスはいくら、マイクロバスはいくらと書いて、その両方を写しで分けて書類をつくれればいけるんじゃないかということを知っているわけです。そういうことについて、法的に抵触するかどうか、それを伺いたいわけです。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

入札の、また後で提案されますバスとの落札率の件ですが、このマイクロバスについては繰越し事業となっております、いろんな装備とか据え付けの設備とか、そういうものも合わせたら予算額よりもある程度オーバーしていたんですけど、それを予算額のもので設計額を組んで、予算としては繰越しですから増やしもできませんでした。そういうようなこともあって、予定価格と入札、落札額がそんなにまで差がないということになっております。

それから、幸地議員がいうように一緒にやるとなると、文書を後で作りに替えたということにもなると思います。だからその分の、私たちとしてもより安く執行するために一緒にできないかとそういうことも考えまし

たが、年度も違う、事業としても違うという
ようなことで、今回の執行の仕方になってお
ります。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

大体、それは分かります。車種ごとに金額
を分けて、一括入札で、1枚しか出しません
ので、その写しをとって、両方の添付書類に
添付してやればできるんじゃないかというこ
とを私は聞いているわけです。ただし、いろ
いろと厳しいこともあると思うんだけど、最
初でそういうふうな説明もして、今回は入札
を同じ日やりましたから、こういう方法でや
りましたので、一方写しになりますよとい
うことでいけるんじゃないかということを知
っているんです。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

事業がまったく違いますので、二つの事業
ともちゃんとした書類をもっての執行、それ
から整理になりますので、それはできません。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

先ほどの答弁の中で、これまで46名乗りの
バスが17年間使用してきたということであ
りますが、法定耐用年数というのは何年であ
るのか、それから現有のバスはどういう状態
であるのかということについてお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

法定耐用年数は5年です。それから現有の

バスの状況としましては、1度は板金塗装も
やっていますが、また、サビがひどくなって
いる状況です。それから故障が頻繁に出てい
る状況、クラッチとか、エアコンとか、そう
いうのを含めて頻繁に出ているという状況で
あります。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第33号、久米島町営路線バ
ス車両購入契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成
の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。従って、議案第33号、久米
島町営路線バス車両購入契約については、原
案のとおり可決されました。

日程第4 久米島町営路線バス車両購入 契約について

○ 議長 山里昌輝

日程第4、議案第34号、久米島町営路線バ
ス車両購入契約についてについてを議題とし
ます。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

本題に入ります前に、先ほどの提案理由と
同じ箇所が間違っていますので、「処分の」

を「処分に」に訂正をお願いします。

議案第34号、久米島町営路線バス車両購入契約について。

久米島町営路線バス車両購入について、次のように車両購入契約を締結したいので地方自治法第96条第1項第8号の規定により、議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 久米島町営路線バス車両購入（中型54名乗り）
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約の金額 1千748万424円
4. 契約の相手方

沖縄県浦添市港川495番地5
沖縄ふそう自動車株式会社
代表取締役 平良昌尚

平成21年7月28日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

久米島町営路線バス車両購入契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を得る必要がある。

2枚目に物件供給契約書を添付しております。この件に関しましては3社を指名し落札額が80.20%となっております。ご審議よろしくをお願いします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

12番翁長学議員。

○ 12番 翁長学議員

先ほども29名乗りの方で伺ったんですが、

この54名乗りも代替えなんですか。そしてこれも増車なんですか。

そして、私が前々から当町の有償運送について総合事務局の認可が29名乗りのマイクロバスとなっております。どうしてこの54名乗りというのにこだわっているのでしょうか。その根拠と、29名乗りが変更になって定員が大きくなった許可がおりたのか。

それとこのバスというのは島民の足を確保するため廃止路線の代替えバスの運行ができなくなったときに、有償運送が適用されている理由だと思います。その許可の定員を見ると29名となっています。その54名というのはちょっとおかしいのではないのでしょうか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

これにつきましても、現在ある経過年数が13年を経過した58人乗りの代替えであります。29名乗りが1台、マイクロバスがあつて、現在のところは、その3台が中型バスとなっております。そして、4台ある内で3台が常に可動していて、1台は故障のときに対応するためのものですが、今、2台は29名乗りで対応できると思います。そして、中型バスがもし故障した場合に29名以上のものに対応するためにはぜひ2台はないといけないということの状況です。故障した場合にそれに対応するものということで、このバスについては54名乗りのものであります。

それから町民対応と、路線バスですので、お客さんは観光客も含めてになります。空港線ですね。そういうことも含めて時期的なときにはマイクロバスだけでは対応できないという状況がありますので、2台はマイクロ

バス、2台は中型バスということでの設備になります。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後2時03分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後2時07分)

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

29名乗りの許可条件についてのものと、今まで29名以上のものを運行していることについての関係については調べてお答えしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

12番翁長学議員。

○ 12番 翁長学議員

実は、島内を走っているバスを見ると乗車率がすごく低いですよね、空港も、今課長の話だと今の季節によっては大型じゃないと対応できないと、バス以外に公共交通機関として別に対応できるタクシーもあるんじゃないですか、どうしてこう大きなものにこだわるんでしょうか。タクシーがなければ、バス一本だったら考えられます。あまくでも観光客にバスしかないというイメージをうたっているんですよ。観光協会も。必ず大きいバスでなければ対応できないというのはこれはちょっとおかしいと思います。

この乗車率が島内ぐるっと回って、定員が半分以上だったら大型でも中型でもかまわないと思いますが、空港も29名乗りでも十分対応できると思います。この方ですね、ちゃんと乗車率も関与して購入を決めてほしかったです。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

実態としてといたしますか、だいたいは29名乗りでも対応できるという状況にあります。そういうことも含めてより小さいバスということには努めておりますが、時によっては29名以上ということもありますので、それに対応するために今回は2台の中型バスの備えとなっています。それについては乗車率とかそういうものも今後勘案しながらバスの規模については選定をしていきたいと思えます。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

議案第33号、34号も関連するんですが、これは物品供給ということで、あるものを買う、既製品を買うということなんですが、そのバスを買うのにどうして、最大5カ月の余裕を見ているんですかね。決まったらすぐ納入してもらってもいいんじゃないかと思うんですが、これは21年の12月25日までに納めればいいというかたちなんですよね、そのへんが分からないので回答願いたいと思えます。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

通常バスとか、マイクロバスとか、そういう車両、路線バスの機能、たとえばブザーとか、料金箱とか、そういういろいろなオプションの備えがありますので、そういうもので期間が必要ということでもあります。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

当然バスですから料金、機械も必要ですし、ステップとかいろいろあると思うんですが、

ただ、5カ月というのはあまりにも長いと思うんです。バスとして作るわけですからメーカーは。当然、それに見合うようなアタッチメントも準備しているはずなんですよ。

工期説明のときに、そのようにメーカー側から要望があったのか、それだけ確認させてください。5カ月くださいと。ただもうなんともなしに12月25日、そうですかという感じがするわけですよ。バスも修理して大変だと言いながら、5カ月も猶予を持ったということが腑に落ちない。そのアタッチメントについても腑に落ちない。メーカー側からこんだけくださいというのは、たまたま機械が切れて製造するのに必要ですからというのがあったのかどうか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

これまでのバスの代替えした場合においても、そのオプションとか、備えとかの取り付けとかのための期間で、それだけの期間はこれまでもかかっております。それを参考にし、て期間を設定してあります。

○ 議長 山里昌輝

11番宮里洋一議員。

○ 11番 宮里洋一議員

契約書の中で字句、契約執行の場所が久米島町役場内と久米島町役場とあるが、どう違うのか。

それと真ん中頃に、久米島町を甲として云々とあって、その次に上記事項及び裏面の条項とあるんですが、その裏面の条項は添付しなくてもよろしいのかどうか。聞きたいです。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

すみません。同じ契約でありながら、字句が違っているということですが、役場内ということで、役場と同じことでもあります。

契約書については、添付資料としてメーカーの契約の金額とか内容とか、相手方、それを知らせるためのものでありますので、後のところについては議会の添付資料としては付けてありません。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。

12番翁長学議員。

○ 12番 翁長学議員

議案34号に対して、定員54名となっております。私は29名でも十分間に合うと思います。マイクロバスだと1千100万円、中型になると1千700万円、その差額も大きい金額になると思います。29名乗りで十分可能だと思います。54名では燃費もかかるし、費用もかかるということで、この議案には私は反対であります。

○ 議長 山里昌輝

次に、原案に賛成者の発言を許します。

他に討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第34号、久米島町営路線バス車両購入契約についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手多数)

○ 議長 山里昌輝

挙手多数です。従って、議案第34号、久米島町営路線バス車両購入契約については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 山里昌輝

以上で本臨時議会に付議された事件はすべて終了しました。

これで平成21年第6回久米島町議会臨時会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 午後2時17分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 山里昌輝

署名議員（議席番号11番） 宮里洋一

署名議員（議席番号12番） 翁長学

平成21年（2009年）

第7回久米島町議会定例会

1日目

9月10日

平成21年 第7回久米島町議会定例会

会議録 第1号

招集年月日	平成21年9月10日 (木曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	9月10日 午前10時00分	議長	山里昌輝
	散会	9月10日 午後2時45分	議長	山里昌輝
応招議員 出席議員 出席14名 欠席0名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	崎村正明	8番	幸地良雄
	2番	宮田勇	9番	上里総功
	3番	饒平名智弘	10番	安村達明
	4番	宇江原総清	11番	宮里洋一
	5番	山城宗太郎	12番	翁長学
	6番	仲村昌慧	13番	平良義徳
	7番	喜久里猛	14番	山里昌輝
(不応招) 欠席議員	番			
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	13番	平良義徳	1番	崎村正明
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原秀雄	書記	
	係長	安田栄		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良朝幸	教育課長	佐久田等	
副町長	大田治雄	商工観光課長	平田光一	
教育長	比嘉隆	環境保全課長	田端智	
総務課長	仲村渠一男	建設課長	盛本實	
町民課長	大道幸子	農林水産課長	平良朝幸	
プロジェクト推進室長	山城保雄	農業委員会事務局長	前里良正	
税務課長	平田明	上下水道課長	又吉敏雄	
福祉課長	日高清有	消防長	山城英明	
会計管理者	仲地泰	空港管理事務所長	平良進	

平成21年 第7回久米島町議会定例会

議事日程 [第1号]

平成21年9月10日(木)

午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	49p
第2		会期の決定	49p
第3		議長諸般報告	49p
第4		一般質問	49p
		散会	84p

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 山里昌輝

ただいまから平成21年第7回久米島町議会定例会を開会します。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 山里昌輝

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、13番平良義議員、1番崎村正明議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 山里昌輝

日程第2、会期の決定を議題とします。
お諮りします。

本定例会の会期は、本日9月10日から9月25日までの16日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。従って、会期は本日9月10日から9月25日までの16日に決定しました。

日程第3 議長諸般の報告

○ 議長 山里昌輝

日程第3、議長諸般の報告を行います。

平成21年6月26日から私が出席しました会議等の概要をお手元に配布してありますので、ご覧になっていただきたいと思います。

次に、地方自治法第235条の2第3項の規定により、例月現金出納検査の結果報告をお手元に配布してあります。朗読は省略します。

次に、町長から平成21年町政一般報告書が別紙のとおりありましたので、お手元に配布してあります。朗読は省略します。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4 一般質問

○ 議長 山里昌輝

日程第4、ただいまから一般質問を行います。

一般質問の質問時間は、会議規則第56条第1項の規定によって、これまでどおり30分以内とします。

なお、質問は質問席から一括質問総括質問の後、一問一答方式で行います。

それでは、順次発言を許します。

9番上里総功議員。

(上里総功議員登壇)

○ 9番 上里総功議員

9番上里です。1点ほど質問したいと思えます。バーデハウス久米島の経営について、株式会社オーランド運営管理のバーデハウス久米島は平成16年6月オープン以来5年目に入っている。その間に施設運営責任者である総支配人が入れ替わり立ち替わりをし、施設運営責任者も勤まらない施設である。

この施設の目的は、町民の医療費の軽減化と観光客誘客15万人が最大の目的であったが未だに達成されていない。

平成18年9月定例議会でも経営状況について質問をし、そのときの答弁では経営見通しとしては、3年以内に単年度黒字への転換を

目指しておりますとなっている。

現在、3年が経過したが経営の状況は。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

9番上里総功議員の質問にお答えします。平成20年度減価償却費を含む当期純損失は4千235万4千円の赤字となっております。平成18年度時点において3年後の単年度黒字を目標に掲げましたが、平成19年度は経営改善を図るための経営体制の強化を優先に行い、赤字幅は大きくなりましたが、だんだんと改善策が功を奏し、平成20年度には赤字幅が小さくなっております。21年度の単年度黒字は見込まれませんが、22年度黒字を目標に努力していきたいと思っております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

今の答弁では納得できない。といいますのは、18年度9月定例会において、今までの経営者も努力してきたんだけど、赤字が出てきたということで、弁護するような答弁をしている。新しい役員体制でもって、3年度以内には単年度黒字への転換を目指しておりますと答弁しながら、今回は22年度を目標に努力していきたいと述べられているが、言い訳の先送りではないのか。

行政の仕事は、結果責任が問われているが、皆さん方には、その認識があるのかどうか疑わしい。バーデハウス久米島には平成17年度より、経営再建対策費助成金として指定管理費以外に毎年1千万円の資金援助がされ、平

成21年度までに5千万円が投入された。今まで管理責任や不祥事についての責任追及もされてなく経営がされている。

この施設の目的は、町民の医療費の軽減化と観光客誘客15万人が最大の目的であったが、未だに達成されていない。現在まで多くの資金が投入されているが、果たして久米島町にバーデハウス久米島は必要な施設であるかが問われている。このまま、経営を続けていけば破綻するのは目に見えており、最後に負担は町民に降りかかってくるのは明らかだ。助成金は一般財源からの持ち出しで、町民の税金である。

このような状況で今後とも経営を続けていくのかどうか、また、医療費の軽減化はどのようなになっているのかを聞きたい。

それともう1点、バーデハウス久米島総支配人の給料について、毎年赤字経営であるにもかかわらず、高額な給料42万円が支払われている。行政は、行財政改革のために職員や議会も給料カットが実施され協力しているのに、バーデハウス久米島は赤字経営でも高額な給料が支払われているのはどういうことなのか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

確かに経営については非常に厳しい状況であります。そして、答弁にもありますように、平成19年度においては、その体制の見直しとか、そういうものに重点をおいてやってまいりました。その対策が功を奏しつつあります。今回の平成21年度において、インフルエンザ等の状況、観光客の減とか、そういう状況でより厳しさは増してくると思っております。

しかし、観光振興面とか、町民の健康増進の面でも重要な役割を果たしておりますので、できるだけ経営改善に努めて、施設については今のところ維持管理継続をしていくということで考えております。

それから医療費の件ですが、目的に町民の健康増進という、それがゆくゆくは医療費の軽減にも貢献していくということは考えておりますが、その医療費の比較といいますか、資料を収集してやってみたんですが、やっぱり、その個人個人によっても病気とか、いろんな状況等がありまして、その比較のできるような資料が出てないような状況で、医療費の軽減に貢献しているかについては、今言えないところであります。

それから、支配人の42万については、月給で手当てなしの42万ということで、時間的なものとか、責任の度合いからしたら民間と比較しても理解できるような金額ではないかと思っております。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

ただいまの質問にお答えしたいんですが、まずバーデハウスが公共性が高いか低いかという部分での質問というのは分かれてくると思うんですね、質問の内容が。例えば、我々は今、バーデハウスについては観光入域者数10万人弱の中で3万人が観光客が利用しているということ。あと、島民が延べ人数2万7千人利用しているということを考えれば、公共性が非常に高いということも、ぜひご理解いただきたいと思っております。例えば球場、ホテルドーム、膨大な費用をかけて建てたんですが、何千万と毎年、維持管理費にかかっていると、

これもやはり公共性が高いということで、まったく費用対効果はないけれどもも存続していかなくちゃいけないということから考えて、私自身、バーデハウスは非常に公共性が高い建物で、これは将来も運営していく必要があるんじゃないかというふうに思います。

もちろん3年度、先ほど3年度黒字を目指すとやったんですが、去年の秋頃から金融危機、あるいはインフルエンザの影響で、今年度も売上げは落ちております。非常に厳しい状況にはなっております。しかしながら将来的にどうやって運営するかというのは、専門委員会を立ち上げて、その専門委員会の意見をお聞きしながら運営方法も考えていきたいというふうに思います。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

この質問に関しては、今まで同じような答弁であります。何のための目的でつくったか、それについてどのような努力がなされているかと、そこのところが問題だと思うんです。公共性があるんだったらそれなりのもっとやるべきことがある。それで何年度には黒字出しますと言いながら、結果が出てない、それで果たしていいのかどうか。全国的にいろんなところを見ていると、公共性、住民のためになるんだということで箱物いっぱいつくっている。

これはNHKが出しているクローズアップ現代というそのスタッフが出している本ですが、これにも書かれている。決して住民のためにはなっていない、首長や係の人は誰も責任をとってない、それで最後にツケがまわってくるのが住民だと、ここにちゃんと書かれて

いる。だから久米島町も、そういうことになりはしないかということでもあります。

それと先ほど支配人の給料42万円は民間と大体似ているということなんですが、今、民間は非常に厳しい。果たして民間と同等でいいのか、どうか。一般住民は久米島町のバーデハウスの経営状況、黒字になっているのか赤字になっているのか知らない。そういうのを知らすためにも、使用料値上げしたらどうか。赤字を補填するためには住民にも負担を求めるのが当たり前であって、公共性があるということで、果たして一般財源からそのままずっと持ち出していいのかどうか、それが問われている。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

今、議員からご指摘があったような問題も含めて、たいへん大きなたくさんの課題を抱えていると思います。全国的に第三セクターというのは同じような状況にあるということで、もともと第三セクターがスタートさせた事業というのは全国的に民間ベースでは採算が見込めない部分を第三セクターで地域経済の活性化、あるいは町民福祉の向上のためにやりましょうということで、スタートしているわけです。

バーデハウスも、まったく同じようなことでスタートしたわけですが、今、議員がご指摘のとおりいろんな課題も抱えています。

先ほど町長から話がありました委員会を立ち上げるということがございましたが、今月中に久米島町第三セクター等経営評価委員会を立ち上げる予定であります。町長から委員会に対して経営状況の審査、将来に向けて

の経営改善計画を諮問いたします。それを受けて委員会で中身を審査していくということになりますが、まずはどういったことをやっていくかと申しますと、設立時の事業目的は何だったかということを含めて、それと事業計画、設立時の経営計画はどうであったかということです。経営と計画と決算との乖離はどうか、その原因はどうであったのかということも含めて、その委員会の中で検討していきたいと思います。

当然、事業目的、公共性、公共的な役割を含めて、その目的が達成されているのかどうかということも含めてやっていきます。

今後の経営改善計画の有効性はどうか、議会の皆さんにもお示してあるかと思いますが、そして経営再建の可能性があるのかどうか。それが可能性がないということになった場合に事業を廃止した場合は、町の雇用や産業振興、健康増進にどういった影響があるのかということも含めて、委員会の中で検討していきたいと思います。

もし、事業計画が必要だという判断になった場合、それをどこが継続していくのかということです。例えばそれがオーランドではなく、行政が直営でやった場合どうなるかということです。オーランド以外の会社に任せただけの場合どうなるかということですね。あと、オーランドがこのまま継続してやった場合、どういった行政の支援が必要か、他の会社がやった場合もそうです。そういうことも含めて総合的にこの検討委員会で検討して、最終的に町長に答申して、最終的な判断は町長がいたしますが、その過程においては議会の皆さんに報告して、議会の意見も聞きながら町長が決断して今後の方向性を示していくという

ことになります。たいへん高いハードルはあるかと思いますが、これまで約8億の投資をして、旧村時代から投資をして、一つの事業をスタートさせたということもございますので、簡単に放り投げるわけにはいかないんじゃないかなとは思っておりますが、そこらあたりも含めて、一月に一遍の割合で開催していきますので、全協の中でも委員会に出した資料は議員の皆さんにも示しながら、意見も伺って進めていきたいと考えています。よろしくをお願いします。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

使用料の値上げをしたらどうかということですが、使用料についても値上げした場合にどうなるかとか、利用者が減らないかとか。そういうことも併せて検討した結果、今の割引制とかそういうものをもって、そしてより利用者を増やしていくと、それによって増えております。そういうことで平成20年度についてはそのようなことも併せて、利用者も増えて、経費軽減にも努めているという状況になっております。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

今、総務課長の方から検討委員会を設置して、新しく出発するという事なんですが、これは前にも新しい役員でもって頑張っていますということと一緒に、皆さん方は言い訳の先延ばししかやってない。

果たして、この施設が将来的にどうなるかと、議員の中にも補助金出して運営するのは当たり前だということを言っているんです

が、それが積み積もったらどうなるかということを考えてものを言っているのかなということも言えなくもない。だから私が心配しているのはバーデだけじゃない。野球場、ドームもあるし、そういうものを引っくるめた場合には、一般財源から持ち出しがものすごい金額になる。住民サービスどころじゃないと、それで最後に降りかかってくるのは町民負担だと、この本の中にもあるんですが、ある市町村ではネット販売で売り出しているところも出ている、バーデハウスも売ったらどうですか。そういうことも検討しながら進めてもらわないと、これはどうしようもない施設だと思う。答弁願います。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまのバーデハウスの売却の件なんですけど、補助金の適化法というのがございまして、特に10年未満の財産の処分について非常に厳しい規定がございまして、まず、それは難しいだろうと考えています。

ただ、ホテルが近くにできますと、ホテルと一緒にしての運営というのは非常に相乗効果がお互いにあるわけございまして、そういう使い方については将来的には考えてもいいのではないかと考えております。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

いろんな方法を考えてやるということであるんですが、最後に一言言っておきます。医療費で国が減ぶということわざがあります。久米島町においてはバーデハウスで久米島町が減ばないことを私は期待して答弁を終わります。

たいと思います。

(上里総功議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで9番上里総功議員の一般質問を終わります。

次に、6番仲村昌慧議員。

(仲村昌慧議員登壇)

○ 6番 仲村昌慧議員

6番仲村です。2点質問します。カジノについて、6月15日に県のカジノ・エンターテインメント検討事業概要説明会が開かれています。説明会には11市町村が参加していますが、それに久米島町も含まれています。説明会に参加した意図は何かお伺いします。

それから、カジノについては賛否両論ありますが、町長の見解をお願いします。

次に、大原下線の歩道設置について、大原下線の歩道設置については、以前から要望がありますが、いろいろな問題があって進展していない状況にあります。今回、7月30日、字の方から町に大原下線の歩道設置の要請をしていますが、その見通しについてお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

6番仲村昌慧議員の質問にお答えします。

カジノについて、現在県で進めているカジノ・エンターテインメント検討事業の報告会への案内がありましたので、現状を把握するため商工観光課長が参加しました。

私としては県内で誘致するところがあれば反対はできませんが、久米島町への誘致は考えておりません。

大原下線の歩道設置について、同路線については、平成12年、平成19年に県に対して補助事業での事業採択について要望をしましたが一次改良済みであるということ。また、事業の費用対効果が出ないということで未採択になった経緯がございます。今後もこの問題の解決方法を関係機関と調整を図りつつ、整備に向けて努力いたしたいと思います。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

カジノについて再質問させていただきません。この問題をどうして問題化したかということではありますが、6月15日の説明会に県内の41市町村がありますが、全市町村が参加していれば問題なかったと思いますが、その中で久米島町と竹富町が参加し、11市町村が参加されていることの新聞に記事が書かれましたので、久米島町も誘致に関心があるのかということ、町民も心配されている方がおりましたので問題にさせていただきました。

この問題は説明会がありまして、7月下旬から県内各地で報告会があるということで、糸満市でしたか、説明会を終えたんですけども非常に参加人数が少なかったということでありました。たぶん、11市町村が参加しているが久米島町でも報告会があるのかどうかということではありますが、それはどうですか、報告会については。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

報告会の開催については、県の方から今の

ところ何の連絡もありません。そのときの説明では、全市町村ということではなくて、地区ごとにとということの話でした。

○ 議長 山里昌輝

6 番仲村昌慧議員。

○ 6 番仲村昌慧議員

町長に再確認したいということで質問させていただきますが、実は県がカジノを導入したいというのが、自主財源が非常に厳しいということで、全国平均の45.4%に対して、沖縄県が27.9%、自主財源が、久米島町は21.8%ですが、非常に厳しい状況の中で、一人当たりの県民所得が全国の約7割しかない、久米島町は沖縄県よりももっと下でもっと厳しいでしょう。それから、失業率全国の2倍であるということで、久米島町もどんどん仕事がなく人口が減っている状況で、それでもしかして6月15日説明会に参加した後、6月19日に町長の行政報告会がありました。そのときに、町長の4つの言葉が非常に気になって、このカジノと結びつけてしまうことがあって、非常に気になったんですが、観光について人の往来がなくして活性化は望めないという町長の言葉でした。目的型観光でなければいけないということもありました。それから、仲井真知事の1千万人構想、観光入城の1千万人構想の中で離島も含まれている。今の9万人から20万人に町長は持っていきたいということもありました。外貨を稼ぎたいという言葉もありました。この4つがどうしてもキーワードとなって、タイミング的にカジノと結びつけてしまうんです。

実は、県がカジノの収益を想定しているのが539億6千100万円を想定しています。その中で分配として、民間事業所に、その半分の

269億が配分されます。その269億の半分の県が半分、市町村が半分で134億円ぐらい入ってくるんです。非常にこれからすると魅力的なものではあるんですが、しかし、いろんな問題が発生するという想定されますので、ぜひ、町長としていかなる条件が示されても久米島町はカジノを誘致しないという考えがあるのかどうか、そこを再確認しておきたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

仲村議員が今おっしゃったことですが、私は確かに人の往来なくして離島の活性化はあり得ないと、その中で人の往来があれば消費が生まれて、農業、水産業が発展していくと考えで、カジノについては、正直な話、まったく頭にございません。これについて誘致しようとも思っておりませんので、そこらへんは、ぜひ、ご理解いただきたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

6 番仲村昌慧議員。

○ 6 番仲村昌慧議員

平良町長はカジノについてはまったく誘致する考えはないということが確認できました。この新聞に発表されてから非常に心配されて、あちこちから久米島に誘致するんですかという声も聞かれましたので、現状を把握するための参加だったということで認識したいと思います。カジノについてはこれで終わります。

次に、大原下線の歩道設置についてでございますが、平成12年に一応設計も入れて要請しているということでありました。当時の設計の中で10億円かかるということで、事業の

費用対効果もない、歩行者が少ないということで、できないということでありました。

平成19年の地域懇談会の中でもそれが取り上げられまして、他の事業要件でそこに事業ができないかということで県と調整中であるということで、回答は得られた。その後の調整ではどのように調整されたかということをお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

その後、県とは調整をしながら事業の移り変わりというのは、あの時点での事業の内容と、現在の事業の内容は変わってきています。あの時点では10億という金がそこに投資されるところに関しては当然費用対効果は難しいということで却下されたんですが、最近になって交付金事業というのが出てきまして、ある部分においては費用対効果が緩和されている部分がありまして、今の事業からすると、以前の事業に比べて可能性があるということですが、ただもう一つ問題は先ほどの町長の答弁にあったんように、一次改良済みであるということがネックにはなっています。

最近、現状を県の方に報告したら、道路としては好ましいものではないと、ある面の状況から見通しも悪いと、交通量も最近かなり増えてきていますので、そのへんからすると、ある分においては整備する必要があるという考え方にはなってきました。

もう一つ問題なのは、以前に一次改良済みということですが、その時点で相続関係でまったく土地が取得されてない分が、この道路の半分ぐらいあるんですね、今後、この事業を入れてやるためにはその用地の問題を解決

しないといけないということで、今回、歩道設置という分で要求はされているんですが、歩道以外のところにも未買収用地が残っているので、そのへんの問題どうするかということ含めて、現在、我々の方で相続がどうなっているか、地域にも投げかけているんですが、一緒に協力してやるのであれば可能性が有りますということで、地元も含めて調整しているところです。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番仲村昌慧議員

この通りを見ていると非常に変則的で幅員が非常に大きいところと狭いところがあって、一次改良済みというのがいつ頃なされてどういう事業でされたのか。一次改良済みということについての説明をお願いしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

当時の道路改良事業という土木関係の事業ですが、国庫補助を入れて整備した分で、現在としては改良済みということで県の方に報告は行ってます。ということは、一旦は改良整備ということでやっていますので、二次改良というのは一般的にはやられてはいないわけです。まだ未改良の地域が多くて、一旦、一次改良した分に関してはしばらく待てと、まだまだ未整備の分が一次改良も終わってない分があるので、そのへんが優先的ということがあって、そういう事業の制度の問題もございまして、現状のかたちになっています。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

費用対効果についてであります、矛盾点があると思うんですが、以前に、仲地長竹線、この道路非常に整備されてきれいになっています。しかし、この道路は農林省管轄の事業でやろうとしたらできなくて、建設省の事業でしようとして、農道だけれども3mの歩道ができています。費用対効果からいえばまったくゼロです。そのときに1人2人でも歩く人がいいんじゃないかという人もいたんですが、それができて、ウォーキング、ジョギングのコースとしては非常にいいコースです。

そういうところは歩道を贅沢に使ってできているんですが、非常に危険でやってほしいところができないということは、おかしいなと思っています。そこのところは本当にその危険性というのは、町も認識しています。県も認識しています。そういった危険性を訴え、ぜひ、実現させていただきたいと思います。

2月からのキャンペーン、製糖期と重なって、車の往来が非常に激しくなってきます。夏場の7、8、9も観光客が夕日を見に行くということで激しくなっていきます。

この前の地域からの話もありましたが、今のところ人身事故は発生してないが、非常に危険であると、物損事故はたまたま発生しているということも報告されております。ぜひ、そのようなかたちで、県に字からも議会からもそういった要請があるということで強く要請して実現させていただきたいと思っています。

7月30日に字からの要請を受けたんですが、字に対してはどのような回答をしたのか、どういう回答をされたのかお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

要請を受けまして、口頭ではあるんですが、区長の方には過去の経緯を踏まえて、今後、努力はしていく。ただし、先ほど申し上げたように人の土地を利用するわけですから、現道内においても未買収があると、それを勝手に我々としてはやるわけではない。それは非常に難しい問題もあるということで、相続関係の発生するかもしれないが、我々の力の限度もあるし、地域の協力を得ないと難しい面もあるので、今後また協力いただきたいということで報告はしています。

○ 議長 山里昌輝

6番 仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

この未買収問題が解決できれば、ほぼ実現の可能性は高いと見てよろしいでしょうか。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

現在の事業の制度からすれば、以前よりはかなり費用対効果に関しては可能性があると思いますので、今週の議会終了後ですが、県と調整することになっていきますので、もしかするとある方向性は議会の最終日ぐらいには報告できるのかなという部分もございますので、そのときにできれば報告したいと思いません。

(仲村昌慧議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで6番 仲村昌慧議員の一般質問を終わります。

次に11番 宮里洋一議員。

(宮里洋一議員登壇)

○ 議長 山里昌輝

11番宮里洋一議員。

○ 11番 宮里洋一議員

11番宮里です。よろしく申し上げます。1点だけ質問させていただきます。具志川農村環境改善センター周辺の外灯設置について。具志川農村環境改善センターを結婚式・披露宴会場として増改築工事の進捗状況と周辺の外灯の設置について、具志川農村環境改善センター駐車場から下側の駐車場への階段が暗くて、手探りで手すりを伝わってやっと降りる状況である。また、駐車場も暗い、盗難防止のためにも光の強い外灯、防犯灯が必要である。このことについて、町長はどう考えているか伺いたい。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

11番宮里洋一議員の質問にお答えします。具志川農村環境改善センター周辺の外灯設置について、増改築工事の進捗状況については8月26日付けで建築確認申請書を提出しているところです。ご指摘の駐車場への階段は2カ所ありますが、1カ所は外灯は設置されているものの樹木が生い茂り光が届かない状況でしたので伐採をし、改善されています。あと1カ所は新設することで関係課と調整済みであります。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

11番宮里洋一議員。

○ 11番 宮里洋一議員

8月26日に建築確認申請書を提出したとの

ことですが、いつ着工し、いつから結婚式披露宴会場が利用できるかの見通しは。

それと外灯について、現在5カ所設置されているが光が弱く、また非常に暗く感じるが改善する予定はあるのかどうか。新設場所についても聞きたい。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

現在、建築確認申請を提出しておりますが、3週間程度かかるということですので、再来週ぐらいには許可がおりるものと思っております。それから、来月初旬には工事を発注予定をしております。それで改修工事が終わるのが12月頃と考えております。

それから外灯につきましては、新設の場所としては、西側の階段のところはまったくございませんので、それを照らすように、場所は決めておりませんが、そのあたりで考えております。

○ 議長 山里昌輝

11番宮里洋一議員。

○ 11番 宮里洋一議員

新設の場所がまだ決まってないということなのですが、今、答弁いただいた西側の階段のところは非常に暗い。この間、何名か一緒に降りるときも階段が見えないので、手探りで降りてきた、下側の2カ所の駐車場、防犯灯は2基あるんですが、部落が設置したものかなと思うが、あれ以外にも設置できないかと。とにかく暗くて、結婚式、披露宴をする場合には、車が相当そこに来るかと思うので明るい光を、今、設置されている外灯は暗いのではないかと思いますので、明るい電球に替える予定があるかどうか、もう一度聞きた

い。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

今のところ1基を新設するという関係課と折衝はしていますが、増やせるかどうかは調整してみないと予算の関係もありますので、今すぐできますとは答弁できません。

現在の外灯については、道路の方を向いているような状況であります。そのへんも電球の取替えで明るさが増すのかも現場を確認しながら、検討したいと思います。

○ 議長 山里昌輝

11番宮里洋一議員。

○ 11番 宮里洋一議員

今の下側の駐車場の外灯は町が設置したのですか。部落が設置したのではないかと思うが。

あと1カ所は、玄関から庁舎に行く門のところ、そこも1基しかなくて、非常に暗い。そのへんの関連についても答弁願いたい。

○ 議長 山里昌輝

大田治雄副町長。

○ 副町長 大田治雄

当時、係わったものとして把握している分で回答したいと思います。その事業については農村総合整備モデル事業、当時の農林省の補助事業で用地整備事業と本体工事、そしてテニスコート他については単費で施行しております。外灯についても当時制約がありまして、あくまでも構内だけということで整備しております。下の2カ所の駐車場については起債事業で、この事業以外の事業でやった関係上、そこには照明設備は当時建てておりません。

今、おっしゃるような現地の側にある防犯灯については当時の仲泊の地域で設置したものでありまして、道路側を向いているのが現状であります。

そのへんは今、要望がありますとおり、暗い部分については今後増やすような検討をしていきたいと思えます。

(宮里洋一議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで11番宮里洋一議員の一般質問を終わります。

暫時休憩します。(午前10時47分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前11時00分)

次に、13番平良義徳議員。

(平良義徳議員登壇)

○ 13番 平良義徳議員

13番平良です。よろしくお願ひします。堆肥センターについて、堆肥センターは建築基準法改正等で工期がだいぶ遅れ、この度やっと完成した。農協購買が堆肥注文の窓口となっており、既に農家の注文が多いとのことである。農家が期待していることは、良質な堆肥を安く供給できること、それを施肥することにより作物の収量アップが得られることを望んでいます。そこで町長に伺いたい。

①今の販売価格が現場へ配達込みでトン当たり5千円だが、農家では高いという声もある。もっと安くできないか。

②バラ売りをしているが、成分の分析例、例えばチッソ、リン、カリの三大要素成分等の各割合の表示はどのようになっているか。

③堆肥の製造方法で原料の種類と調達について、具体的な説明を願いたい。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

13番平良義徳議員の質問にお答えします。堆肥センターについて、1番目の販売価格についてですが、バラ堆肥のトン当たり5千円は堆肥生産能力と施設の維持管理費で計算されています。実際に運営してもトン当たり5千円が施設を運営していくためのぎりぎりの単価設定だと思えます。堆肥の販売価格については、堆肥センターを1年間通して運営し、その実績見ながら今後の検討課題としていきたいと考えています。

2番目の成分の分析についてですが、さった5月に第1回目の発酵堆肥を3種類分析センターに送って分析させた結果、15項目すべてが基準値内にありました。チッソ、リン酸、カリも平均基準値の範囲内となっております。

特に発芽率においては95%以上が基準値となっておりますが、3種類とも96%~100%の結果となっております。

3番目の原料の種類と調達についてですが、堆肥の原料は主に畜産農家からの牛糞と製糖工場からのバガス、ケーキ、トラッシュを運んで、原料置き場に保管してありますので、これを利用して堆肥をつくっています。また、儀間ダム工事現場からのチップ材を約800トンもらっていますが、チップ材は2次破碎して細かくしないと使えない状態にあり、現在その対策を検討しているところであります。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

去った5月に分析させたということで、検査結果は出ていますが、早めに農家への周知をしていただきたいと思います。説明をきちんとすれば、トン5千円という高いイメージは解消されると思います。そこで答弁願います。

1番目に、製造方法や分析結果の周知の方法について、例えばチラシで町民に配るか、それとまた農家を集めて説明会をするのかとか、そうすれば解消されるということです。それから分析表にもあるようにチッソ、リン、カリの三要素の含有量については、基準値に達していますので、問題はないと思います。ただ、水分値が40~70%に対し、牛糞、バガス、ケーキ合わせて69.2%。70%近くの基準値になっている。それからバガスを抜いて、牛糞、トラッシュ、ケーキでは71.9%、これは基準値を上回っています。それから、10%減らすだけでも農家にとっては非常に負担減になるということです。そこで答弁願いたいと思います。水分含有量が50%が望ましいので、改善していただきたいと思います。これを攪拌して水分を飛ばせばできることと思いますので、その2点を答弁お願いします。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

今の堆肥の水分含有ですが、牛糞とチップ材を使った場合には37.2%。牛糞、バガス、ケーキを使った場合に69.2%。牛糞、トラッシュ、ケーキの場合は71.9%ということで、3種類出ておりますが、実際に発酵させていますが40%~50%を目処に水分調整をしていきたいと考えています。1年間を通して、そ

の結果を見ながら、改善をしながら堆肥の製造については努めていきたいと思ひます。

○ 議長 山里昌輝

13番平良義徳議員。

○ 13番 平良義徳議員

試行錯誤しながら、初めての試みだと思ひますので、あえて細かい注文はしませんが、3番目は引き続き畜産農家や製糖工場の方に協力をしてもらいたいと思ひます。

それから、チップの2次破碎についてはぜひやってもらいたい。これは牛糞プラスチップの組み合わせでは水分の含有率が大幅に基準値を下回る37.2%、そういう結果が出ていますので、今後大いに期待されます。今は化学肥料もずいぶん上がって、農家は低コストで収量アップがねらいですので努力していただきたいと思ひます。

1例を申し上げますと本部町のアントン牧場ですが、牛もたくさん飼育しながら堆肥も生成して販売しております。また、先進的にやっている伊是名村ですが、向こうも堆肥工場は前からやっております。そういったところを参考にしながら、農家のためにも応えられるように頑張ってくださいたいと思ひます。これで質問を終わります。

(平良義徳議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで13番平良義徳議員の一般質問を終わります。

次に、3番饒平名智弘議員。

(饒平名智弘登壇)

○ 3番 饒平名智弘議員

3番饒平名です。中高一貫教育について、中高一貫教育を実施して、6年になりますが、どのような成果が上がったのか。また、

進学率は伸びたか、精査はしているかを伺いたい。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

3番饒平名議員の中高一貫教育についてお答えいたします。中高一貫教育の成果は3中学校の受験者がほぼ入学でき、中学校、高校の生徒間、もしくは教職員間の交流ができています。20年度の進学については72%です。メリットとしましては成果と重複しますが、高校受験の負担が少なく、スムーズに高校へ入学できます。中学校、高校の先生方の授業研修を交互に実施し、意見交換が行われております。中学校の生徒のきめ細かい情報が入っています。これは学習面、スポーツ面、指導面となっております。

行事におきまして、中学生、高校生の交流が図られております。主に、ハーリー行事、意見発表会、音楽発表会等々となっております。

また、デメリットとしましては、勉強しなくても高校へ入学できるという安堵感により学習意欲の低下につながっている。中高連携に伴う加配教諭は高校だけであり、また、研究会、会合等で教諭の多忙さにつながっているような現状が見受けられます。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 山里昌輝

3番饒平名智弘議員。

○ 3番 饒平名智弘議員

教育長が思う成果は3中学校の受験者がほぼ入学できる、それが成果というには、私はそうは思わない。中高一貫教育を初めてから、

久米島高校への進学率は伸びたのか。また、始める前と過去6年間の進学率を伺いたい。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

ただいまの質問にお答えいたします。平成15年度の久米島高校への島内の子供達の進学率は81%です。16年に80、17年に71、18年に76、19年に73、20年に先ほど教育長から答弁があったとおり71%でありまして、当初より久米島高校にいく子供達が少なくなっている現状であります。これは、また、子供達の数が減少傾向にありまして、それもいくぶんか島外に出ていく子供達の数と割りましたらそのへん進学率が落ちている状況にあります。

○ 議長 山里昌輝

3番饒平名智弘議員。

○ 3番 饒平名智弘議員

今、説明がありますが、私は中高一貫教育を実施したから久米島高校への進学率が落ちたと思う。それを人が少なくなったから確率的に悪くなったというのは、これは絶対にありえないと思う。それで、中高一貫教育の弊害ではないか。次にメリットで、高校受験の負担が少なく、また、スムーズに高校へ入学できるなど、4項目上げているが、大したメリットではないと思う。

それより、デメリットの方が勉強しなくても高校へ入学できる、そういう安堵感により学習意欲の低下につながっていると思う。せっかくの高校入試試験のチャンスを奪うことはどうかと思う、今の世の中、大学進学、就職など試験を行っている。そういう経験をすることがとっても大事だと私は思う。

教育長に、再度伺いたい。学習意欲の低下

と言っているが、学力の低下はないのか。

それと、中高連携に伴う加配教諭は高校だけなのか確認したい。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

中高一貫教育につきましては、これは国の制度、これは平成10年度から始まっておりませんが、500程度の高校でもって中高一貫教育をなささいということで文科省の方からありまして、沖縄県の方で久米島、伊良部町、本部町3校の方で中高一貫教育が行われております。これは平成11年度から県の方から久米島高校の方に通達がありまして、11年度から14年度にかけて久米島高校の方で調整し、そして15年、16年が研究指定校ということで具志川中学校と久米島中学校が指定されております。そういった中におきまして、当時としましては、中高一貫教育というのは地元としても反対ですということで申し上げ、久米島高校の当時の校長としまして、中等教育学校、もしくは併設型の中高一貫教育をしてくれという要望書を出しました。しかし、県としましては、これが県の一方向的な通達でもって、現在も中高一貫教育の連携型ということになっていますが、確かに議員がおっしゃるとおり子供達の学力面が落ちているような感じがいたします。これはすべてということではなく、今、沖縄本島に進学した子供達は一生懸命夢を持って頑張っておりますが、ややもすると先ほども私が申し上げたとおりに久米島高校連携型ということで簡単な入試でしか入学はできません。そういったことを考えますと学力的には低下、そういったことがございます。また、現に、久米島高校の先生方から

ももう少し勉強して久米島高校に入ってほしいという願望もあります。

加配につきましては、中高連携ということで、15年、16年が加配がございましたが、現在におきましては、高校の方にしかおりません。これは県の学校教育課、高等学校は学校教育課の中にして位置づけられますので、例えば私たちはあくまで連携教育ということで中学校の先生方、私たち久米島町の教育委員会も奮闘しているわけですが、主としては県ということがございますので、県立高校の久米島高校の方に配属になっているということです。

○ 議長 山里昌輝

3番饒平名智弘議員。

○ 3番 饒平名智弘議員

教育長は、学力低下はあると、今の質問の中で那覇の高校には夢があると。でも久米島高校も夢はあります。加配教諭の件なんですけど、教育長は中学はないと言っているが、実際、久米島高校もないんです。教育長がそこを把握してほしかった。それでこの質問をしたんです。もう一回調べて、加配教諭がいるかどうかは確認してほしい。

中高一貫教育を実施したため、学習意欲、学力低下につながり、また久米島高校への進学率も下がったなら廃止するべきではないかと思うんです。

今、立ち止まって本当に中高一貫教育がよいのか悪いのか。保護者、教員、地域を含めて検討する時期に入っていると思う。その話し合いの場を、ぜひ、立ち上げてほしい。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これは県立高校につきましては、10カ年の編成整備計画に基づいて、これが行われています。これは平成14年度から平成23年度までなんですが、新たに24年度から新たな高校の編成整備計画がございます。これは21年度、22年度あたりからいろんなかたちで、それぞれの県立高校のある地域で開催がもたれ、県の方からも説明が来ると思いますが、24年度以降も果たして中高一貫教育がいいのか、連携型がいいのか、そのへんはもう少し私たちも検証してそうあるべきなのか、これは平成14年の方に要望したわけですが、連携型ではなくて、併設型の一貫教育。もしくは中等教育学校ということでの要望ということも私も考えております。これについては、私たち久米島中学校、久米島西中学校、仲里中学校、3校の統廃合も含め、もしくは久米島高校との位置づけも考えながら、そういった面では県ともいろんな相談をしながら久米島町についてもどういったものが一番ベターなのかを話し合いながら進めていきたいと考えています。

(饒平名智弘議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで3番饒平名智弘議員の一般質問を終わります。

次に、1番崎村正明議員。

(崎村正明議員登壇)

○ 1番 崎村正明議員

1番崎村正明、1点をご質問させていただきます。グリーンビュー阿里的環境整備についてです。島外からの購入者の土地は特に草木が生い茂り荒れ放題になっているが、地主に対して維持管理等まで説明されているかお伺いしたい。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

1番崎村正明議員の質問にお答えします。グリーンビュー阿里的環境整備について、土地購入者に対して維持管理に関する説明は口頭で行われています。一般的には土地の売買が行われ、所有権の移転が行われた段階で管理責任は所有者に移りますので所有者もこれを理解しているものと考えております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

1番崎村正明議員。

○ 1番 崎村正明議員

答弁内容によりますと、確かに地主のあれなんですけど、ただ、土地購入後一度も草刈り等の管理がなされていない土地が何件かあるんです。私は疑問に思うんですが、本当に理解されているのか、再度伺いたい。

また、私の一般質問に際し、現地調査をやったか、グリーンビュー全体の状況はどうだったか、答弁も求めます。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの崎村議員のご質問にお答えします。そのグリーンビュー阿里については、まだお家が建ってない敷地で、なおかつ持ち主が島外、県外にいらっしゃる方が7名います。区画にすれば1人で2区画持っている方もいらっしゃると思いますので8区画ございます。その中でおっしゃるとおり、購入以来ほとんど久米島に来たことがないという方も多分いるかと思っております。そういうことで地域の生

活環境にかなり悪影響を及ぼしているということもこれは事実でございます。

特に県外にいらっしゃる方は掃除しにきてくれということも非常に難しいところもございますので、これまで何回か町のものを掃除するとき、一緒についでにやったということも事例もございます。今回もその部分、環境保全課の清掃職員がおりますので、そのヒマを見つけてやってくれということをお願いをしているところであります。

現場を細かく回ったわけではございませんが、そこを通りながら見てはおります。基本的には個人の土地は個人の責任でやるべきなんですけど、無断でその草木を刈ることも非常に難しいところはあるんです。これはまた文句を言われる可能性はあるんですが、少なくとも道路やあるいは周辺に悪影響を及ぼしている分については町でやっても構わないんじゃないかなと思いますけど、併せて、その地域でできる部分については地域にもお願いして、地域でできない部分については町で対応していきたいと考えています。

○ 議長 山里昌輝

1番崎村正明議員。

○ 1番 崎村正明議員

今の答弁によりますと、要するに売りっぱなしという受け止め方をしているんです。要は、僕らも自主的に近隣で売られている売られてない別にして率先してやっている方も結構いるんです。例えばこれは売るに当たって、名前だとか、責任、所有者の連絡先とか明記すべきだと思うんです。今後、その連絡先やらで、そういった買われた土地にクイかなんかで、表示さえあれば、外部から来た人たちはこれはまだ売られてない土地と、はっきり

言って、住んでいる者さえ、この土地は売られているか、売られてないかすら分からない状況なんです。草木で表示板が倒れたり、見えなくなったりして、そういう状況を見て、感覚を疑いたくなるんです。

そのへんもう一度すべてを回って、売られていない土地に関しても現在はどうなっているか、それぐらい把握してほしい。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまのご指摘ですね、今は口頭で説明しているわけですが、やはり、はっきりさせるために売買契約時の文書でやるような方法も検討したいと思っております。所有者の表示についてもどういう方法がいいのか、立て札を立てることによって、それがまたその持ちなども考えて、検討させてください。

それから今、第1期、これはバイパスより上の方が65区画あった中で13区画残っております。第2期のバイパスより下側が55区画ございましたが、まだ、35区画残っております。合わせて48区画が残っておりますので、この分については町が責任をもって完売するまでは周囲の環境に影響を与えないように整備していきたいと考えています。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

今の答弁によりますと、1期分で去年の今頃でしたか、先輩議員からの販売状況ということでしたんですが、1期分でトータルで65、前年度の実績ですよ、これは。販売済みが52、そして残が13、今の答弁とまったく一緒の数字なんです。さらに2期分についても販売

実績は一緒なんです。

今後、維持管理なんですけど、どのように販売促進していくか。もうちょっとやり方というか、そういった面もひっくるめて、今後の販売促進をお伺いしたい。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいま崎村議員からご指摘があったとおり、去年はほとんど売れてないということで、動きがビタッと止まっております。これについては、阿里的分譲地の販売価格が元々の所有者から土地を買い上げて、それにかかった工事費を積み上げてそれを面積で割って、その販売価格を積算してますので、それで平均8万前後なんですけど、今、周辺の土地の実際の取引価格が4万、半分以下です。そういう状況で、それをその価格で販売していくのは非常に厳しいと考えております。

また、販売以外の利用方法がないかどうかと考えてはおりますが、それも今の経済情勢でなかなか厳しいところがございます。

いろいろ知恵を絞りながらやっていきたいと思っております。意見としては、その販売価格を市場価格に公示価格に合わせてやったらどうかという意見もございますが、これもまた今まで販売した方との比較を考えると、これもまた難しいところがあるということで、たいへん悩みの種でございますが、いろいろ知恵を絞って、できるだけ販売できるように取り組んでまいりたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

今の答弁によりますと、販売というのはホ

ームページでしかやってないですね、これはかなり遅れている時代なんです。現にホームページで見て現場を踏まないと土地勘というのはつかめません。要するに、本当にやるのであれば、不動産関係を利用して、もっともっと視野を広げて、どれだけ売るんだという目標をもって仕事をやらないと、不良資産というんですか、財産ですよ、これは。これをそのまま遊ばせたんでは、やる気もぜんぜん見えないような気がしてならない。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

今、崎村議員からご指摘があった不動産業者を通しての販売についても大手の不動産業者も打診はしました。上物がなくて土地だけでその区画でというのはなかなか無理だということでもあります。

あとは上物を乗っけて、付加価値を高めて販売する方法がございしますが、これも今、不動産不況でなかなか銀行が融資をしてくれないということで、不動産関係についても手詰まりな状態であります。何もしてないということではなくて、そこらあたりも打診をしています。

あと、検討したのが、そこに町営住宅を乗っけて貸したらどうかということも検討いたしました。町は大きな負債を抱えていて、町単独事業として上物を乗っけて、それを貸すということもままならないということで、今の状況に至っていますが、また、経済状況の変化が出てくるとお思いますので、そういった町の財政や経済状況も踏まえながら早期に有効活用ができるように取り組んでいきたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

1 番崎村正明議員。

○ 1 番 崎村正明議員

今後の維持管理ということで質問し忘れたんですが、今後、通年通して予定は何回あるか。そして今現在状況はかなりひどいです。観光客、あじま一館で昼食をしに来て、自由散策する年配の方が結構いるんです。これを見て、買う気には到底ならないと思うんです。本当に財政難であることは間違いないんですけど、僕らも地域としては極力努力いたします。

ちなみにいつ頃予定していますか、結構、上下、結構茂っているんです。その草刈り日程をお願いいたします。

(崎村正明議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長

○ 総務課長 仲村渠一男

現在緊急雇用対策事業もございしますので、そういった事業を活用して、できるだけ早めに周辺環境の整備に向けて環境保全課の方と調整してやっていきたいと考えています。

○ 議長 山里昌輝

これで1 番崎村正明議員の一般質問を終わります。

休憩します。(午前11時34分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前11時35分)

次に、4 番宇江原総清議員。

○ 4 番 宇江原総清議員

4 番宇江原総清であります。私は5 点質問をします。第1 は鳥島射爆撃場の早期返還と自衛隊駐屯基地の問題等についてであります。民主党の鳩山由紀夫代表は今年の8 月17

日の6党党首討論で米軍普天間飛行場移設問題について、1番いいのは海外に移設されることが好ましいが、最低でも県外移設されると思っているとの表明をしています。また、これに先だって8月14日の党首討論では、鳩山代表は非核三原則を守り、日米間の核持ち込み密約については、政権をとった場合に徹底的に調査し、公開すると表明しています。これまで自民党政権が米国に隷属的になっていたのとは異なる対等な立場で交渉を行う姿勢の表れだと思っています。

このように墓口を開けたからには、各政党とも同一政策をとらざるを得ないと思っています。鳥島射爆撃場問題についても、政府等に鳥島射爆撃場の早期返還町民総決起大会を早急かつ主体性で行動すべきだと考えていますが、町長のコメントを伺います。

また、自衛隊久米島駐屯基地の核シェルターの疑い、私の聞き取りからの疑いでありますが、これに対する町長から同駐屯基地司令宛の文書紹介はないかどうか、併せて伺います。

第2にコンクリート護岸の撤去と、これに伴う潮害防備保安林等の植栽について、河川も含みます。最近のテレビ10チャンネルで水中のプロといわれる渋谷正信氏がアワビ等が激減した志摩の海を復活させ、北海道では増毛漁協とタイアップし、ウニを再生させた。なぜ、アワビやウニがいなくなったのか。その理由は土中から海へ流れるべき鉄分のミネラル等が流れなくなった。その結果、アワビやウニなどの魚介類が食するホンダワラ等の海草が生息することができなくなった。海草が生息できない原因は、土中から海へ流れる鉄分や腐植土をコンクリート護岸が遮断した

ことにあったんです。

また、今月初旬の台風8号は先島等に大被害を与えましたが、久米島ではその余波で東海岸線のモクマオウ等の潮害防備保安林の枝葉が赤くなってます。町長はこれを見てどう思いますか、伺います。河川の鉄砲水についても同様であります。

第3、久米島町立中央保育所民営化に対する町の対応についてであります。町立中央保育所については既に儀間保育所同様、町社会福祉協議会へ移管するとの出来レースの情報があり、その手法たるや町議会を事後承認機関と鼻に掛けているものと思われます。その手法で実行しますか、伺います。

第4、堆肥センターのチップ機器の対応についてであります。堆肥センターも稼働は好評ですが、チップ材の処理が間に合わないと聞きます。どう対応するのか伺います。

第5、タイムカードの改ざんについてであります。総務課長と町長答弁に食い違ふものがありますが虚偽答弁ではないか伺います。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

4番宇江原総清議員の質問にお答えします。鳥島射爆撃場の早期返還と自衛隊駐屯地の問題等については、鳥島射爆撃場の問題については政権が自民党から民主党に代わっても早期返還を求めるという私の方針に変更はありません。また、これまで述べたように変化に向けての交渉の節目節目には議会に相談しながら進めてまいります。

町民総決起大会については、関係者の意見を聞いて、効果的なタイミングで実施できる

よう検討いたします。

航空自衛隊久米島分屯基地の運用局舎については、私も見学させていただきましたが、核シェルターだとは思えませんので、基地司令に対する文書紹介は必要ないと考えています。

コンクリート護岸の撤去とこれに伴う潮害防備保安林等の植栽について、これまで何回か答弁してまいりましたが、今後とも関係部署と調整を図りながら検討いたします。

久米島町立中央保育所民営化に対する町の対応について、町立中央保育所の移管先については公募により選定する予定であります。

堆肥センターチップ機器の対応について、堆肥原料のチップ材は一次破碎されたものを、儀間ダム工事現場から約800トンもらって確保してありますが、堆肥原料としては粗くて問題があるため二次破碎をして、細かく砕く必要があります。現在、民間事業者が産業廃棄物処理施設の事業化に向けて申請手続きを進めているところでありますので、その会社が産業廃棄物処理施設の営業を開始することができれば、チップ材の破碎処理について、相談しながら対処していきたいと考えております。

タイムカードについて、ご質問のタイムカードの件については、平成21年3月と6月の定例議会で説明したとおり、金銭的な不正はありませんが、不適切な事務処理があったことを説明いたしました。この場をお借りしてお詫びを申し上げたいと思います。

また、この件についての説明に虚偽答弁はございません。今後は職員の事務処理に間違いがないよう、しっかりと指導に努めていきたいと考えております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午前11時43分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後1時30分)

休憩前に引き続き宇江原総清議員の再質問を行います。

○ 4番 宇江原総清議員

第1の鳥島射爆撃場等について、再質問をいたします。町長は政府に対する鳥島射爆撃場の早期返還要求は、これまでどおりの方針で変更はないとのことですが、本気で腹を固めたのか。私は平成19年12月と20年6月の定例会における町長の答弁や議員全員連絡協議会でも賃貸条件が納得できなければ契約できないとの繰り返しの台詞を聞いております。

このような言葉は今話題になっている政府官僚用語であります。すなわちイエスともノーとも受け止められる、どちらにも解釈できる言葉であります。この用語をマスコミを通して、マスコミ等から知り得た担当大臣とか官僚は、町長は鳥島射爆撃場返還の意志はないんだと判断されている可能性があります。これは私の長年の公務員生活で教えられたもの、体感したもので申し上げます。

また、町長の早期返還決意の時期について、平成20年9月26日の県議会における仲井真県知事の鳥島射爆撃場返還を強く求めると答弁したときからなのかと、私が問い質したのに対し、町長は就任当時から返還を求める気持ちは変わりはありませんと答弁しています。これは私からすれば風向きが変わった方向へ言葉をスライドさせた、かさばるんです。としか理解できません。

このようなことから鳥島射爆撃場の早期返

還を本気で行動するのか疑問に思っています。現、嘉手納町長の宮城篤実さんは、大きなビルの沖縄防衛局を嘉手納町に誘致しています。当時誰もができないであろうとタカをくくっていましたが実現をさせています。本気度が強かったからだろうと思っています。

従って、鳥島射爆撃場の早期返還についても本気度がどれだけ強いかで決まるものと私は確信をしております。当町の先生方も鳥島射爆撃場早期返還総決起大会を切望する方もおります。私含めみんな応援したいという気持ちはあると思います。町長も同大会をいつ頃、早めに目安をつける意思表示をされたらよいと思いますが、伺います。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

鳥島射爆撃場については、これまで私は自分の態度を示してきたつもりです。ただ、言葉尻をとらえて本気なのかとか、本気ではないんじゃないかということと言われるのは私として非常に心外です。これはなぜかといいますと、これまで去年11月にも何のために知事も一緒に随行して各関係部署に返還を要求してきたか、こういうパフォーマンスは嘘だったらできるはずはないです。これだけははっきりと申し上げたいと思います。

また、鳥島射爆撃場の返還については、ただ町民大会を開けばいいものではないと思います。これは国が動いたり、あるいは我々が何かのきっかけで動くときに、そのときが一番効果があるときではないかというふうに思っています。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

これは早めに大会を打って、行動で示して、そして町民の民意を示す。こういう態度を見せない限り、国は動かないと考えております。私は平成20年4月の琉球新報の論壇に本件問題で返還理由として、1つは劣化ウラン弾等目に見えない潜在的な環境汚染が推測される。2つは山の形だった鳥島が瓦礫となり、水没しかけている。領海問題が浮上しかねない。国際問題にもなりかねない。3つは鳥島に近い久米島北側の集落の家屋や墓がひび割れが多いと聞いている。4つ目は鳥島は好漁場でアカマチ等の高級魚が多いと述べております。

そこで今年8月23日の琉球新報にはクロマグロの稚魚、体長2cmですが、初捕獲、人工種苗量産に期待としまして、これが久米島沖の西70kmで捕獲されていると報道されています。この付近がマグロの産卵場所ともなれば、鳥島射爆撃場も近くであり、アカマチ等の高級魚のみならず、あらゆる海洋資源が期待されます。

他方、8月27日の沖縄タイムスは、中国は国連の委員会で、沖ノ鳥島これは東京都ですが、沖ノ鳥島は岩であり、大陸棚を設定する権利はないとして、日本の沖ノ鳥島大陸棚申請に反対を表明していると報じております。これは私が懸念しています、鳥島が水没したら領海問題が浮上しかねないとするものが現実味を帯びる可能性があります。

日本と韓国の間にあります竹島問題についても政府がもたついている間に韓国に乗っ取られてしまいました。そういう経緯もあります。私は町長が早急に鳥島射爆撃場の返還を行動でもってお願いするということだけに

止まらず、本気で要求をすると、こういうようなかたちにもっていければ返還は可能だと見えています。そういうような気持ちで、ぜひ、早急に返還総決起大会等を開いて、強く政府等に訴えていく、こういうような姿勢を見せていただきたいと思ひます。

次に、自衛隊久米島駐屯基地の核シェルター一疑惑についてですが、町長は運用局舎については見学したが核シェルターとは思わなひ、基地司令に対する文書照会は必要ないと考えていると答弁されていますが、本当にこれは消極的な答弁だと思ひております。

私も町長や同僚議員と一緒に弊舎を見学しましたが地下1、2mの感覚はあっても地下50mの感覚はまったくありませんでした。また、町長に対し、文書照会をしてくれと申しましたのは、照会によって基地司令が事実と異なる回答をした場合の責任の担保として、こういう気持ちからです。

そこで最も大事なものは、核シェルター施設が存在するとなれば、戦争が起これば住民より自分たちの命を守ろうという、戦前の軍隊と同じではないかと危惧をしているからであります。核シェルターの建設は学校とか、公民館、そこが優先であって、住民の生命、身体保護が最優先ということで考えております。

以前、アメリカの上院議員とその家族が避難をする核シェルターが発覚されました。これについては米国民に大批判を浴びたことがあります。加えて、海上自衛隊の護衛官が6月23日の慰霊祭のときに、あえて兼城港沖に21日未明から23日の未明まで停泊をさせております。私はご遺族に対する配慮のない行為だと思ひております。このような関連が事実

として連動していけば、自衛隊というのはまさに戦前への回帰と思わざるを得ません。町長の自衛隊への処置は、私は大濱石垣市長とまったく対照的であるとみています。ここで町長のコメントがあれば伺いたいと思ひます。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

核シェルターについてですが、常識的な問題として、例えば各国の戦略戦術を考えれば久米島に核シェルターが必要なのかという問題がまず一つ常識的な部分です。例えば、これは専門家ではありませんが、核爆弾を発射するときどこへ発射するのでしょうか、そこらへんいって本当にこの久米島に核シェルターが必要な島だというふうな私は防衛省は絶対考えていないと思ひます。核シェルターが必要なところは東京であり、大阪であり、福岡であり、そういう大都市に必要であって、こういう周囲50kmの小さい島に国家として、そこへ原爆を投下するというのは到底考えられないというのが私の考えであります。

あと、基地司令への問い合わせについては総務課長がやっておりますので、総務課長から答弁させたいと思ひます。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいま、自衛隊基地のシェルターの件ですが、その前に遡りまして、先ほどの鳥島射撃場の件なんです、この件については実際、思ひは変わらないんじゃないかと思ひます。宇江原議員と我々執行部もですね、ただ、その手法やその時期の考え方の差があるんじゃない

やないかと思っております。

去年から町長が知事と一緒に中央省庁の要請行動も展開しております。併せて沖縄県は沖縄県軍用地転用促進基地問題協議会というのがございます。これは知事が会長になって、基地のある市町村長が加わっておりますが、毎年の基地問題に関する要請行動があります。その中で今回、新たに鳥島射爆撃場の返還についての要請も新たに組み込んで10月下旬から11月にかけて、中央省庁の要請行動を今年もやる予定であります。県知事は他の市町村、あるいは県魚連などの団体と連携して、それは効果的に返還運動を効果的に進めて、できるだけ早く返還してもらおうように取り組んでいきたいと考えております。

それから、もちろん劣化ウランの問題についても、これまでもずっと町は軍転協を通して劣化ウラン弾の早期回収や環境調査、放射線濃度の測定を要求しています。放射線濃度の測定について、毎年、現在も継続してやっています。今年も9月から10月にかけて、計画していますので、海水や空気中の放射線の測定、海草あたりも含めて、継続して影響調査をやっております。健康診断の実施についても継続してやっております。町民の生活の安全、福祉の向上を図るために、力の限りやっていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

この問題については、宇江原議員も熱心に取り上げてもらっていますので、力強いのがないとやっていけないと思っておりますので、ご支援よろしく願います。

自衛隊基地の問題、自衛隊基地のシェルター、核シェルターの問題ですが、先ほど町長から答弁があったように、核シェルターの要

件というのもございますので、前の議会でも説明したとおり、この核シェルターの要件にも構造的にも合わないと考えています。基地司令に昨日も電話を入れまして、それを確認いたしました。

併せて、町に運用局舎を造る場合の計画としての図面がございます。これは法律的に久米島町に造る場合は、国はその計画書を出す義務がございますので、その図面がございしますが、それについては防衛局の方から秘密取り扱いの指定がありますが、これが見せることが可能なかどうか、それは了解して、見せることが可能であれば、それは見せたいと思っています。私もそれは核シェルター基地ではないと、通常の基地であると考えています。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

核シェルター問題については、これどこに、私の情報では、聞き取りでは、そういうような施設があるということも聞きましたし、しかし、裏は取れておりません。ただ、前に、執行部の核シェルターについての答弁の中に、他国はどこからまず攻撃するのかということに対して、飛行場と耳目であるレーダーと、レーダー基地なんだということを答弁をしていました。となるとそれはやっぱりあるだろうということの想定をして、対応せざる得ないだろうと私は考えております。

それから、鳥島射爆撃場の返還については、さらに言いますが、早めに行動して、こちらからこれでもかというようなかたちで、政府に訴えていかんと思っています。前の県議選のときに、菅直人氏に対して、町民からそ

の問題を取り上げてお願いしました。そして菅直人氏の答弁として国会で取り上げるということを言っておりました。となるとこれを引き受けた民主党側がいち早くこれは返還しますと、言われた場合に町として顔立たない、顔立たないというよりは、先に越されてしまうということになってしまうわけです。そういうふうなことで、私は主体性を持ってほしいということを願っております。

次に、再質問の第2であります、コンクリート護岸の撤去と、これに伴う潮害防備保安林等の植栽についてであります、町長は関係部署と調整を図りながら検討しますと答弁をしておりますが、検討しますというのは先ほど申し上げましたとおり、官僚用語であって、できないということを表明していると、解釈されているわけです。

この問題に関し、これまでの町長は、既存の海岸、護岸については、過去いろいろ災害等があって設置されたものであり、不要なものとは思っておりません。これは2007年12月の定例会のときの答弁であります、これも消極的な姿勢だと見ております。私が繰り返し申し上げているのは、すべてのコンクリート護岸を一気呵成に撤去せよということではありません。まず、真泊の一字、畳石の階段式の護岸やシンリ浜の護岸等を優先順位に撤去してくださいということです。自然を元に戻すためには、地元の人たちから参考聴取して、手直しをしながら施工していくのが、最近の説であります。従って、地元以外の業者がこれを施工するのは難しく、地元業者には逆に有利な立場である。工事をとるということについてはそうであります。

これからの地方分権にしても財源と権限は

市町村主体になります。それを考慮して、積極的にこういった施策を講じてほしいと願っております。

9月7日の記者会見で民主党の鳩山代表が2020年までに1990年を基準とした温室効果ガスを25%削減すると発表しました。斉藤環境大臣も世界をリードするとしてエールを送っています。環境省は久米島の自然にも注目をしています。

これは以前にも1回紹介しましたが、今から11年前の平成10年4月24日の週刊朝日に当時の菅直人民主党代表は次のとおり述べております。諫早湾の干拓が何をもたらしたか、自然破壊と将来の負担です。自然を破壊する公共事業を自然を回復する公共事業に変える。コンクリートで固めてきた川岸、海岸を元に戻して、水に親しめる環境をつくり、必要のない砂防ダムは壊す。防災には木を植え、失われた自然を取り戻すための公共事業です。この理念が鳩山代表の温室効果ガス20%削減発表と連動すれば、久米島の自給自足のサンゴに囲まれた漁場豊かな島に回帰して、久米島町の活性化にも連動していくものと期待をしています。これからの予算確保、健全な企業誘致のキーワードというものは自然であると私は確信をしております。町長も初心に戻ることを期待しています。町長、コメントがあったら伺います。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

久米島を取り巻いている護岸というのはすべてほとんど県がやっているわけです。確かにおっしゃっているいろんな問題もあろうかと思うんですが、そういう背景というのが何

らかのものがあって造っているから、町としても県の方に問い合わせをして、現状、今議員がおっしゃっている内容そのものも伝えながら、何らかのかたちでできるかどうかということはやっています。ただ、必要性があり造ったやつを不要だというのはどういうかたちで出していけるかと、確かに防風林の被害とか、被害なのかどうか定かじゃないんですが、現状として荒れているという部分があると、それを含めて調査は必要だろうと、ただし、必要であるとして造ったやつを必要でないという部分をどう証明するかということをお互い研究していかなければいけないだろうということで、即撤去ということにはならんだろうと、県当局の考え方はそういうことになります。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

依然として変わらないというような答弁がありますが、先ほどの菅直人氏の紹介、自然に対する考え方の紹介。それからアメリカのフロリダのエバーグレース、これが1兆円掛けて50年前の湿地帯に戻しております。テトラポットとか、コンクリート護岸を剥がすよ。コスモだったですかね、あれの宣伝にパッと出たりします。たいへん素晴らしいものになってきています。それをぜひ、参考にさせていただきたいと思えます。

次に、第3の町立保育所、民営化問題についてであります。町長は移管先については公募により選定する予定としております。

私が、この移管は儀間保育所を職員の派遣がありながら民営化と称し、町福祉協議会への移転をしました。その後、問題とされなが

らそのプロセスも不透明なままの出来レースを予測させております。

町ではそのような問題があるにも拘わらず、本件移管の日程では、8月18日に保育所民営化保護者説明会、19日に保育所民営化プレゼンテーション、20日に保育所民営化書類審査。この審査をする委員も半数以上が、副町長等の町幹部となっていると聞いております。そして21日には議員全員連絡協議会への説明会となっています。これは説明ということではなりませんでしたが、そういうようなかたちのものがなされている。

私は那覇市のこども政策課に行きました。保育所の民営化移管に関する同市の委員会組織とプロセスについての説明も受け、資料もいただきました。その運営法人募集要項では、募集資格についても厳格にしています。これは担当課長にも資料としてあげてありますが、応募対象外としてこれまでに保育所民営化事業で市立保育所の移管を受けたことのある法人は除外されています。

結論からいえば、委員の構成、プロセスの透明化公平性を担保してほしいと。さらには政府は子育て支援や保育所・園の統合及び待機児童の解消を唱えている民主党連立の政権に移行予定があります。これを待って今回の中央保育所の移管について、詳細に詰めていく。つまり凍結をして、精査をすべきだということふうに考えておりますが、担当課長でもよろしいです。答弁をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの社会福祉協議会への職員の派遣について、これは総務課の担当でございます

ので、私の方で答弁したいと思います。町の職員を社会福祉協議会、これは公益法人ということになりますので、そこへ派遣するということを、派遣条例がございますので、その条例に基づいて派遣しているわけございまして、何ら法的にも問題はございません。

なぜ、派遣したかということなのですが、やはりこれまで久米島町が民間の保育所の経験というのはないわけですね、第1号ということでございまして、やはり保護者の皆さんに安心感を持っていただくということで、新しい民営化する保育所の運営の中核を担う人材を町から派遣して、これまでと変わらないようなサービス、あるいはそれ以上のサービスを提供できるようにということで、職員を派遣しております。これが法律上、特に問題があるとは考えておりません。むしろ派遣してうまくいったと考えています。以上です。後の方は福祉課長にお願いします。

○ 議長 山里昌輝

日高清有福祉課長。

○ 福祉課長 日高清有

凍結を含めて詳細に検討した方がいいんじゃないかということですが、これにつきましては、今すぐ私の方でそうしますということは言えませんので、上司の方と相談して、今後のことについては判断していきたいと思えます。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

これについては、非常に僕は疑念に思っています。どうのような予算の回し方をして、町からの持ち出しとも聞いております。そういったものを精査しない限り、やはりこれは

これ以上まだ進めてはいけません。精査をすべきだとかいうふうに考えております。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長

○ 総務課長 仲村渠一男

町が負担する分についてこれは明らかでございまして。給与についても、公益法人については町が負担することは可能でございまして。その額も明確に分かるようになっております。それから先ほど選定委員とか、選定の方法、これについて那覇市との比較をおっしゃっておりますが、ぜんぜん状況が違うということです。那覇市の場合は、そういった社会福祉法人がたくさんあるということです。数が圧倒的に多いです。当然、経営する内容も盛りだくさんあるわけですから、その中から民間の方の選考委員が選考していくという方法も可能かもしれません。しかし、今現実に、久米島町においては、公募しても応募の団体が2つしかないという状況です。民間にそういった保育に関する知識を持っている方々がたくさんいるかということ、なかなかそういうわけにはいかないということで、それぞれ市町村の状況に応じて、その選考委員の設け方、それも違ってきます。極端に言えば、行政内部だけで選定委員をやっているところもありますし、那覇市みたいに全部外部委員でやっているところもありますし、行政と民間の半々でやっているところもあります。それは市町村それぞれです。その管内の状況を踏まえてやっているものと思っています。

今回も公募に当たっては、これはインターネット、ホームページを通して、全県、あるいは全国から応募できるようなかたちで公募しております。併せて町内の社会福祉法人に

は、これと併せて文書、個々に通知をして、それぞれ説明も申し上げております。

特に、ご質問にあるような方法、出来高レースでやっているわけではございません。ちゃんとした手続きを踏んでやっておりますのでご理解いただきたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

社会福祉協議会の責任者も参考人としてここに招致するかということもすべて討議してやるべきではないかと思っております。要は、初年度は、そんなに判明しませんでした、赤字になったら町が補てんするということも言われておりました。それが間違いなのかどうか、そういったものも精査する必要がありますよということです。そして、もっと、町からの持ち出しはありませんということでありましたが、これも情報ではそういったどのようなかたちで回ってそこに行き着くのかと、予算の回り方もそういったものまでも精査して、対応するべきだということふうに考えております。

従って、今、政権も変わるということの予測があります。それを今、一歩立ち止まって、検討をし直す、凍結して検討し直す必要があるんじゃないかと私は考えております。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長

○ 総務課長 仲村渠一男

国政上の政権の交代と本町の行政とはまったく関係がないと考えております。それから先ほどの町と社協が結んだ協定書、覚書は多分前に議員の皆さんにもコピーして提供されていると思っております。それ以上のものは何もご

ざいませので、予算についてもそれは決算委員会を通して、これは明らかになるわけですし、いくらでも資料の提供もできるわけですし、これは何も隠しているということはまったくございませんので、そこらあたりは決算委員会を通してしっかりと説明責任も果たしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

保育所の民営化については、私は就任してから、行革大綱の中で民営化をやるということで、これまで議会にも説明をしてきました。今年度4月から本当は中央保育所をやる予定だったんですが、儀間保育所を民営化して、まだ結果が出ていないということ踏まえて、1年間凍結した経緯がございます。それで1年間凍結して、じゃあ来年度4月からやろうということなんですが、ただ、勘違いしてほしくないのは、どこにやらせるかというのはまだ決まってないということです。ぜひともそこらへんは勘違いしないようにしてもらいたいと思ひます。これは選定委員会の中で検討して、私に答申をすることになっていひますので、以上でございます。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

移管のその前提として、今、久米島は定員割れがおきております。そしたら保育所、保育園とも縮小しながら、そこを見てやるのも一つの手法だと思ひています。先ほどのバーデハウスの件とかいろいろ問題に、赤字を投入しながら振り返って見たら夕張になっちゃ

ったと、こういうことになったらいかんということで、私は危惧して、あえて申し上げているわけです。ですからもう一度立ち止まって、精査をしていただきと、こういうふうを考えています。

(宇江原総清議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで4番宇江原総清議員の一般質問を終わります。

次に、8番幸地良雄議員。

(幸地良雄議員登壇)

○ 8番 幸地良雄議員

8番幸地でございます。私の質問は簡単でありますので、やる気さえあれば答弁も簡単だと思いますので、前向きの答弁よろしくお願いたします。

遊休施設の有効利用について、B&Gの体育施設の利活用については再三にわたって質しました。プールについては、補修し活用することで、2度にわたって補正予算を組み、取り組んできたが、まだ利用できる状態にはなっていない、どうなっているかお伺いします。

また、体育館については、解体して更地にする予定だったが、変更してプロ野球東北楽天イーグルスのキャンプ時におけるバッティングゲージとして改修した。それは良いとして、利用期間がわずか1カ月間である。実にもったいないではないか。もっと利用する方法もあると思う。面整備をして、ゲートボール場として高齢者の健康増進の場として利用させることもある。また、改修費にかかる費用対効果の増大にも繋がるのではないかと思うが、町長の考えを伺いたい。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

8番幸地良雄議員の質問にお答えします。遊休施設の有効利用について、B&Gプールについては、夏休み中の完成を目指して取り組んできましたが、再三の見積もりの取り直しがあり、着工が遅れております。

2番目の体育館については、まだ消防設備の整備が残っており、整備方法なども詰めているところではありますが、町民利用についてはその時期、利用形態などを調整してまいります。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

プールの改修につきましては、平成20年度の補正予算で組んでそれを繰り越しているわけですが、すでに9月です。繰り越したにもかかわらずまだ着工していないということは、ちょっとやる気がないんじゃないかと疑わしくも思うわけです。繰り返して言いますが、B&Gの海洋センターの利用活用については、昨年、9月の定例議会において質問したが、このことについては以前から何遍も議会に取り上げられ議論された経緯があるんです。

プールについては、平成17年度から、閉鎖状態にあり、その利活用について、平成18年度の6月の定例議会において、改修費が補正予算で確保され、工事が実施されることになっていたが、これも着工することなく予算を流してしまいました。いろいろと理由はあると思いますけど。

平成19年度は当初予算で実施することにな

っていたが、これも予算の確保ができず、改修することができなかった。

さらに平成20年においても当初予算に組まれないことから9月の定例議会において再三にわたって要求したが、財政上の都合でできないということの答弁で、非常に私も厳しく追及したが、断念せざるを得なかった。

ところが、年度末になって、国の景気対策として地域活性化生活対策事業を実施することで、地方交付税が増額されたことにより、その事業で改修することになっている。ところがこれもまた見積もり云々で年度内に着工されず、21年度、現在に至っているわけですが、まだ、放置された状態である。閉鎖されてからもう5年が経過しているわけです。長く放置すればするほど、改修費には経費がかかるのは当然であります。せっかく地域活性化の対策事業として活用するわけですから、このような状態では、地域活性化、あるいは景気対策にはならないんじゃないか、本当にやる気があるのかどうか。本当に疑わしくなるが、コメントをお願いします。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

ご指摘のとおりであります。今、町長の答弁にもありましたように、当初、2月の景気対策交付金の予算を組むときに、見積もりをもらった時点で、この見積もりで何とかできるのかなということで、調整していましたが、本当にこの金額で妥当なのかということ、別の業者に現場を調査してもらいましたら、到底、この見積もりでは難しいんじゃないかというようなことがありまして、最初にとった業者も併せて、再度、修理の箇所とか、

そういうものを全部もう1回調べ直そうということになって、その内、途中でお願いした業者が管工事の免許がないからということで、その業者が撤退、自分たちは見積もりできませんというようなこともあって、そういう中から、再調査をして、きめ細かく調査をしようということから、こういうふうな遅れが生じております。改修でありますので、金額を出すための根拠、積算とか、そういうものが遅れております。

この間も業者を呼んで調整しましたら、あと、1カ月ぐらい積算に時間がかかるということもあって、ここに至っているんですが、早急な設計積算をして発注しようという段階に来ております。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

今、取った予算額とかなり差がありますか。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

だいぶ差があります。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

せっかく補正で取ったものですから、多少加算されても早めに実施やるべきだと思うんです。特に、この事業の活性化対策事業でもあるし、今から着工しても、結局、今年は使えないわけです。もう冬に向かってはいるわけですから。予算の効率上からしても早く着工すれば費用対効果も出てくるんですけど、結局1カ年無駄になるわけです。特にそういった明許繰越されたものについては、真剣に考

えてやらないと、地域の活性化に繋がらないわけです。本当に年度内にできるか確約できますか。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

工事は、建設課でやっていますので、工事工程からすれば、今月いっぱい積算して、10月発注で、工事そのものは、気象条件によるんですが、順調にいけば、二月では終わることなので、年度内には終わる予定をしております。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

年度内に着工、終わる、どちらか。前回は聞いたんですが、具志川側の小学校には2カ所あるわけですが、仲里側には1カ所もないわけですね。この財政担当の方に、本当に公平公正な行政のやり方なのかということと、教育長にも、本当に教育上の子供たちの体力・泳力増進からして、本当に公平校正なのかということをお聞きしましたが、再度お二方答弁をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

公平公正なのかということに対してはいろいろ考え方があると思うんですが、今回、こういうことは二転三転して、ここまで来ているのは、当初、財政状況が厳しいということで、具志川にある大岳小学校と清水小学校のプールとして、このB&Gについては改修しないでおこうという方針が当初は出ておりました。その後、議員からおっしゃるようなか

たちで旧仲里地区にどうしても必要じゃないかというふうな声があって、途中から町長としても仲里地域にも必要じゃないかということから再度予算をとってやりましたが、そのときにもいろいろあって長引いてきたんですが、そういう経緯で、今、仲里地域にも必要だということですので、そういう方向で進めていくということだと思います。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

9月4日に小体連の水泳大会がございました。これは島内各小学校が参加して4年以上6年生まで子供達頑張っておりましたが、確かに議員がおっしゃるとおり、子供達につきましては、プールのある学校と、ない学校では若干差があるわけなんですけど、今回、美崎小学校の方でも子供達が一所懸命頑張っておられて、いい記録を出しています。大岳、清水小学校の方にプールはありますが、プールをたくさん活用した学校につきましては、それだけ泳力がつきますし、そういったかたちで子供達の体力には影響があるかと思えます。できればぜひ、仲里地区の方にも、そういったプール、B&G、来年度あたりから活用して、今、久米島町におきましてはB&G財団のマリンスポーツ大会の方にも今年も行きましたが、今年はいにく子供達の派遣はできませんでしたが、子供達の水泳、向上を目指して、次年度から積極的にそれを派遣を考え、島の子供達の泳力の向上にもつなげていければと考えています。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

言うことは分かります。公平か公正かというものを聞いたわけです。それだけ差があるということはプールのないところは損しているわけです。それは教育長として財政担当に強く要求してやってください。ただ無いからと黙っておくんじゃないですよ。いろいろと財政の問題でできなかったというんですけど、5カ年経過しているわけです。その中で何回も質問されて言っているんですけど、財政の都合でできませんということで、答弁もしているんですけど、本当に公平公正という立場からすると、これを優先すべきです。やるということになっていますから、ぜひ、年度内に完成するというものですので、頑張ってもらいたい。次進めます。

体育館につきましては、せつかく改修して、楽天のキャンプ時にバッティングゲージとして利用しているわけですから、年中利用できるよう、そして利用効果を上げる方法を考えるべきじゃないか。ただ、1カ月間の利用だけで実にもったいのではないか。費用かけて改修するんだから多目的に利用できるようにしてほしいと思います。

今、土面になっていますから、それを整備して、人工芝でも貼れば、素晴らしいゲートボール場にもなるし、現在では、老人クラブのゲートボールの試合はホテルドームで行っているわけですよ。試合前になると、練習するというので、コートの手合いです。皆さんはどこでもできるんじゃないかというかもしれないけど、やはりいい場所がいい環境の中で練習やるということが、大切なんです。近い地域は得する。仲里側からは行こうと思っても車がないと行けないわけです。やはり団体で行くからできるんであって、みんな

それを望んでいます。そういう巷の声も聞いて、早急にやるようにしてほしいと思います。今聞いたら消防設備もやるということで、検討するということではありますが、ぜひ、検討じゃなくて、やる、前向きな姿勢でやってほしいと思いますがもう一度答弁をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

さったキャンプで楽天の使用ということで始めましたが、消防設備につきましては、その消防計画を提出して、整備に向けてやるということで、進めているところです。

それから人工芝等の話がありましたが、それについては町単独でできるような状況ではありませんので、今後においては例えば楽天の仙台の二軍の球場改修とか、そういうときにもし、人工芝の貼り直しとかいうことがあれば、これをこちらの方に提供するという話もあったりしますので、いろいろな機会をして、そういうことも考えていきたいと思えます。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

これもプールと似て、こういった施設は一方に集中しているわけです。こちらはほとんど利用されていないような状況です。人工芝についても、検討してとか、やるようにするとか言ってますから、はっきりやれるということをおっしゃらないと、みんな納得しませんよ。そして私が冒頭言ったように前向きな答弁というのはそれなんです。ただ、検討します、それだけ、検討するということは、先ほども誰

かが言っていましたけど、できないというのと同じなんです。そういうふうにはできないということなんですから、ぜひ、頑張ってもらいたいと思います。

それともう一点は、仲里の農業改善センターは、合併後、これは遊休ではなく利用はしていますけど、合併後あまり使われていないですね、公的な集会所はほとんど具志川改善センターを利用されている。これは集まる規模によって、広いところがいいところになるんですけど、ここに収容できるような人数、参集規模からすると、これはできるんですよ。巷で苦情出ているのは、全部具志川の改善センターに行って、我々はこちらにも行けないということをおっしゃっていますよ、これは皆さんも聞いていると思うんですけどもね。やはり利用できるそこで活用できるものについては、やはりお互いの町、行政、あるいは公的な集会所においても進めてほしいと思います。各団体は設備が整っているからいいところでやりたいという気持ちは分かります。しかし、ある施設を有効利用する立場からすると、やはり行政としても進めるべきではないかと思っています。

そういうことは今の利用状況を良くする利用されるように推進していることについては、何か答弁をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

今、町の基本的な考え方からすると、同等の施設の統廃合を考えているわけです。ですから、できるだけ同じ規模の両村合併前にそれぞれありましたので、そのものを改善センターであれば一改善センターに機能を集約し

ていくというのが、合併のときの基本的な考え方だということで、町の行革の中でも施設の統廃合ということを経験して進めていますので、その機能というものは、どこから集約していくということで進めていかないと、今の行財政改革の考え方からしても、その方が進め方としては、そういう方向性を持っているということですので、具志川の改善センターがそういう機能が充実しておりますので、そこに集約するのがベターじゃないかというふうに考えています。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

確かにその施設の統合というのは考えられるわけなんですけど、現在あるわけです。これから新しく改修したり一カ所にまとめるということであれば話は分かります。あるものを有効に利用しなさいということなんです。今、使えるわけですから、まさか取り壊して具志川改善センター一つにするということじゃないですね、いずれはそうなるかもしれないけど、ある間は、利用してほしいと思うんです。

ある話があるんですよ。仲里側でやると具志川側が参加しない、具志川側は、我々はこちらで開催しませんという話もあるんです。確かにそういう傾向はあります。皆さんご存じかと思います。しかし、そういうふうにならないように行政指導すべきです。各地域において、久米島は一つだからどこで何があるか一緒にやりましょうというかたちで、こういった施設を利用することから初めていかないといけないと思うんですよ。お互い意識を変えていかないと、ある施設の有効利用ははかれないと思います。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

先ほど、プロジェクト推進室長からも答弁がありました。例えば改善センター機能は具志川に集約すると、仲里にある仲里の改善センターはどうするのかといったときに、幸地議員がおっしゃったとおり、両方促進して有効的に活用する方法はないか、これからまた考えていきたいというふうに思います。ただ、非常に老朽化が進んでいるということもありまして、最低限どうすればいいのかということもありますので、そこらへんも引っくるめて検討していきたいと思います。有効利用については、前向きに検討するという事です。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後2時30分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後2時30分)

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

一般から疑問もたれないようにするためには、やはりある施設を利用することです。将来は一カ所でやりますよ、具志川改善センターでやりますよと言っても、一般の人たちはそれ分かりません。なぜ、あるのを利用しないかということしか言いません。だから疑問もたれないように、利用するようにやってください。終わります。

(幸地良雄議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで8番幸地良雄議員の一般質問は降りました。

次に2番宮田勇議員。

(宮田勇議員登壇)

○ 2番 宮田勇議員

いよいよ本日の最終バッターでございます。そろそろみんな瞼が閉じ始めて居眠りしそうでありますが、議員の皆さんは眠りながら聞いて、執行部はしっかり目をぼっちり開けて答弁してもらいたいと思っております。

インターハイ、全国高校総体の会場誘致について、来年、7月～8月にかけて、全国高校総体が沖縄にて開催され、県内各市町村でも競技種目別に会場誘致が決定されておりますが、本町においては会場の誘致がないのはなぜか。

主管が教育長ということで、答弁教育長になってはいますが、とりあえず教育長答弁願います。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

ただいまの宮田議員の質問にお答えいたします。2010年に開催されます美ら島沖縄総体の各協議種目別会場誘致につきましては、平成15年9月7日付けで沖縄県教育委員会より、平成22年度全国高等学校総体体育大会の競技種目別会場誘致に関する意向調査がありました。会場誘致につきましては、全国高等学校総体体育大会協議施設基準に満たず、体育施設の確保が条件であり、久米島町にはその条件を満たす体育施設がないために平成15年10月15日付けで会場誘致の意向調査の回答として希望競技種目なしで報告されております。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

この高校総体会場誘致というのは、全国に久米島をアピールする大きな久米島の発展の原動力になると思います。私があえて言うまでもないんだが、久米島町が会場誘致がないと、島内や沖縄本島に出たとき、久米島はなんで会場誘致がないかとよく聞かれます。恥ずかしい思いがします。町長、そういった声は聞いたことはないのか、町長の見解を伺いたい。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

高校総体、国体、そういう大きな大会については、施設自体が基準を満たしているか満たしていないかというのが非常に問題になります。ただ、我々としては、スポーツアイランドということで球場も2つ持っていますし、あるいは今まで那覇地区の駅伝も誘致したり、少年野球の県大会を開いたりいろいろやってきました。ただ、総体とか国体とか、そういう大きい行事になりますと、どうしても現状の施設では問題があるということで、私自身、誘致するしないということ自体、まだ相談も受けておりませんでした。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

先ほどの答弁ですが、大会競技施設基準、その条件を満たす体育施設がないためと言いますが、その基準と条件とはいかなるものか、具体的に説明を求めます。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

ただいまの質問にお答えします。全国高等学校総体は29競技ございまして、今回、登山山岳だけは沖縄県にて開催できないために鹿児島で行います。残りの28競技は県内で実施されますが、例えば、陸上競技でありますと公認の1種の陸上競技場があるところ、それに控えまして400のサブトラック、全天候型が備え付けられている条件等があります。

また、体育館の施設でバスケットボールでありますと、1コート28m、縦横15m、高さ8m以上の体育館があつて、隣りのコートとコートの間が2m以上離れている。そのコートが12会場準備できるか。そして練習会場として11会場準備できるか。そのように体育館も基準があります。

バレーボールも同じであり、男子が7コート準備できるか。女子が7コート準備できるか。そして練習会場におきましては両方とも14コート準備できるか。そういうふうな各種目、いろいろな規定がございます。その中でまた、本町で会場を準備するにしても競技を誘致した市町村で改修、新たに造るのもすべて市町村の負担ということ、補助もないということでした。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

この件について、県の教育庁から平成15年5月7日付けという伺いがありましたね。平成15年の5月から平成22年の7月まで8カ年間あります。その8カ年の間に、その条件を満たすような整備はなぜできないのか。例えば、夏休み期間中なので体育館、高等学校の体育館もある、中学の体育館もあるじゃない

ですか、そういったのを分散して、できなかったのか。それとも運営費用については当該市町村行政の負担というんだが、それほど町はそういったものを誘致できないぐらいの財政逼迫なんですか、教えてください。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

体育館につきましても、このバスケットにしましても、バレーボールの会場誘致するにしても、1会場は久米島高校の体育館で誘致できるにしても、残りの6会場を島内で、それだけの体育館を整備することもできないですし、さらに残りの練習会場も整備する財政的な余裕もございませんので、そのへんは十分協議した結果になって報告されたと思います。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

会場の問題もありましたが、ホテルドームもできているじゃないですか、それ以後に。それも含めればできると思います。財政がどうのこうのというんだが、誘致することによって、財政が逼迫であるからこそ、全国に久米島アピールすることに、将来、観光客15万人誘致も掲げていながら、これこそ大きな問題だと思います。財政の問題で引っかかるのはとても考えられないことだが、町長どう思いますか、町長教えてください。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

今回の総体の誘致については財政の問題ではないと思っております。もちろんお金はか

かりますが、ただ、致命的なものは施設自体がそれに間に合わせて造るとか、そうなったときには問題ですが、現状ある施設で受け入れれば受け入れられたと思うんですが、残念ながらそれに対応できる環境ではないということでご理解いただきたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

これから後に、国体というのがあります。もちろん各県持ち回りでやりますが、復帰後若夏国体、沖縄で行われましたね、また巡り回って、あと10年後ぐらいには回ってくると思います。それについては誘致はどうか、町長教えてください。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

確かに、国体を受け入れる、受け入れないという問題は会場が国体の環境に沿っている沿ってないの問題だと思います。例えば野球場が2つある。その2つで間に合うんだったら我々は誘致したいんですが、その施設がその競技に合致していると判断すれば誘致したいと思います。ただ、現状の施設でどうかということとは疑問であるということであります。ですから、国体誘致の打診があった場合に、本当に対応できる、現状の施設で対応できれば誘致したいと思います。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

納得いかない答弁だね。現状のままでできるわけないでしょ。高校総体もできないのに。それに向けて条件整備をやるかやらないかを

私は聞いているんですよ。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

国体のために、施設を造るということは難しいと、できませんということで理解していただきたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後2時40分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後2時42分)

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

もちろんこれは費用はみんなかかるというんだが、それは将来に向けて、久米島の大きな将来に向けて、そういった施設をしっかりとつくることによって、体育施設を造ることによって、これからの子供達が久米島から優秀なオリンピック選手が出るとか、こういった将来大きい百年の大計で、こういったものはしっかり整備しながら将来を眺めながらやるべきだと思います。今の状態ではできないでしょう、高校総体もできないのに。それを長い百年の大計で造ってほしいと私は指摘をしているんです。もう一度答弁。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

まず、可能性のあるものから初めていきたいというふうに思います。

○ 議長 山里昌輝

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

昭和62年に、海邦国体が沖縄で行われました。そのときに旧具志川村の方でフェンシン

グを誘致した経緯がございます。これは久米島高校を主会場としてのフェンシング誘致だったんですが、ただ当時としては、そのフェンシングの競技人口、これがまず第一です。そしてその指導者、そして施設ということがございまして、諸々の環境整備ができていないということで、当時も勝連の方をお願いしました。

インターハイ、国体もそうなんですが、まずはそういったかたちでの受入れ市町村側の環境づくり、その競技人口、そして指導者、施設、そういったいろんなかたちでの条件整備が必要になってきますので、これから国体誘致するにしても、何の種目を誘致するのか、それに向けてまずは底辺の競技人口の拡大、指導者の拡大、それから施設ということで、私たち教育委員会も頑張りたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

百年の大計で人材づくりをする意味で、これから大きな大会の誘致を必ず実現できるように強く要望して終わります。

(宮田勇議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで2番宮田勇議員の一般質問を終わります。

以上で一般質問は終了しました。

これで本日はこれで散会します。

お疲れ様でした。

(散会 午後2時45分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 山里昌輝

署名議員（議席番号13番） 平良義徳

署名議員（議席番号1番） 崎村正明

平成21年（2009年）

第7回久米島町議会定例会

2日目

9月11日

平成21年 第7回久米島町議会定例会

会議録 第2号

招集年月日	平成21年9月11日 (金曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	9月11日 午前10時02分	議長	山里昌輝
	散会	9月11日 午後2時45分	議長	山里昌輝
応招議員 出席議員 出席14名 欠席0名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	崎村正明	8番	幸地良雄
	2番	宮田勇	9番	上里総功
	3番	饒平名智弘	10番	安村達明
	4番	宇江原総清	11番	宮里洋一
	5番	山城宗太郎	12番	翁長学
	6番	仲村昌慧	13番	平良義徳
	7番	喜久里猛	14番	山里昌輝
(不応招) 欠席議員	番			
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	2番	宮田勇	3番	饒平名智弘
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原秀雄	書記	
	係長	安田栄		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良朝幸	教育課長	佐久田等	
副町長	大田治雄	商工観光課長	平田光一	
教育長	比嘉隆	環境保全課長	田端智	
総務課長	仲村渠一男	建設課長	盛本實	
町民課長	大道幸子	農林水産課長	平良朝幸	
プロジェクト推進室長	山城保雄	農業委員会事務局長	前里良正	
税務課長	平田明	上下水道課長	又吉敏雄	
福祉課長	日高清有	消防長	山城英明	
会計管理者	仲地泰	空港管理事務所長	平良進	

平成21年 第7回久米島町議会定例会

議事日程〔第2号〕
平成21年9月11日（金）
午前10時02分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	89p
第2	議案第40号	久米島町地域雇用創出推進基金条例について	89p
第3	議案第41号	久米島町財政調整基金条例の一部を改正する条例について	95p
第4	議案第42号	久米島町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	97p
第5	議案第35号	平成21年度久米島町一般会計補正予算（第4号）について	98p
第6	議案第36号	平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	108p
第7	議案第37号	平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第1号）について	110p
第8	議案第38号	平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	111p
第9	議案第39号	平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について	112p
第10	議案第43号	4号農道整備工事請負契約について	113p
第11	認定第1号	平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について	115p
第12	認定第2号	平成20年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	118p
第13	認定第3号	平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について	121p
第14	認定第4号	平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について	122p
第15	認定第5号	平成20年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について	123p
第16	認定第6号	平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について	124p
第17	認定第7号	平成20年度久米島町水道事業会計決算認定について	125p
第18	報告第5号	平成20年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	126p
		散会	126p

(午前 10時02分 開議)

○ 議長 山里昌輝

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

日程に入る前に報告します。

お一人の方から議会傍聴の申し出がございましたので許可しました。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 山里昌輝

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、2番宮田勇議員、3番饒平名智弘議員を指名します。

日程第2 久米島町地域雇用創出推進基金
条例について

○ 議長 山里昌輝

日程第2、議案第40号、久米島町地域雇用創出推進基金条例についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第40号、久米島町地域雇用創出推進基金条例。

上記議案を提出する。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町地域雇用創出推進基金条例、第1条が(設置)となります。

第1条、町内の厳しい雇用情勢を踏まえ、

町内における雇用機会の創出を図ることを目的として、町が行う事業の費用の財源に充てるため、地方自治法第241条第1項の規定に基づき、久米島町地域雇用創出推進基金を設置する。

第2条(積み立て)、基金として積み立てる額は一般会計歳入歳出予算で定める額とする。

第3条(管理)、基金に属する現金は金融機関への預金その他最も確実、かつ有利な方法により保管しなければならない。

2、基金に属する現金は必要に応じ、最も確実、かつ有利な有価証券に変えることができる。

第4条(運用益金の処理)、基金の運用から生じる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して基金に編入するものとする。

第5条(繰替運用)、町長は財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて基金に属する現金を歳計現金に振り替えて運用することができる。

2、前項の規定により振り替えて運用した現金は、当該年度内に返還するものとする。

第6条(処分)、基金は町内における雇用機会の創出を図ることを目的として、町が行う事業の費用の財源に充てるため、その全部または一部を処分することができる。

第7条(規則への委任)、この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

次のページをお願いします。

附則

(施行期日) 1、この条例は公布の日から施行する。

2、(この条例の失効)、この条例は平成2

6年3月31日限り、その効力を失う。

提案理由であります。

現下の厳しい雇用情勢に各地方公共団体が地域の状況に応じて柔軟に対応することができるように、地方交付税に地域雇用創出推進費が新設（H21年、H22年限り）され、所要額が措置されたことから、基金として積立て今後の町内の雇用対策に充当する。これがこの議案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願いいたします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

2項、基金に属する現金は必要に応じもっとも確実、かつ有利な有価証券に変えることができる。それを具体的な説明を求めます。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

お答えします。この3条2項の基金は、基金の有効活用の方法として銀行の定期預金がいいのか、あるいは有価証券に変えることによって有価証券の配当金がいいのかということとを比べまして、有価証券の配当金の運営利益がいい場合はそういうこともできますよという規定でございます。

この規定については、基金条例のほぼ全部に入っている規定でございますが、この雇用推進基金においては、毎年度使っていくということでございますので、今のところはこの方法を使う予定はございません。基金全体の一つの細部としてこの規定を設けてありま

す。

○ 議長 山里昌輝

2番 宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

今年、本町は琉球エアークommューターの株を購入しています。そういったのもこれに充てられるんですか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

琉球エアークommューターの株の購入については、基金からではなくて一般会計をとおして出資金として購入しておりますので、決算書の有価証券の欄に計上されてきます。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

だからそれを今後、これに切り替えて保管するのか、そういった考え方ですか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

基金から購入することも可能ではございません。ただ、エアークommューターについては一般会計をとおして出資金としてそれを購入していますので、財産として町有財産として管理していくということになります。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

基金の運用の仕方ですが、具体的にどういったやり方をするのか。説明をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

この基金については、町内の雇用対策として当然使うという目的で設置されていますから、本来行政が行うべき事務で新たに雇用の確保、雇用の推進に繋がる事業がありましたら、それを申請してもらって、その事業の財源に充てるために、一旦その基金を取り崩して予算に計上しまして、その事業に充てるというようなかたちで考えています。

今年度の分については既に今回の補正予算に一部が入っております。あくまでも雇用対策推進費というのは交付税の中に措置されていますので一般財源、特に使い道の特定はございませんが、国の政策として雇用対策推進事業費というのを新設していますから、それを受けて町は何をしたのかということが分かりやすくするために、いったん基金を設けて向こう5カ年間の雇用対策に充てていこうということで考えています。この交付税措置は2カ年しかございませんので、2カ年で日本の経済が回復して、久米島町の雇用も立ち直るかといったらどうしても沖縄の経済の回復は本土より遅れてますので、久米島町の雇用もおそらく向こう3年4年は厳しいものがあるということが予想されますので、向こう5年間の雇用対策の財源に取りくずして充てていくということになります。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

町が雇用するものに使用するという、それ以外じゃないわけですか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

関連団体が行う事業で新規雇用の増進に繋

がるものであれば可能です。

例えば、今やっているのが土地改良の賦課金の徴収、これは新規に雇用してもらって町が土地改良に補助金として流してそれで賦課金の徴収の強化にあたるということでやっております。必ずしも町の直接雇用だけに限定されるものではございません。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

この条例なんです、バーデハウスの関係に使われる可能性はないのか。これを聞きたい。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

今のところは考えてはおりませんが、それが雇用に繋がると、雇用に繋がるという事業の内容であれば、それは申請を受けて内容を検討するということになるかと思えます。他の団体と全く同等な扱いです。特にバーデだからだめだとか、そういうことはございません。この基金の目的に沿うものであるかどうか、それを判断して、もし申請があれば検討することになると思えます。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

この地域雇用創出推進基金の関連ではないんですけど、今回の緊急雇用対策事業の交付金ですね、生活とかそういうものからは今バーデ関係の運動プログラムとか、エステのプログラムとか、そういう作成を目的として、町から3名の今バーデの雇用に対しての補助

金を出しているところです。

○ 議長 山里昌輝

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

基金というのは、いろんな大きい使い道があって、非常に安易に使われる可能性があるわけなんです。そういう基金を使うときは目的に対して、厳しい条件を付けながら使う必要があると思うが、その点どのように考えていますか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

当然ご指摘のとおり基金にはそれぞれの設置目的がございます。その設置目的に沿うように執行していきたいと考えております。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

雇用推進費が交付税の2カ年間ということで、今年度は補正予算に7千万円ですか、この2カ年間、来年度も7千万円で交付されるのかどうか。そしてこの2カ年間交付されたものを5年間の事業が行われると、その5年間でこの基金を雇用創出を図っていくということであるのかどうか、それと雇用の創出を図るということですが、久米島町においては非常に職を求めている方がたくさんいます。そのたくさんの人たちに職を雇用を与えるということで、その期間があるのかどうか、その点をお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

まず基金の額なんです、今年度の4号の

補正予算で7千万円計上をしております。交付税の中では、基準財政需要額ベースで1億2千200万円が基準財政需要額として計上されています。その中から7千万円は補正予算で計上していきます。今考えているのが、例えば環境保全課が今やっている雇用対策事業がございますね、それについても県の雇用対策事業でやっているわけですが、それもだいたい12月ぐらいまで、おそらく執行が終わるとみておりますので、その後の繋ぎ、3月までの繋ぎの部分とか、あと行政がやるべき事項としてこれまでできなかった部分として、書庫の整理、元具志川庁舎と土地改良のあった事務所、非常に文書の整理がされていなくて、そのまま放置の状態にありますので、その整理とか。あるいは福祉関係のサービスの強化に繋がる部分、そういった部分に充てていきたいと考えております。

先ほど話が合った土地改良の部分含めて、当面は今考えているのは、このぐらいなんです、いろいろ提案があったらですね、基金の目的に事業の目的に沿うようなかたちに対応していきたいと思っています。

額ですが、今年度は交付税の中でも1億2千200万円ということですが、次年度はどうか金額は分かりませんので、今年度の執行状況も勘案して、次年度の積み立て額というのは決めていきたいと考えて思っております。少なくとも町の雇用情勢の回復というのはかなりの時間がかかる年数がかかるとみていますので、その分の使用額を確保して、それを基本的には期間内で使い切るというようなかたちで考えております。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

環境保全課の方で草刈り事業に町から募集をしたということで相当募集人員が殺到していたという話も聞いたんですが、いろんな方々が今職を求めているんですが、たくさんの方に職を与えるためにその期間が分けられてやっているのかどうかということをお聞きしたいんですが、その件についての回答をお願いしたい。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

期間については、その事業の中身との兼ね合いもございますが、基本的には町の単独事業ですと半年更新で、更新、更新で対象事業の事業量と予算の状況もみながら、決めていくということになります。あくまでも短期的な雇用対策事業ですから、長期的な雇用というのはちょっと厳しいかと思えます。長くても半年、半年の更新で、その事業量とか予算の状況も見ながら対応していくということになるかと思えます。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

似たような質問なんですけど、確かに私は非常に良い条例だと思います。2年間と限られてはいるんですが、是非実施して欲しいなと思うんですが、ただその雇用法の方法、今総務課長が半年契約で更新は難しいだろうということだったんですが、県が数年前からシルバー人材育成センターというのを設置して、それで雇用創出、あるいはシルバーの方々の健康づくり等も含めたようなかたちをやって

いるんですね。町としても、これは男女限らず全ての町民を対象にして、もしそういう仕事があれば、私の方に、私もお願いしますということで窓口を一括して総合窓口として、準備しているか、これから2年間、本当はずっと続いて欲しいんですが、2年間だけでもその考えがあるかどうか、それと年齢制限もあるかどうか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

特に年齢制限というのは考えておりませんが、雇用対策の優先度としては、やはり若年層の雇用対策が優先になるかと思えますが、シルバー人材育成については以前から町に打診があったりもいたしました。そこらあたりは主体となる老人会の連合会あたりとも相談して、そういう対象となるような事業があるかどうか、そこらあたりも含めて相談はしてみたいとは考えております。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

まとめた総合的な受付窓口はないわけですね。その考えはないわけね。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

シルバー人材育成事業の窓口というのは今定かではございませんが、この事業の主管課が総務課になりますので、総務課で相談を承りたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

昔、失業対策事業というようなことで、我々も中学の頃だったかな、植栽をやったんですよ、だいぶ、今政府側のCO₂削減というようなかたちで、だいぶそれを政策に掲げてやろうとしているわけです。ですからそういうような名目の雇用で雇用対策というかたちでできないものかどうか。例えば保安林とか防風林そういったものの植栽をやっていくと一石二鳥じゃないかと、こういうことも該当するかということと、そういう構想はないかということをお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

防風林の植栽事業については基本的には防風林だけの補助事業がございますので、できるだけその補助事業を対応してできるものについては、それでやっていくというのが好ましいかと思えます。

この条例についてはあくまでも雇用対策ということでございますので、その新規の雇用に繋がるようなものであって、なおかつ原則的には町がやるべき事業については対応可能でございますので、その中に含めて考えていけないのではないかと、全てが全てということではございませんが、当然それに当てはまるものもあるとは考えています。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

環境保全課の方で新規雇用ということで17名雇用しております。保安林のことについては、県の保安林の保育事業以外にイーフの保安林の下草刈りも、この事業でやっていくことにしています。植栽についても、保安林帯

に木を植えるということまでは考えてはおりませんが、イーフの海岸にアダンを植えるということで雇用対策のメンバーの作業日程には組んでおりまして、苗畑にアダンが相当、何百本かあるんですが、それをイーフで砂が飛散する場所がありますので、その防止のためにその植え付けをやろうと計画はしております。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

県では県の緑化推進対策委員会ですか、そこの方でも花木を推進しているわけですねよ、そういったものと連動させてやることもできないかどうか、セットして、できないものかどうかということではありますが。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

緑化推進委員会の事業は草花が中心になると思うんですが、また新規で花木の植栽についての事業がありますので、今回の補正にもこれを上げておりますが、そういったものを利用する予定で計画はしております。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

県は、私が担当者に聞いたら花木を推奨すると、草花もいいですよ、けどもそういうようなかたちを推奨するというからには向こうのものの考え方とセッティングしながら対応した方がいいだろうというふうに考えているわけです。どうですか。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

できるだけ、その事業を活用して苗木とか肥料関係が予算つきますので、活用していきたいと思っています。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、議案第40号、久米島町地域雇用創出推進基金条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第40号、久米島町地域雇用創出推進基金条例については、原案のとおり可決されました。

日程第3 久米島町財政調整基金条例の一部を改正する条例について

○ 議長 山里昌輝

日程第3、議案第41号、久米島町財政調整基金条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第41号、久米島町財政調整基金条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町財政調整基金条例の一部を改正する条例。

久米島町財政調整基金条例の一部を次のように改正する。大枠の中で改正前、改正後となっておりますが、左側の改正前の方で第2条の2項「下線がある基金から生じる収入はすべて基金に繰り入れるものとする」を右側の改正後2条の2「前項で定めるもののほか、各会計年度において歳入歳出の決算上剰余金を生じた場合においては当該剰余金から当該年度の翌年度に繰り越した歳出予算の財源に充てるべき金額を控除した額の2分の1に相当する額を当該年度の翌年度までに基金に編入するものとする」に改正します。

3条については変更ございません。

第4条についてですが、新たに挿入されまして、運用益の処理となります。「基金の運用から生ずる収益は一般会計歳入歳出予算に計上して、この基金に編入するものとする」を付け加えます。

そして第4条については改正では第5条に繰り下がります。

第5条の繰替運用については改正では第6条となります。

次のページをお願いします。

そして改正前の第6条についても、改正後は第7条に繰り下がります。

提案理由であります。

地方財政法第7条の規定に基づき、歳計剰余金が生じた場合の財政調整基金への積み立てを明確に定めて将来における財政運営の健全性を確保する。これがこの議案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

久米島町の財政調整基金条例の一部を改正する条例についてであります。私はこれまで剰余金が生じた場合には、2分の1を超えない範囲で積み立て、もしくは償還金に充てるべきであるということ指摘してきましたが、剰余金が少ないからそういうことをしていませんでしたということでありました。

今回これを明確にして剰余金を積み立てにしていこうということですが、条例化されなくても、これは当然議会の議決を経て積み立てされるべきであったと思います。

しかし、この条例の財政基金を明確にすることによってこれだけに積み立てをするのかどうか、この基金だけに積み立てするのか、別の基金に積み立てすることができるのかどうか、そこをお伺ひします。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまのご質問にお答えいたします。財政調整基金に積み立てる場合は一般的にも歳計剰余金の2分の1の相当額は基本的に財政調整期金に積み立てる予定でございます。

他の基金に積み立てる場合については、当然他に基金条例の中に積み立てる額は毎会計年度、一般会計の予算で定めるという規定がそれぞれの基金条例にございますので、その規定に基づいて積み立てるということござ

います。

例えば、今回の4号補正でも、その歳計剰余金2分の1以上の額を積み立てているわけですが、その2分の1の額に相当する枠については、2項に基づいて積み立てをする。それを超える分については1項に基づいて積み立てをするというかたちになります。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

剰余金が出た場合に、財政基金以外のものにも積み立てができるということに理解してよろしいでしょうか。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

剰余金が出た場合に、2分の1は優先的に確保して、それ以外のは他の基金にも積み立て可能であります。

それから予算を通さないで積み立てる方法もあるわけです。決算書の中で翌年の繰り越すべき財源の分で基金に編入しますということで、決算書で直接その決算の議決、承認をいただければ、決算書から直接基金に積み立てることもございます。本来2分の1の額というのは、決算書から直接やった方がわかりやすいということにはなりません。方法は2通りあります。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

今回これを明確にして将来の財政の健全性を確保するためにやるということでもありますので、剰余金が少なくても確実に2分の1を超える範囲では積立をしていただきたいとい

うことをお願いしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

まず、原案に反対者の発言を許します。

○ 議長 山里昌輝

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○ 2番 宮田勇議員

本案に賛成します。この基金条例は運用上ですね。一部軸の訂正があって、問題点はないと思います。この条項が明確にされておりますので、よって本案に賛成します。

○ 議長 山里昌輝

他に討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで討論を終わります。

これから、議案第41号、久米島町財政調整基金条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って議案第41号、久米島町財政調整基金条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第4 久米島町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

○ 議長 山里昌輝

日程第4、議案第42号、久米島町国民健康

保険条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第42号、久米島町国民健康保険条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町国民健康保険条例の一部を改正する条例 久米島町国民健康保険条例の一部を次のように改正する。

大枠の中に、左が改正前、右側に改正後となっています。

今回の改正内容については、附則の一部であります。読み上げます。

「平成21年10月から平成23年3月までの間の出産に係る出産育児一時金等に関する経過措置。被保険者が平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出産したときに支給する出産育児一時金についての第5条の規定の適用については同条中「35万円」とあるのは「39万円」とする」に改正する内容でございます。

附則

この条例は平成21年10月1日から施行する。

提案理由であります。

出産に要する費用の実態を踏まえ少子化対策の充実を図るための当面の施策として出産育児一時金等の金額を暫定的に引き上げる必要があるためであります。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第42号、久米島町国民健康保険条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第42号、久米島町国民健康保険条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第5 平成21年度久米島町一般会計補正予算(第4号)について

○ 議長 山里昌輝

日程第5、議案第35号、平成21年度久米島町一般会計補正予算(第4号)についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第35号、平成21年度久米島町一般会計補正予算(第4号)の概要についてご説明を申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。平成21年度久米島町一般会計の補正予算概要につきましては、歳入歳出の総額にそれぞれ6億545万1千円を追加し、総額71億3千549万5千円といたします。

続きまして、予算書の8ページをお願いしたいと思います。

歳入、歳出の主な内容についてご説明いたします。歳入におきましては、平成21年度普通交付税の交付決定に伴い4億4千748万1千円を計上しております。

交付決定額においては対前年度1億1千852万6千円増額しております。主な要因としまして、今年度より新設されました地域雇用創出推進費1億2千200万円の影響が大きいものと思われま。

平成20年度決算額確定に伴う繰越金の9千700万1千円計上しております。また国庫支出金においては平成20年度より引き続き実施されます子育て応援特別手当交付金事業としまして1千141万円の計上となっています。

教育費、国庫補助金としまして、学校ICT環境整備事業費に1千714万5千円を計上しており、事業内容として各小中学校のパソコン等の導入事業となっております。

また、国庫委託金としまして、今年度より空港管理事務所において委託業務を行います。久米島空港、気象観測候所委託金300万3千円も計上しております。

予算書の9ページに入ります。県支出金においては農業振興委託金として220万円こちらについては農林水産課で行います。さとうきび受託体制整備事業により小型トラクターとアタッチメント、(これ根切り施肥機)ですが、その導入を予定しております。

また環境保全課の方で取り組みを行います
保安林保育事業に285万6千円を計上しております。

10ページ目に入りますが、地方債においては臨時財政対策債の発行可能額決定により△16万6千円となっております。

再度9ページ目になりますが、繰入金としまして、平成20年度後期高齢者医療特別会計剰余金により443万4千円。また産業振興基金の創設に伴い、町づくり基金1億2千811万8千円、中山間ふるさと農村活性化基金837万1千円をそれぞれ計上しております。民生費雑入には平成20年度後期高齢者医療共通経費、精算還付金20万2千円、また特別会計分に46万9千円を計上し、介護保険負担金精算分として213万7千円を計上しております。

続きまして11ページに入りますが、歳出になります。歳出におきましては、性質別にみますと物件費において1億1千78万8千円がもっとも多く、その中でも備品購入費においては補助事業の村づくり交付金事業の普通建設事業費からの組み替え補正により4千252万5千円、またさとうきび受託体制整備事業で223万5千円、これは開発組合に予定しております。

教育費においては、久米島西中学校楽器購入費100万円、これは3種類の楽器を予定して計上しております。また保健体育施設費においては、ホタルドーム内に設置予定でありますウエイトトレーニング器具等を整備事業に510万円で、こちらについては国の経済危機臨時交付金事業を財源とした事業となっております。

委託料についても教育費において学校ICT環境整備事業で2千600万円、自然文化セン

ターの燻蒸消毒委託業務として388万5千円を計上しており、こちらについては自然文化センター内の虫防除対策として平成17年度以来行うものであります。

需用費についても総額で377万6千円を計上しておりますが、そのほとんどが修繕費で特に各施設の老朽化によるクーラー関係の修繕となっております。内訳については、教育費で小中学校4校分、(比屋定小学校、美崎小学校、清水小学校、久米島中学校)、また福祉課これは(老人福祉センター、デイサービスかりゆし)、そして自然文課センターの(センター内基盤取替え等)であります。

総務課においては、この議場の基盤取り替えが上っております。基金積立金についても予算計上しており、財政調整基金1億8千891万9千円、減済基金3千万円、土地開発基金1億円、庁舎等新改築基金積立金1千万円、地域雇用創出推進基金7千万円をそれぞれ計上しております。

また、予備費におきましては、3千万円の計上をしております。

以上が平成21年度久米島町一般会計補正予算(第4号)の主な概要となっております。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

今回の補正予算は約6億円の補正の中で約3分の2が積立金となっております。平成20

年度の剰余金が約1億円の剰余金が出ましたが、先ほどの条例改正で財政調整基金に積み立てをするということを明確にされております。今回この剰余金から財政調整基金にいくらの積み立てをされているのか、お伺いします。

それから21ページの観光費の中で県外旅費に30万円が計上されております。これはどういう目的で、いつ頃のどういう目的で何名の旅費の額なのかについてお伺いします。

それから最後のページ、ウエイトトレーニング器具等の整備事業、これにつきましては、現在ドームの方で筋トレ室に器具がありますが、その器具を現在ある器具はどうするのか、この500万円の計上であります。総額どれだけの額の器具を予定しているのか、話によれば、楽天側と折半してやるという話も聞きましたが、その点についてどのような考え方で進めていくのかについてお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの仲村議員のご質問にお答えいたします。財政調整基金へ今補正で1億8千782万1千円を積み立てているわけですが、今年度の剰余金が1億1千5万9千502円ございますのでその半分はこの中に入っているということになります。残りの金額については、新たに増えました財源、例えば交付税であるとか、そういったものを充てているということになります。特に区分はしていないんですが、まとめて一括して計上しております。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

21ページの観光費の旅費の件ですが、今回新たに生じたものとしては、楽天の今年から2軍の本拠地になっています。仙台市の隣の利府町がありまして、そこからの町長とか議会の方達にも今回のキャンプの時にもみえておりましたが、そことの交流で芸能とか物産とか、そういうものを進めていこうということで、今回の10月11日に、その利府町のフェスティバルがあるということです。そこに町から登武那覇太鼓が招待されていて23名ですかね、これはあちらの予算での招待になります。そして町から予定しているのが副町長と商工観光課の職員1人ということで、それがほしい1人分15万円ぐらいです。

それから残りのものについては、ウミガメ館の後ろの屋外トイレです。去年の途中で管理をオーランドの方に指定管理の中に入れてそこで利用される消耗費の17万5千円を途中で補正流用してやりました。今回の当初予算でその分上げてなくて、そしてそこから流用して使っていて、今後それだけの予定していた県外のキャラバンとか、そういうものが予定されておりますので、その補いとしての内容になります。

それから28ページの保健体育施設のドームのウエイトトレーニング器具の件ですが、当初楽天がこちらにキャンプをした当初については、消防に設置されているそれを久米アイランドの方に運んで使わせてもらいました。消防としても年中トレーニングに必要ということですので、常時そこから借りるということではできなくて、それから今ホテルドームに個人が使わないということで寄贈された器具がありますが、ちょっと古くてトレーニングプログラムに即さない部分があるとか、それ

から機器が不足している分があるとか、部位別のトレーニングができないとか、それから各機器のウエイト、主にウエイトの重量が足りないとか、それから効率的にトレーニングするのに機器が足りないとか、そういうこと等もあって楽天は毎年リースで本土の方から運んでやっております。

そこを今回交付金で、購入の全体としては、中古の物も含めてですが、全体がその金額です。そして使用料を楽天側から取って使用させるということで、今のところ約1カ月間の使用で50万円ほどということで、それも組んでやっているところです。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

先ほどの財政調整基金への積み立ては剰余金の半分ということでありましたが、実際の金額として財政調整基金に1億8千万円の積み立てがされています。その内訳として剰余金からいくらされているのかということをお数字として答えていただきたいと思っております。

それから、楽天についてのウエイトトレーニングについて510万円の器具で現在ある器具もそのまま使いながら、それに加えて510万円の器具を導入するということになるのか。

それから使用料は、楽天にウエイトトレーニングの使用料を50万円を使用料をいただくということで理解していいのでしょうか。

その器具を導入するために楽天側と一緒に買って器具を折半して入れようという話し合いはそれはどうなったのか。その2点をお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

再度お答えいたします。今年度の財政調整基金への積み立て額1億8千782万1千円の内、歳計剰余金に相当する額が5千52万9千751円でございます。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

器具の面で、今現在設置してあるものと重複する部分については、今調整しているのが仲里グラウンドの管理棟に、各家庭にある古いとか、そういう物がいくつか置かれているんですが、そこに設置するとか、そういうかたちで重複する物については、そういう活用の仕方を考えております。それから楽天との折半ということですが、今あらゆる機材について楽天の財産を置くとか、そういうことが今されていなくて、使用料で楽天の方は補いたいという話でした。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

私もドームのウエイトトレーニングの器具をよく使っている一人なんですが、これまで使い親しんできた物なんですが、楽天側はプロの選手で高度な器具を利用してやる楽天中心になるんじゃないかと、一般の住民が一般的に利用できるような器具であって欲しいなと、機材が高くなくてもいいですので一般の住民を対象とした考え方で備品の購入を進めていただきたい。全て楽天、楽天というような感じでは住民から批判がきますので、住民を対象にした考え方で進めていただきたいと思っております。その件についてどのような考えな

のか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

内容については、プロだけが使うようなものではなくて一般も使いやすい、機能的にも使いやすいような機器の内容になっております。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

先ほど質問のあるとおり6億500万円、地方交付税が2億4千万円、繰越金が9千万円、かなり大きなウエイト示しているんですが、特に歳出においては基金が多いと、これはよしとして、昨日の一般質問と関連するんですが、何でも使いやすいお金が約5億ぐらい入っているわけです。それにも関わらず昨日の質問したプールの改修費には全然出てこないですね、今年度中に完成するというのですが、今何も入っていないんですが、昨日の説明では見積もりが高くついて今の予算では足りないということですが、これからも期間があるんですが、12月までには、それなくても大丈夫なのか答弁をお願いします。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

今、見積もりを取り直しして、ちゃんとした額を確定させようということで遅れておりますので、この補正予算で取った臨時交付金の中で調整していこうという考えですので、十分その額は確保できるものというふうに考えております。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

今の体育館の整備についても同じようなかたちでできるものと理解してよろしいですか。

○ 議長 山里昌輝

山城保雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 山城保雄

補正予算で取った部分の全体の中で十分調整できるというふうに考えております。

○ 議長 山里昌輝

8番幸地良雄議員。

○ 8番 幸地良雄議員

先ほど仲村議員に説明がありましたが、ウエイトトレーニング器具について今ドームにあるものは老朽化して使えない物もある、あるいはやがて切れるという物もあるということですが、今、仲里総合グラウンドにもいろんな器具があるんですが、ほとんど使えないのが多いんです。これは公平に何処でも使えるような体制を整え得るために新しく購入されて、キャンプが終わった場合には、調整して使える方法をとった方がいいんじゃないかと思うんですがどうですか。

○ 議長 山里昌輝

平田光一商工観光課長。

○ 商工観光課長 平田光一

これについては、重複する物につきましては、その設置の仕方を調整していきたいと思っております。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

8ページの収入の方で、3款国庫支出金、土木費国庫委託金ということで久米島空港気

象観測所業務委託金300万3千円が新規に計上されております。

当初の予算がゼロですので、たぶん新規になると思うんですが、これの使い道としては22ページ、工場管理費で賃金で基礎業務臨時職員賃金227万7千円計上されておりますが、その他ものをかき合わせても303にはならない。聞きたいのはこれで町の持ち出しがあるのかないのか、逆に若干いわゆる利益としてとはおかしいが、残るのかと聞きたいのと、確かいま比嘉の気象所は無人ですね、一応、我々農家実は天気予報、あるいは天気図の過去、予報図も実は欲しいときがあるんです。ところがここが無人ということでないということで飛行場の気象所というんですか、電話したらここは私たちは発行しませんということで断られた経緯があります。

町がその業務を引き継ぐということになりましたら、その辺の町民サービスも可能なかどうか、その2点聞きたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

平良進空港管理事務所長。

○ 空港管理事務所長 平良進

歳出の22ページ、気象業務委託300万になりますが、これは収入に対しての227万7千円です。それから時間外手当として3節の職員手当の中に7万3千円、それから消耗費として11節49万5千円の中に県の空港管理委託の減額もありますので、それも上限で合わせてその中に15万円、需要費も入っております。それから旅費、前ページに戻りますが、旅費の50万3千円これは10月～11月にかけて空港管理事務所の職員、それから賃金雇用予定している2人の職員9名です。約4、5日かけて那覇の沖縄気象台の方で空港観測業務、気象

台から委託される業務の研修に行く旅費になっております。

それと空港測候所の業務委託にあたりましては、あくまでも今の測候所は無人工化になります。データ運用については、そして気象台の業務委託する部分については、今の空港管理事務所の中にパテーションで囲ってその中に観測データ発信が、自動的に入ってくるデータ管理する機器が入ってきます。空港職員が対応する業務については、空港周辺の天気、目視、天気情報、目で見て判断する目視気象の報告が6時40分から1時間毎に約8回ぐらい沖縄気象台の方に報告することになっております。それに対する業務です。特にこれを一般に公表するとかいうことではなく、あくまでも通常の飛行機の定期便の離発着、あるいは空港内の天気状況を把握するための気象業務の委託になっております。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

データ貰えるかと思って期待したんですが残念です。こっちも無人化で久米島の気象に関しては非常に不利な状況になっていることですので、その辺は今後考えていただきたいなと思います。

結局、収入と支出のバランスですがパッパと計算したら、これはただ旅費が55万3千円今回ありますから、必ずしもマイナスとはいわないが、仮にこの旅費が毎年行くということであれば、これペイしませんね、逆に町の持ち出しが出てきますね。その辺どうですか。

○ 議長 山里昌輝

平良進空港管理事務所長。

○ 空港管理事務所長 平良進

今年の12月からこの業務が始まりまして、今回の補正の中には、先ほど申し述べた旅費の50万円余りとそれから12月、1、2、3、4カ月分の業務委託合わせて300万3千円になっています。

4月1日からは新たに年間の業務委託を組みます。今年の4月、5月頃でしたか、沖縄気象台の方と委託料についてある程度協議もやりました。年間約780万円だったと思います。780万円の委託業務に新年度から始まる予定であります。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

9番上里総功議員。

○ 9番 上里総功議員

10ページの農林水産費雑入ということで保安林保育委託事業、それと堆肥センター販売事業、この保安林保育事業、事業入れるのはいいんですが、今まで見ていると台風後の枯れた保安林とか、そういうものの補植が全然なされていないんですよね。皆さん方は植えたら全部成長するものだと思っているんですが、そうじゃないんです。

それで一例を申し上げれば、儀間の製糖工場の前の保安林も雑草は除去されたんですが、けっこう枯れている保安林があるんですよね、そういう事業は今後どうするのか、それと堆肥センター、販売事業なんですが、管理委託は今どこがやっているのか、町民の方にまだ浸透されていないような気がするんですが、そこの所を説明してもらいたい。

同じく18ページの、農林振興費の19節の負担金補助金及び交付金ということで久米島農業開発組合組織育成補助金ということで100万円なっているんですが、これは開発組合の

件だと思うんですが、開発組合の場合には来年度に向けて、トラクター搬出希望者が多いんです。そういう面も考慮しての補助金なのか。

それと19ページの15節の工事請負費と18節の備品購入費、これの整合性を上はマイナスになって下はプラスになっていますが、備品購入費になっているんですね、その説明をお願いしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

田端智環境保全課長。

○ 環境保全課長 田端智

10ページの保安林保育委託事業なんですが、これは県が国庫補助を入れて整備した保安林事業の下草刈りの事業です。議員のおっしゃる儀間の久米糖前の保安林帯はまた別の事業であります、おそらく新規で補植する事業はないと思いますので、できるだけ町の苗畑にある物でカバーできればやっていきたいと思っています。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

堆肥センターの運営については、町直営で運営しております。注文と料金精算については、農協の方に事務委託をしております。堆肥センターでは現金は扱わないということで個人での申し込みと料金の徴収は農協の方でっております。

それから開発組合の運営費100万円については、これは1年間開発組合運営していくためには町とJA、製糖工場3社で支援しながらやっていこうということで100万円ずつ負担しております。業務の内容で新しく業務が発生するのは、前のクレーンに変わる業務が

トラクターの搬出で、これがさとうきびの新価格制度のA5対策で、トラクターの搬出が該当するということになって、これの精算事務を開発組合でやろうということで、それを進めております。トラクターのオペレーター集めて説明会したんですが、60名から70名ほどこの請負業務をやっているという方々がいて、その方々の業務の精算事務を開発組合で変わってやろうということで、その取り組みも含めて進めております。

開発組合の役割として、さとうきび関係の法人の精算事務とか、新価格制度に対応しようということでやっております。

議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ **建設課長 盛本實**

19ページの15節の工事費と備品購入の件ですが、これは堆肥センター絡みで、村づくり交付金事業の中では、備品購入というのが堆肥の袋詰機とマニアスプレッター肥料を散布する機械の購入の予定ですが、もともと村づくり交付金事業ではそれは入っていなかったんですよ。この備品購入に関して、運営側の方からどうしても欲しいということで、今年入ってからいろいろ調整をして県あたりとも調整して工事費から回していいという了解を得ましたので今回組み換えをして購入しようということでの組み換えです。

○ **議長 山里昌輝**

9番上里総功議員。

○ **9番 上里総功議員**

保安林の事業は補足するのはないということで、今までいろんな所で。保安林の植栽がなされているんですが、その後の維持管理それと補植、これが一番大事だと思うんです。

そういうのが全然なされていない。植えっぱなしだったら全部生きるものだとしか皆さん方、考えていないんですよね、後の維持管理が大事だと思うんです。そういうのも何とか事業で入れられないかというのが、これは考える必要があるかと思うんです。それは町でやるということですので、ぜひやってもらいたいと思います。

それと雑草管理でも、大きい根っこは残っているが、その後点検しているのか。やったらやったりの成果を出してもらいたい。

堆肥センターの管理は町直営ということなんですが、もっと住民の方に徹底されていいますか。区長会とおして、そういう文書出しましたか。

○ **議長 山里昌輝**

平良朝幸農林水産課長。

○ **農林水産課長 平良朝幸**

4月か5月だったと思うんですが、区長会に扱い方についての内容をチラシで周知しております。

○ **議長 山里昌輝**

5番山城宗太郎議員。

○ **5番 山城宗太郎議員**

23ページの空港管理で需用費から委託料、使用料及び賃借料、備品購入費みんなマイナスになっていますが、これで業務に差し支えないのかどうか。

○ **議長 山里昌輝**

平良進空港管理事務所長。

○ **空港管理事務所長 平良進**

委託料、需用費等につきましては県の委託料が当初予定していた金額より307万3千円減額なりまして、その分査定されなかった委託料関係は全部、県で査定されなかった金額に

については全部減額しています。これは執行しておりません。県の委託料が、決まった時点でしか予算執行できないために今回減額したのは予算も執行していなくて、後の需用費関係についても照明備品が修繕費用と合わせて190万円等を県に要請したのが認められなくて、その面も一応減額しております。これは予算上は執行今されてしておりません。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

19ページの16節の堆肥センターの原材料費8万円計上されておりますが、それはどういうふうなかたちで、これは購入しているのかどうか、どういうかたちで購入されているのか。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

ここに計上してあります原材料費については堆肥センター内で振るい機を自分たちで造って対応しております。それに使う材料費ということで計上してあります。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原総清議員。

○ 4番 宇江原総清議員

久米島ほとんどフクギが植えられていて、例えば道路にはみ出している枝を切って、それを堆肥に使うという方法もあるんじゃないかと、それにそういった経費というかたちで計上してもいいのではないかと、こう思っています。それは、なぜかというフクギなんか8メートルあるフクギもあって中が空洞化しているのも多々あるんですよ、これを枝はみ出ている物は折損、あるいは上も所によ

っては4メートルぐらいからは切り落として、そうすることは今堆肥センターにも使えるし、木が若返るし、それから暴風の際の事故防止にも繋がってくると思います。そういう面からも予算計上をしてもいいんじゃないかと思っておりますが、どうですか。

○ 議長 山里昌輝

平良朝幸農林水産課長。

○ 農林水産課長 平良朝幸

原材料については、これから環境保全課とも関連してくると思うんですが、家庭から出る雑木とか、今いったような枝とかそういった物を環境保全課の所に集まってくると思います。それを産業廃棄物処理の関係で破砕機も導入しているということでもありますので、それも活用しながら、そういった材料についても、活用していきたいというふうを考えております。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

11番宮里洋一議員。

○ 11番 宮里洋一議員

25ページと26ページにまたがるんですが、学校管理費の中で小学校費の20節の高度僻地修学旅行費はマイナスになって、26ページの中学校費の高度僻地修学旅行費が120万円もちょっと金額が大きいので、あれと思っているんですが、どういう理由で増額になっているのか説明願います。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

お答えします。当初予算におきましては、次年度修学旅行に行く子供達の在籍で計上しておりますが、今実際に行く子供達の人数が

学校から報告ございましたので、小学校費におきましては91名対象がございました。その1名かける3万円が今回の実績で出ていきますので、差額48万円オーバーしますので、それを減額にしまして、中学校費におきましては今回、仲中36名、久中22名、西中50名行きますので、1人当たり8万円かけるこの人数かけますと約120万円不足しましたので、その分そこに計上して子供たち全員行けるような予算措置に組み換もしながら予算措置もしております。

○ 議長 山里昌輝

11番宮里洋一議員。

○ 11番 宮里洋一議員

中学校費の中の高度僻地修学旅行費について、当初は人数がはっきりしなかったということですか、予算が取れなくて、金額が大きいものですから、そういう質問をしているわけですが、そのことについてお願いします。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

うちの担当が、たぶん各学校の学年を間違えて、少ない人数で計上した感じがしておりましたので、約15名分中学におきましては不足しておりましたので、15名分かける8万円分の追加の計上となっております。

○ 議長 山里昌輝

1番崎村正明議員。

○ 1番 崎村正明議員

15ページ、15節、工事請負費となっているんですが、場所どこか教えてもらえませんか。

○ 議長 山里昌輝

日高清有福祉課長。

○ 福祉課長 日高清有

15ページの工事請負費につきましては、兼城の方にある福祉長屋の改修工事でありませぬ。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

他にないようですので、わたし気になっていること1つだけ、文化財の方26ページです。予算として設計委託料とそれから保全修理工事ということで197万9千円組んであったが、これを減額にして賃金扱いしているんですね、さらにその中で印刷製本費の91万8千円、約100万円近く組まれているんです。なぜこうなったかよくわからないんですね、その辺の説明、文化財工事というのは予算が少なく、ちょこちょこ毎年やっていて、忘れた頃に完成するというのが現状なんです、今回についても、ひょっとしてこれも賃金でやるということは工事がほとんど進まない状況にあるんじゃないかなということが懸念されますので、このへん説明していただきたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

佐久田等教育課長。

○ 教育課長 佐久田等

文化財保護費についてお答えいたします。工事請負費の減額につきましては、当初予定していた工事の範囲が樹木の伐採と石積をする場所とが縮小になりまして、今回は230㎡北側やるということで少し面積が減っておりますので、その分の159万3千円の減額その減額に伴いまして設計の管理委託料も、その分38万6千円は減額となります。

そして今回、賃金74万4千円計上しておりますのは、宇江城城跡の三の郭の石積構造の

発掘調査ということで約20㎡を予定しておりますのでその分の増となっております。

印刷製本費につきましては、今年度、宇江城城址が国指定になりましたので、そのリーフレットやガイドブック、そしてそれに伴いますCDソフトの制作として91万8千円を計上しましてこれを県の補助金として、計上して今補助金申請をしているとことです。

○ 議長 山里昌輝

4番宇江原議員、本件に関する質疑は既に3回になりましたが、会議規則第55条、但し書きの規定によって特に発言を許します。

○ 4番 宇江原総清議員

8ページの収入の方ですが、第11節子育て応援特別手当交付金というのが国費としてありますが、これは支出のどの部分の方に予算計上されていますか。失礼しました。訂正します。分かりました。訂正します。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午前11時31分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前11時31分)

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

○ 議長 山里昌輝

これから議案第35号、平成21年度久米島町一般会計補正予算(第4号)についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第35号、平成21年度久米島町一般会計補正予算(第4号)については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 山里昌輝

暫時休憩します。(午前11時33分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前11時40分)

日程第6 平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

○ 議長 山里昌輝

日程第6、議案第36号、平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第36号、久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の概要についてご説明申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。

平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)は、歳入歳出の予算額にそれぞれ6千807万8千円を追加し、歳入歳出の総額を12億4千998万3千円と定める。

6ページ目をお開きください。

歳入におきましては、1款、国庫支出金、療養給付費2千129万9千円の増で歳出に係る一般療養給付費を当初予算編成段階では前年度の予算並に計上しており5月から7月までの3カ月ベースが平成20年度決算並となった

ため、増額補正を行っているための国庫負担分及び後期高齢者支援金の平成21年度概算決定額に伴う充当財源となります。

6目、国保介護従事者処遇改善臨時特例交付金130万1千円の新規増につきましては、平成21年度の介護報酬額が3%引き上げたことによる国民健康保険税の増額を緩和させるために平成22年までに交付されるもので、過去3カ年間の久米島町の介護納付金の平均を県平均で除した額に国が示す金額を乗じた額となっております。

7目、出産育児一時金補助金においては、今年度の10月1日から平成23年3月31日までに出産した被保険者に対して4万円の増額となり2分の1は国庫負担となるため増となり、残り4分の1を地方交付税で4分の1を国保税で賄う財源措置となります。

7款、前期高齢者交付金においては、1千893万2千円の増額となり、社会保険診療報酬支払基金から概算確定に伴う増で後期高齢者支援金へ充当される財源となります。

13款、繰越金622万7千円につきましては、平成20年度の剰余金として計上しており、当初予算において費目存置として1千円を計上しておりますので、今回の補正額と当初計上額を合算した額が剰余金と同額なるように調整しております。

歳出になりますが7ページ、歳出におきましては、2款1目一般被保険者療養給付費におきまして1千574万4千円の増で歳入の国庫支出金の増額要因でも申し上げましたが、当初予算編成時からの見込み療養給付費の支出額が月ベースで200万円の開きがあるための増額となります。

2款3目の出産育児一時金においては、4

万円の増額となるため10月以降の出産予定者31名に乗じた額を歳出計上しております。

3款1目後期高齢者支援金等につきましては、診療報酬支払基金からの概算確定額に伴う増額として4千559万1千円を追加し、充当財源として療養給付費及び前期高齢者交付金を歳入計上しております。

5款、老人医療費拠出金及び6款介護納付金ともに療養報酬支払基金からの概算確定額に伴う減額となります。

11款、諸支出金においては、平成20年度療養給付等負担金国庫負担額の超過交付による償還金となります。

療養給付費国庫負担金は歳出にかかる療養給付費の支出額に基づき、年度内に概算確定し、年度経過後に決定されるため追加交付が償還となりますが、本町では見込みにより療養費の支出額が伸びなかったための償還が生じております。

以上が平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の概要となります。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第36号、平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第36号、平成21年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）については、原案のとおり可決されました。

日程第7 平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第1号）について

○ 議長 山里昌輝

日程第7、議案第37号、平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

議案第37号、久米島町老人保健特別会計補正予算（第1号）の概要についてご説明申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。

平21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出の予算額にそれぞれ771万円を追加し、歳入歳出の総額を1億3千124万7千円と定めます。

6ページ目をお願いいたします。

歳入におきましては、1款、支払基金交付金として診療報酬支払基金からの医療費交付金分の過年度精算による増額分として95万4

千円を。

2款、国庫支出金におきましても療養給付費の過年度清算分367万4千円の増。

5款、繰越金では、平成20年度からの剰余金として308万2千円の増額となっております。

老人医療特別会計におきましては、平成20年度に後期高齢者医療制度が施行されたことに伴い以降の医療給費等については、全て後期高齢者医療制度からの給付となるため、平成20年度以前にかかる年度遅れ給付費のみが対象となります。

それでは歳入におきまして1款、支払基金交付金。

2款、医療費国庫負担金ともに過年度精算に伴う追加交付による増額計上となります。

5款、繰越金では、平成20年度決算に伴う剰余金を計上しており、これまでは精算交付金が多かったため赤字決算を避けるため繰り上充用によって対応しておりましたが平成20年においては支出額と交付金額に開きがなかったため剰余金が発生しております。

7ページ目をお開きください。歳出予算についてですが、1款、医療給付費646万円を追加しており、平成20年度決算額等を比較し、前年度に不足額が生じた実績を勘案しての増。

2款、諸支出金では、医療給付費精算に伴う還付金125万円を計上しております。

以上が、平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第1号）の概要となります。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第37号、平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第1号）についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第37号、平成21年度久米島町老人保健特別会計補正予算（第1号）については、原案のとおり可決されました。

日程第8 平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

○ 議長 山里昌輝

日程第8、議案第38号、平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

議案第38号、平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の概要に

ついてご説明申し上げます。

予算書の1ページをお開き下さい。

平21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出の予算額にそれぞれ458万6千円を追加し、歳入歳出の総額を8千479万3千円と定めます。

予算書の6ページに入ります。

歳入におきましては、4款、繰越金として平成20年度剰余金453万4千円を計上し。

5款、諸収入では5万2千円の還付金を計上しております。還付金につきましては、保険料を徴収後、後期高齢者広域連合へ納付した後に加入期間の間違いにより還付金が発生したため、後期高齢者連合より還付を受けるための計上となりました。

7ページ目、歳出。歳出では1款、総務費において各種通知に係る運搬費用の不足が見込まれるため10万円を追加し。

3款、諸支出金として歳入に計上している後期高齢者連合からの還付金を被保険者へ返納するため5万2千円を計上しております。

3款2目繰出金443万4千円につきましては、平成20年度から剰余金額から支出額を差し引いた金額を計上しており、一般会計へ繰り戻す金額となります。

以上が、平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）となります。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

またがって繰越金が453万4千円ありましたのでということなんです、これは支出の方で今度は逆に新規としてですか、繰出金が45万3千4百円計上されますね、このへんちょっとよく分からないんですが。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午前11時55分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午前11時55分)

○ 議長 山里昌輝

日高情有福祉課長。

○ 福祉課長 日高情有

繰越金が453万4千円あります。一般会計での繰り出し金は443万4千円となっておりますが、その差額につきましては一般管理費の10万円となっております。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

ただいまの繰越金と剰余金と一般会計への繰り出し金との関係でございますが、後期高齢者医療特別会計についてもかなりの一般財源の繰り出しで賄っていますので、その剰余金が逆に余った場合には一般会計に戻してもらうということも可能でございますので、その戻しの部分でございます。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

そういうことであれば費目存知で1千円経常すべきじゃないかと思うんですよ。支出で、これ新規ということですよ、ゼロですから、

補正はゼロになっているんですよ。

○ 議長 山里昌輝

仲村渠一男総務課長。

○ 総務課長 仲村渠一男

頻度的に多い場合には費目存置である年、ない年、使い分けたりするんですが、これだけの金額を戻すというのは、当初想定していなかったのではないかと考えております。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第38号、平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第38号、平成21年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決されました。

日程第9 平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

○ 議長 山里昌輝

日程第9、議案第39号、平成21年度久米島下水道事業特別会計補正予算(第1号)についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第39号、平成21年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)の概要についてご説明申し上げます。

平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正(第1号)予算概要は歳入歳出それぞれ27万5千1千円を増額し、総額を2億5千709万9千円と定めます。

歳入としましては、4款1項繰越金で263万8千円の増となっております。

歳出としましては、下水道維持管理費につきましては、浄化センターの各設備マンホール中継ポンプ設備の運転不調及び故障により正常運転管理に支障をきたしているため修繕費155万1千円、今後緊急な機器の修繕等に対応するため予備費を100万円、合計255万1千円を計上しております。

以上が、平成21年度下水道事業特別会計の補正予算の内容となります。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案第39号、平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第39号、平成21年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 山里昌輝

休憩します。(午後12時00分)

○ 議長 山里昌輝

再開します。(午後13時27分)

日程第10 4号農道整備工事請負契約について

○ 議長 山里昌輝

日程第10、議案第43号、4号農道整備工事請負契約についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第43号、4号農道整備工事請負契約について。4号農道整備工事について、下記のとおり請負契約を締結したいので地方自治法第96条第1項第5号の規定により、議会の議決を求める。

記

1. 契約の目的 4号農道整備工事
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約の金額 44,205,000円
4. 契約の相手方 住所 久米島町宇鳥島

商号 国洋建設(株)

氏名 代表取締役 国吉洋一

平成21年9月11日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

4号農道整備工事の請負契約の締結については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を得る必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

別紙におきまして、仮契約書と地図を添付してあります。今回の入札結果ですが、12社を指名し、その内の1社が最低制限価格を切っておりますので、オミットとなり落札した業者が請負比率80.11%で落札しております。ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

2つほど確認したいと思います。添付図面なんですが、この方の上の方、短いラインがありますね。これから外れて仲地の昌栄さんの山羊小屋に行く道、それと逆側は上江洲先生の墓に行く道、この図面によるとアスファルトが若干ずつ抜けるるんですよね、この辺は企業努力の工事でやるのか、これを仮にこの工事でいきますと、そのまま図面どおりやれば、これも当分できないというかたちになるんですよ。アスファルトはたぶん10mぐら

い残るんじゃないかというような気がしますのと。どう処理していくかということと、道路側面の天端が側溝の天端と同一の高さになっているか確認されているかどうか、いわゆる農機具のですね、ここは確かU字溝が入っていますので、真っ直ぐ横断なら7馬力の耕耘機がそのまま通れるんですが、落差ついたらロータリーが掛かってしまって入らない状態になってしまいます。この2点説明してください。

○ 議長 山里昌輝

盛本實建設課長。

○ 建設課長 盛本實

最初の質問ですけれども、アスファルトが入ってないところがありますが、その分を今回の工事で手当すると、これは地主さん含めでの検討で、それは事務局も約束していますので、それはやります。側溝の断面なんですが、今件も地元で何度も調整して、農家の意見も聞いて圃場と道路の取り付けの高さ含めて検討しております。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから議案43号、4号農道整備工事請負契約についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひします。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。従って、議案第43号、4号農道整備工事請負契約については、原案のとおり可決されました。

日程第11 平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について

○ 議長 山里昌輝

日程第11、認定第1号、平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

認定第1号、平成20年度久米島町一般会計決算概要についてご説明申し上げます。決算資料の1ページからお願いしたいと思います。

平成20年度久米島町一般会計決算書は歳入において、71億5千285万8千円で対前年度と比較すると5億9千178万7千円の増。

4ページ目になりますが、歳出では70億4千522万7千円で対前年度5億1千840万1千円の増となっており、歳入歳出とも増額となっております。

続きまして7ページをお開き下さい。

また、歳入歳出、差し引き額が1億763万1千円となり、その内657万2千円が繰越明許費となり差額の1億105万9千円が実質収支額となります。

財政指標からみますと、実質収支比率が2.4%と前年度と比べ1.6%改善されているものの依然として低い状況にあり3%～5%が望ましいとされる指標からすると弾力性のない財政状況にあります。

財政運営が厳しい状況にある一方で公債比率が27.1%、こちらについては国の保証金免除の公債費繰上償還制度を実施したことも影響したことにより対前年度2.8%上昇しております。

また、実質公債比率が15.6%と前年度比0.2%減となっているものの、以前高い状況にあります。

経常収支比率は、義務的経費の抑制に努めた結果87.6%と前年度に比べ2.3%減と改善しており適正使用といわれております80%台前半を目標に、更なる削減に努めてまいります。

公債費負担比率においては、15%が警戒ラインで20%を超えると危険ラインと言われており、本町ではさらに5ポイント以上高い値となっております。また実質公債比率が18%を超えると地方債許可団体をなり地方債の発行が国の許可がないと借り入れできない状況となります。本町では、20年度決算において15.6%である事と地方債の償還ピークが21年度にあることを勘案すると、地方債許可団体へ転落するおそれがある状態にあります。

対策としましては、地方債の発行の抑制及び平成19年度から21年度の3カ年の時限立法として実施されております保証金免除による繰上償還制度を利用し、平成19年度においては470万2千円、平成20年度1億7千450万9千円実施しており、平成21年度についても5千564万8千円を実施し、公債費負担比率の低減に努めます。

続きまして8ページをお開き下さい。

平成20年度、決算にかかる歳入決算から順に主な概要を申し上げます。歳入構成から見ますと地方交付税が49.7%と最も高く、普通

交付税においては、対前年度と比較しても1億7千996万9千円の増となっております。増額理由としては公債費の増大により基準財政需要額に反映されたことや、平成20年度より新設されました地方再生対策費等が影響したと思われま

す。続いて地方債が9.9%で対前年度と比較すると8千844万1千円の増となっております。国庫支出金については、構成比9.0%となっておりますが、新規事業により循環型社会形成推進交付金事業及び久米島縦断線整備事業を着工したことにより、対前年度2千264万3千円の増となっております。

県支出金は9.9%で対前年度8千844万1千円、14.4%の増で国庫支出金同様、普通建設事業の継続事業について事業費増が要因となり、決算額の増額に繋がっております。

一方久米島町の自主財源の柱となる地方税においては、構成比9.2%と依然低い状況にはありますが、前年度と比較しますと、2千428万9千円の増収となっております。

個人住民税△883万5千円となっておりますが、法人分については526万2千円の増額、また固定資産税については2千467万6千円の増となっており、軽自動車及び市町村たばこ税についても増収となっております。

徴収率では昨年度81.8%～84.7%、2.9%上昇し徐々にではありますが、徴収率向上対策の成果が出てきております。今年度についても引き続き県税事務所とタイアップしながら徴収率の向上に努めてまいります。

財産収入では町有地の売り払いで2千166万6千円の財産処分となり、阿里地区宅地造成地区、第1区、区画による処分やその他、町有地処分によるものとなっております。

地方債の発行では6億円を超える借入金となっておりますが、対前年度1億3千659万2千円の減となっております。地方債抑制に努めております。また今後についても地方債の発行については久米島町の経済状況を視野に入れながら制限を設けていきたいと考えております。

続きまして39ページからお願いしたいと思います。歳出決算額の概要を申し上げます。性質別に見ると義務的経費である人件費が23.2%となっておりますが、前年度と比較すると2千362万3千円の減となっております。これについては平成18年度及び19年度より引き続き職員給与の独自カットを行っていることが影響しております。

次に公債費が19.1%となっております支出額も13億円を超えており要因として償還額が増えたことと国の保証金免除繰上償還金制度を活用したことによるものが影響しております。

普通建設事業費については、構成比17.6%と約13億円となり、補助事業にクリーンセンター費の循環型社会形成推進交付金事業が4億2千934万5千円新規事業であります。実施したことにより対前年度1億5千255万4千円の増額が大きな要因となっております。繰出金については、4千681万3千円の減となっており、国民健康保険特別会計繰出金853万6千円の減、老人保健特別会計繰出金、8千383万8千円の減額が大きな要因となっており、特に老人保健特別会計については、平成20年度より後期高齢者医療特別会計の新設に伴い大幅な減額となり後期高齢者医療特別会計については、3千753万6千円の増となります。積立金についても毎年度実施しております地域振興基金に1億40万円を積み立て、また財政

調整基金に1億677万1千円、減債基金に1千872万5千円を積み立てるなど、総額2億9千113万円を積み立てており対前年度954万3千円の増額となっております。

以上が、平成20年度久米島町一般会計の決算概要であります。冒頭の財政指標説明の中におきまして申し上げました公債負担比率及び実質公債比率、経常収支比率の同行に注視しながら、また交付税の算定方法と目まぐるしく変化する国の動向も視野に入れつつ、担当課において試算されているシュミレーション等を十分分析し適正な財政運営に努めてまいり所存であります。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案については、後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくよう、ご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

自主財源のメインであります町税の決算状況を税務課長お願いします。

○ 議長 山里昌輝

平田明税務課長。

○ 税務課長 平田明

ただいまの宮田議員の質問の決算状況なの

ですが、平成20年度におきましては、町税全体の調定額は7億9千238万7千271円でありませぬ。前年度と比較して1千227万7千620円、1.5%の減となっております。

原因としましては、滞納整理の強化に取り組んだことにより滞納繰越し分の調定が前年度に比べ1千569万3千122円、10.2%の減となっており、逆に収納額では1千184万6千584円、45.2%の増に転じており、全体の収入済額は6億6千73万7千197円で前年度に比べて2千429万675円、3.8%増加しております。

収納率を見ますと前年度よりも4.3%増えて83.4%となっており、県下で35位に位置しております。

不能欠損額に関してなんです、1千265万1千107円で前年度の53.2%減となっております。収入未済額に関しても2千216万8千992円、対前年度で15.7%の減で1億1千888万957円となっております。

次に地方譲与税等の交付金に関しては全体で846万3千円の4.9%の減となっております。徴収については20年度より自主財源の確保を図る意味から延滞金の完全徴収を実施した関係で、対前年度338万4千180円の増額となっており、今年に限っても先週末で既に300万円入っておりますので、21年度に限ってはまだ増加すると思ひます。予測としては600万円ないし800万円の増収が予想されます。

差し押さえの現状ですが、実績としましては不動産、動産、債権、交付要求で30件の差押さえをいたしまして2千98万9千73円の徴収をおこなっております。

以上が財務関連収入の概要であります、細かいことに関しては、後日の決算特別委員会の方で報告していきたく思ひます。

○ 議長 山里昌輝

2番宮田勇議員。

○ 2番 宮田勇議員

徴収率においては、年々右肩上がりです。昨年度が81.8%、20年度決算で84.7%とはいいま
すものの、県下41市町村の中で35位というの
は大変徴収率の低いものだと思います。

次年度に向けてしっかり努力してもらいた
いと思います。また詳しいことは委員会で質
疑をします。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

お諮りします。本案については議長を除く
13人の委員で構成する決算審査特別委員会を
設置し、これに付託して審査することにした
いと思います。

ご異議ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。

従って本案については、議長を除く13名の
議員で構成する決算審査特別委員会を設置
し、これに付託して審査することに決定しま
した。

日程第12 平成20年度久米島町国民健康保
険特別会計歳入・歳出決算認定
について

○ 議長 山里昌輝

日程第12、認定第2号、平成20年度久米島
町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定
についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 大田治雄副町長

認定第2号、平成20年度久米島町国民健康
保険特別会計決算概要について申し上げます。

決算書の1ページをお開き下さい。

平成20年度久米島町国民健康保険特別会計
の決算額は歳入において、12億7千714万2千
円で前年度と比較すると△1千103万3千円の
減。

歳出決算においては、12億7千91万5千円で
対前年度比△1千619万4千円の減となりまし
た。

歳入決算から歳出決算を差し引いた622万7
千円が翌年度繰越剰余金となります。

決算書の7ページをお開き下さい。

歳入の主な概要についてご説明申し上げま
す。構成比から見ますと、5款、国庫支出
金が40.4%と割合が高く、前年度と比較する
と△1千897万円の減で老人医療費拠出金額が
後期高齢者医療制度の施行に伴い縮減となっ
たために充当財源として、国庫支出金におき
ましても減額となっております。

次に、10款、共同事業交付金が17.4%で前
年度比1千245万4千円の増となり、共同事業
交付金は高額医療費にかかる支援分及びレセ
プト1件あたり30万円以上の医療費に関して
8万円を超え80万円未満までの部分の合算額
の100分の59に相当する額が保険財政共同安
定化として国保連合会から交付される財源と
なります。

7款、前期高齢者交付金は、後期高齢者医
療制度の施行に伴い新規に創設されたもの
で、対象が65歳以上74歳未満の方が前期高
齢者対象者となり5千770万9千円の歳入決
算となりました。

算定につきましては、国保被保険者全体に占める前期高齢者の割合及び概算給付金見込額を算出し、全体の交付金額を決定する方法となります。

1 款、国民健康保険税につきましては、1 億7千987万6千円の決算となり、前年度比△3 千860万8千円の減となりました。収入額減の要因としまして、75歳以上の方が、平成20年4月に後期高齢者医療制度へ移行したことに伴い約1400名の被保険者が減ったための影響と考えております。

徴収率は調整交付金の減額対象となる一般被保険者現年度分におきまして87.6%～89.1%へ上昇し1.58ポイント増となり、今回の伸びによって調整交付金のカット率が9%～7%へ縮減されることとなりました。

また現年度分徴収率から見ますと前年度は県内最下位でしたが平成20年度徴収率の伸びによって5ランクアップしております。

続きまして、13ページから、歳出決算額に対する概要についてご説明申し上げます。国民健康保険特別会計の歳出決算額に占める割合では保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金、共同事業拠出金が主になり、歳出決算額から見た構成比につきましても59%と決算額の約6割を保険給付費が占めております。

2 款、保険給付費を前年度と比較しますと、保険給付費、高額療養費を含めまして7億4千985万2千円の決算となり、前年度と比1千559万8千円の増額となりました。給付別に見ますと一般被保険者、療養給付費の伸びが最も大きく4千640万6千円の増となり、若年層が病气等になる傾向が見られる結果となり、一般被保険者の療養給付費が伸びをみせたことに

よって、高額療養費も同じく増加し、前年度比1千540万3千円の増となりました。

2 款、3 項出産育児一時金では、公立久米島病院の産婦人科が非常設となったことにより出生数の低下を懸念していましたが、町単独による助成金や出産育児一時金委託制度によって前年度の29名から35名へと6名増えています。

3 款、後期高齢者支援金につきましては、後期高齢者医療制度の施行に伴い、平成20年度より新たに新設される75歳以上の被保険者が納める後期高齢者保険料だけでは、保険運営ができないため現役世代から支援するための財源となります。

支援金の算出につきましては、国保加入被保険者数に国が定める一人あたりの算定額を乗じた金額が当該年度の支援金となります。

4 款、前期高齢者納付金につきまして65歳から74歳の方を対象とした健康保険組合、国民健康保険間の医療費負担の調整するための制度で前期高齢者は定年退職等で健康保険組合等から国民健康保険へ以降す方が多いため国民健康保険の保険料負担を重くなることを軽減するため、どの医療保険も同じ前期高齢者加入率と仮定して財政調整する仕組みであります。

算出につきましては、国保加入被保険者数に国が定める一人あたりの算定額を乗じた金額が当該年度の納付金となります。

また4 款、1 項3 目病床転換支援金も新たに新設されており、現在の病院等の病床ベットは急性期の疾患を扱う一般病床と慢性期の疾患を扱う療養病床等に区分されており、療養病床の患者の場合、医師の対応がほとんど必要無い方が半数を占めているといわれ、こ

れらは社会的入院として医療費の問題とされています。

国はこうした社会的入院の解消を目指して療養病床と老人保健施設に居住系サービス施設等へ転換を進めております。

療養病床については、医療保険適用のものと介護保険適用のものがあり、このうち医療保険適用の療養病床の転換支援として平成20年度から5カ年間病床転換支援金を納付することになっています。

5款、老人保健拠出金におきましては、対前年度マイナス1億9千892万4千円の大幅な減額となり、老人医療制度から後期高齢者医療制度へ移行されたことによって医療給付関連経費が後期高齢者広域連合によって会計処理されるための縮減となっております。

以上が平成20年度国民健康保険特別会計の決算概要となります。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

法案については、後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

○ 議長 山里昌輝

6番仲村昌慧議員。

○ 6番 仲村昌慧議員

平成20年度の国保税の徴収率によって平成21年度のペナルティーが決定されるわけであ

りますが、平成20年度の当初見積もりで何パーセントのペナルティーで金額にしていくらのペナルティーが課されたかお伺いします。

○ 議長 山里昌輝

日高清有福祉課長。

○ 福祉課長 日高清有

先ほど副町長の方からも報告がありましたが、9%から7%で推移されていますが、金額がいくらかというのは資料を持ち合わせておりませんので、後ほど調べてお答えしたいと思います。

○ 議長 山里昌輝

7番喜久里猛議員。

○ 7番 喜久里猛議員

今の説明の中で17ページです。歳出の方で病床転換支援金額ということで説明していたんですが、その説明の中でちょっと気になったものがあります。良いような悪いような、病床にいるんだけど実際には医者の手がいらないうことで老人ホームへ移動ということを知ったんですが、聞き違いだったらごめんなさい、となると当然久米島になりますと老人ホームの法律改正でもあったんでしょうか。国の方からの指示だということだったんですが。

○ 議長 山里昌輝

日高清有福祉課長。

○ 福祉課長 日高清有

これにつきまして、私の勉強不足で中身についてまだよく分かりませんので、後ほど調べてお答えします。

○ 議長 山里昌輝

他に質疑ありませんか。

これで質疑を終わります。

お諮りします。本案については議長を除く

13人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

ご異議ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

ご異議なしと認めます。

従って本案については、議長を除く13名の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第13 平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について

○ 議長 山里昌輝

日程第13、認定第3号、平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 大田治雄副町長

認定第3号、平成20年度久米島町老人保健特別会計決算概要についてご説明を申し上げます。

決算書の1ページからお願いしたいと思います。平成20年度久米島町老人保健特別会計の決算概要についてご説明申し上げます。歳入決算総額1億2千644万円。

2ページ目になりますが、歳出決算総額、1億2千335万7千円となり、308万3千円を翌年度への繰越剰余金といたします。

それでは4ページ目をお開き下さい。歳入決算額から主な概要について申し上げます。歳入構成からすると支払基金交付金が6千695

万円と割合がもっとも大きく、前年度と比較しますと△4億2千338万1千円と大幅な減額となりました。

要因としましては、平成20年度に後期高齢者医療制度が施行されたことに伴い、以降の給付費関係については後期高齢者広域連合が実施するため、現行の老人医療特別会計で決算される給付費につきましては、過年度分にかかる経費となります。

次に、国庫支出金3千976万6千円で前年度と比較すると△2億9千547万7千円、県支出金1千69万7千円の決算となり前年度と比較すると△7千72万円の減と縮減となっております。

先ほど申し述べたとおり老人医療特別会計におきましては、年度送りによる過年度精算を対象としておりますので、今後とも縮減することが想定され、過年度精算が完了した時点で廃止されることとなっております。

諸収入、還付金589万6千円の決算につきましては、国民健康保険連合会への診療報酬支払い後に、レセプト等において過誤が発見された場合、翌月の診療報酬で相殺するが、過誤額が大きい場合には返還金が生じるために国保連合会からの還付金として収入された額となります。

7ページをお開き下さい。

歳出決算では、療養諸費として1億366万6千円となり、前年度比△8億9千3万円の大幅な縮減となりました。

歳入でも申し上げましたが、老人保健特別会計で決算される経費については、過年度分が主になり、現年度にかかる医療給付費は全て後期高齢者連合での決算となるため大幅な縮減となった要因であります。

前年度繰上充用金では1千957万4千円の決

算となり繰上充用金は前年度決算時に赤字が生じた場合、翌年度の予算額から補填し赤字を解消する制度で、平成19年度決算に赤字が生じたため、平成20年度予算から補填した額となります。

以上が、平成20年度久米島町老人保健特別会計決算概要となります。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

法案については、後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

お諮りします。本案については議長を除く13人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

ご異議ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

ご異議なしと認めます。

従って本案については、議長を除く13名の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第14 平成20年度久米島町後期高齢者

医療特別会計歳入・歳出決算認定について

○ 議長 山里昌輝

日程第14、認定第4号、平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 大田治雄副町長

認定第4号、平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計決算概要についてご説明申し上げます。

決算書の1ページからお願いしたいと思います。

歳入決算総額が7千294万9千円。歳出総額6千841万4千円となり翌年度への剰余金が453万5千円の繰り越しとなります。

後期高齢者医療特別会計におきましては、平成20年度の4月に施行されたことにより、平成20年度決算が初年度となります。

4ページ目をお開き下さい。

歳入決算の概要から申し上げます。1款、後期高齢者保険料におきましては3千319万3千円の決算となり、徴収率では年金から納めていただく特別徴収では100%、納付書払いとなる普通徴収では89.2%全体といたしまして、96.9%の徴収率となります。

納付方法が特別徴収と普通徴収に分かれているのは年金受給額が18万円以下から受給額から介護保険料後期保険料を差引額が2分の1以上ある場合、または前年度の所得額から大きな変更がある場合に普通徴収として納付書払いとなります。

3款、繰入金では3千753万6千円の決算と

なり、保険基盤安定繰入金3千629万5千円を義務的繰り入れとして決算しております。

保険基盤安定繰入金は低所得者及び社会保険の扶養認定されていた方にかかる軽減措置額に対し、県が4分の3、町が4分の1の負担割合を一般会計から繰り入れる制度で、県負担分につきましては、一般会計の県支出金の中で決算されております。

続きまして決算書の7ページ。歳出決算概要についてご説明いたします。後期高齢者医療特別会計にかかる給付等については全て後期高齢者広域連合からの給付となるため、町としての歳出決算が事務的な経費や後期高齢者広域連合への負担金が主となります。

1款、総務費におきましては、保険証や督促状等の発送費用となる事務費の決算額となっております。2款、後期高齢者医療広域連合の納付金では久米島町が徴収した保険料と一般会計から繰り入れられる保険基盤安定繰入金等を合算し経費が決算額となります。

以上が平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計決算概要となります。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

法案については後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

お諮りします。本案については議長を除く13人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

ご異議ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

ご異議なしと認めます。

従って本案については、議長を除く13名の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第15 平成20年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について

○ 議長 山里昌輝

日程第15、認定第5号、平成20年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 大田治雄副町長

認定第5号、平成20年度久米島町下水道事業特別会計決算概要についてご説明申し上げます。

決算書の1ページをお開き下さい。

平成20年度の久米島町下水道事業特別会計決算は歳入につきましては、2億5千362万6千円で対前年度で2千847万円の減。

歳出につきましては2億5千105万2千円で対前年度2千933万6千円の減。歳入歳出の差引額257万4千円が繰越額となり、実質収支額25

7万4千円となっております。

歳入決算を性質別に見ますと一般会計繰入金66%、国庫支出金17%、地方債11%の順になっています。

歳出では、大半を占める事業箇所につきましては、字宇根、真座地区の1工区、2工区、3工区の3件で管延長約900mをおこないました。また委託業務として字真座地区の実施測量委託となっています。

以上が、平成20年度久米島町下水道事業特別会計の決算概要となっております。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

法案については後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

お諮りします。本案については議長を除く13人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

ご異議ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

ご異議なしと認めます。

従って本案については、議長を除く13名の議員で構成する決算審査特別委員会を設置

し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第16 平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について

○ 議長 山里昌輝

日程第16、認定第6号、平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 大田治雄副町長

認定第6号、平成20年度久米島町農業集落排水事業特別決算概要についてご説明申し上げます。

決算書の1ページをお開き下さい。平成20年度の久米島町農業集落排水事業の歳入につきましては、繰入金362万8千円、下水道使用料金の30万7千円となっております。

歳出につきましては、一般管理費203万円、公債費が191万9千円となっております。

以上が、平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計決算の概要となっております。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

法案については後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願い

いたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

お諮りします。本案については議長を除く13人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

ご異議ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

ご異議なしと認めます。

従って本案については、議長を除く13名の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

日程第17 平成20年度久米島町水道事業会計決算認定について

○ 議長 山里昌輝

日程第17、認定第7号、平成20年度久米島町水道事業会計決算認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 平良朝幸町長

認定第7号、平成20年度久米島町水道事業決算概要について説明をいたします。

平成20年度における久米島町の水道事業の業務状況について、年度末給水栓数3,782線、給水人口8,924人に対して、生活用水の供給をしまいりました。給水栓数につきましては、対前年度に比べて30栓増、給水人口は24人増となっております。

1ページをお開き下さい。

営業状況に関しましては、水道事業収益は税込み2億4千259万1千397円で、水道事業費用は税込み2億2千196万8千255円となっております。

3ページをお開き下さい。

3ページの損益計算書、下から3行目、当年度純利益は1千299万5千889円であります。前年度からの繰越欠損金1千842万2千336円があるため、当年度利益を累積欠損金に充当し542万6千447円を当年度未処理欠損金として次年度へ繰り越すこととなります。

2ページにお戻り下さい。

資本的収支では、資本的収入額が資本的収支額に不足する6千399万6千128円は、当年度分消費税及び地方消費税、資本的収支調整額221万7千328円と過年度分損益勘定留保資金、6千177万8千800円で補填しました。

建設改良工事につきましては、儀間ダム、儀間川総合開発事業の建設費負担を国庫補助事業にて実施しております。

以上であります。よろしくご審議をお願いします。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

法案については後日予定されております決算審査特別委員会において細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

お諮りします。本案については議長を除く13人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

ご異議ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

ご異議なしと認めます。

従って本案については、議長を除く13名の議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

以上で全会計の決算認定の大綱的な質疑は終了します。

お諮りします。

決算審査特別委員会委員長に建設経済委員長の山城宗太郎委員、副委員長に総務文教民生委員長の宮田勇議員を選出したいと思いません。

ご異議ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。

従って、決算審査特別委員会委員長に山城宗太郎委員、副委員長に宮田勇議員を選出することに決定しました。

日程第18 平成20年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について

○ 議長 山里昌輝

日程第18、報告第5号、平成20年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 大田治雄副町長

報告第5号、平成20年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について、地方自治法第243条の3第2項の規定により、平成20年度沖縄県町村土地開発公社事業及び決算を別紙のとおり報告いたします。

平成21年9月10日提出

久米島町長 平良朝幸

添付資料の決算報告書の12ページが当町にかかる部分ではありますが、大枠の中の真ん中側、久米島支社平成16年久米島多目的公園埋立地等の原案が該当するものであります。儀間、嘉手苧地先の用地のことです。ご報告申し上げたいと思います。よろしく願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これで報告第5号、平成20年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告についての報告を終わります。

○ 議長 山里昌輝

以上で本日の議事日程は全て終了しました。

これで散会します。

お疲れ様でした。

(散会 午後2時25分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 山里昌輝

署名議員（議席番号2番） 宮田 勇

署名議員（議席番号3番） 饒平名 智弘

平成21年（2009年）

第7回久米島町議会定例会

3日目

9月25日

平成21年 第7回久米島町議会定例会

会議録 第3号

招集年月日	平成21年9月25日 (金曜日)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	9月25日 午前10時08分	議長	山里 昌輝
	散会	9月25日 午前10時40分	議長	山里 昌輝
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	崎村 正明	8番	幸地 良雄
	2番	宮田 勇	9番	上里 総功
	3番	饒平名 智弘	10番	安村 達明
	4番	宇栄原 総清	11番	宮里 洋一
	5番	山城 宗太郎	12番	翁長 学
	6番	仲村 昌慧	13番	平良 義徳
	7番	喜久里 猛	14番	山里 昌輝
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	12番	翁長 学	13番	平良 義徳
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	桃原 秀雄	書記	
	係長	安田 栄		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	佐久田 等	
副町長	大田 治雄	商工観光課長	平田 光一	
教育長	比嘉 隆	環境保全課長	田端 智	
総務課長	仲村渠 一男	建設課長	盛本 實	
町民課長	大道 幸子	農林水産課長	平良 朝幸	
プロジェクト推進室長	山城 保雄	農業委員会事務局長	前里 良正	
税務課長	平田 明	上下水道課長	又吉 敏雄	
福祉課長	日高 清有	消防長	山城 英明	
会計管理者	仲地 泰	空港管理事務所長	平良 進	

平成21年 第7回久米島町議会定例会

議事日程 [第3号]
平成21年9月25日(金)
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	121p
第2	認定第1号	平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について	131p
第3	認定第2号	平成20年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	131p
第4	認定第3号	平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について	131p
第5	認定第4号	平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について	131p
第6	認定第5号	平成20年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について	131p
第7	認定第6号	平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について	131p
第8	認定第7号	平成20年度久米島町水道事業会計決算認定について	131p
第9	報告第6号	平成21年度健全化判断比率及び賃金不足比率の報告について	137p
第10	発議第5号	改正賃金業法の早期完全施行等を求める意見書について	138p
第11		閉会中の議員派遣の件について	138p
		閉会	139p

(午前10時08分 開議)

○ 議長 山里昌輝

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程に入る前に建設課長から、去った7月の臨時会での答弁に一部修正がありますので、訂正の答弁を行います。

○ 建設課長 盛本實

去った7月の臨時会において、建設課長、いわゆる私の方が、議員の質問に対して一部事実と異なるということが判明しましたので、議事録の修正をお願いしたいと思います。

内容としましては、幸地議員からの質問の経済危機対策交付金事業について、区長会から要望があったかという質問に対して、1件もありませんでしたという答弁をしております。

続きまして、喜久里議員から再確認の上で、本当に1件もなかったかという質問に対して、1件もありませんでしたという答弁をしております。

その後、詳しい調査をしましたら、ある字の区長から1件要望があったということが判明しましたので、議事録の一部修正、1件もなかったということ、1件ありましたという文言の修正をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 山里昌輝

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120

条の規定によって、12番翁長学議員、13番平良義徳議員を指名します。

日程第2 平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について

日程第3 平成20年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第4 平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第5 平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第6 平成20年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第7 平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について

日程第8 平成20年度久米島町水道事業会計決算認定について

○ 議長 山里昌輝

日程第2、認定第1号、平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について。

日程第3、認定第2号、平成20年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について。

日程第4、認定第3号、平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について。

日程第5、認定第4号、平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について。

日程第6、認定第5号、平成20年度久米島

町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について。

日程第7、認定第6号、平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について。

日程第8、認定第7号、平成20年度久米島町水道事業会計決算認定についてを一括議題とします。

本案の審査については、決算審査特別委員会に付託してありましたので、決算審査特別委員長の報告を求めます。

山城宗太郎決算審査特別委員長。

(山城宗太郎決算審査特別委員長登壇)

○ 決算審査特別委員長 山城宗太郎

平成20年度決算審査特別委員会の委員長報告を行います。

決算審査特別委員長の山城宗太郎でございます。

ただいまから、決算審査特別委員会に付託されました認定第1号、平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について。

認定第2号、平成20年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について。

認定第3号、平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について。

認定第4号、平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について。

認定第5号、平成20年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について。

認定第6号、平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について。

認定第7号、平成20年度久米島町水道事業会計決算認定について。

審査の経過と結果をご報告申し上げます。

決算審査特別委員会が9月11日の本会議で設置され、付託された決算認定7議案について、9月14日、15日、16日の3日間にわたり、執行部から各担当課長、班長・主幹・主査及び担当の出席のもとに厳正に審査を行いました。

決算審査特別委員会における質疑の主なものと、それに対する答弁についてご報告いたします。

まず、一般会計について質疑答弁の主な概要を申し上げます。

1、町税の収入未済額が高額であるが、その中で不能欠損処理の方法はという質疑に対して、不能欠損については5年の時効が完成するが、滞納処分の停止後3年を経過したもののについて不能欠損として処理していますとの答弁でした。

2、20年度は財産差押え、競売等を行ったことがあるかという質疑に対し、動産1件と預貯金の差押え16件、裁判所からの交付要求12件、合計で約2千98万円を処理しましたとの答弁でした。

3、町税の徴収率が83.4%、前年度に比べて4.4%増えているが、その要因は、また、楽天を誘致した後の税に対する効果はという質疑に対し、ここ2カ年大きな台風の襲来がなく農作物の豊作が要因の一部だと思います。また、楽天誘致の経済効果についての税収については、見えにくいところがありますとの答弁でした。

4、琉球エアークommューターが赤字になった場合の対応はという質疑に対し、JTAとグループのかたちでの補填になりますという答弁でした。

5、決算意見書の基金取り崩し額がなぜ財政調整基金だけが上がっているかという質疑に対し、意見書の表は単年度収支のみの計算表であり、その計算方法の該当する基金が財政調整基金でありますという答弁でした。

6、琉銀と沖縄電力からは配当金があるが、黒字経営している久米商船からの配当金がないのかという質疑に対し、新造船の建造費の積立に充てているためだと思いますとの答弁でした。

7、久米島多目的公園の570万円の内容はとの質疑に対し、土地開発公社に対する久米島多目的公園造成費の利息のみであるとの答弁でした。

8、不能欠損の時効成立の中で、払える能力があるとか財産があって時効成立した者があるかとの質疑に対し、中には払える能力がある者も時効成立してしまったというのもあると思いますとの答弁でした。

9、平成20年度は硫黄鳥島の調査はなかったか。また、今後町民から募集をして視察に行ってはとの質疑に対し、20年度は調査はありませんでしたが、今後は町民からの募集で視察も考えていきたいと思いますとの答弁でした。

10、公用車が97台と多いようだが、きちんと点検整備は行われているかとの質疑に対し、しっかり所管課の使用者が点検を行っていますとの答弁でした。

11、公営住宅使用料の収入未済額が多いがとの質疑に対し、今回非常に収入未済額が多いのは、職員の怠慢で多額の滞納が出ています。今後いろんな処分等も含めて検討する予定ですとの答弁でした。

12、火葬料が高いように思われるが、何カ

所か見積もりをさせて委託させているのかとの質疑に対し、火葬料は那覇の業者に比べても高いとは思いません。また、火葬場の管理運営などこれまで責任をもってやっているのでも今のところ別業者は考えていませんとの答弁でした。

13、学校給食費の未納金額が累積で1千532万円あるが、徴収方法はとの質疑に対し、過年度分については督促状を2回交付し、夏休みには調理員と一緒に徴収業務をしていますとの答弁でした。

14、公営墓地設置等支援事業での調査委託料とはとの質疑に対し、墓地基本計画を策定するために現状の状況を調査するという委託料ですとの答弁でした。

15、五枝松等の巡回診断結果報告書の中にヤドカリ草の発生報告はなかったかとの質疑に対し、報告がありまして、見える範囲は除去しましたが、その後、現地確認はしていませんが、確認して処理していきたいと思いますとの答弁でした。

16、楽天キャンプ時にホテルドームの夜間使用について、一般も使えるように楽天側と調整するということがあったがとの質疑に対し、今後は町民も使えるよう調整をしますとの答弁でした。

17、サトウキビ搬出は今年度もトラクターでいくのか、クレーンでの搬出はできないかとの質疑に対し、今のところ久米糖ができないという限り無理だと思いますとの答弁でした。

18、バーデハウスの経営赤字が続けば値上げして赤字幅を解消する方法もあるがという質疑に対し、料金を高くした場合利用者が減っていくことが考えられるとの答弁でした。

19、ウミガメ館の決算が赤字であるが、今後続けていくのかとの質疑に対し、久米島の観光施設で一番利用されており、観光について貢献していると思いますので、今のところ続けていく予定ですとの答弁でした。

20、久米島紬組合への貸付金の返済状況あとの質疑に対し、平成14年に貸し付けして、返済は平成15年度から10年計画で、現在480万円返還済みで、後の残金については10年後調整になりますとの答弁でした。

21、消防が広域化されるということだが進捗状況はとの質疑に対して、県の消防広域化推進計画に基づいて平成22年度を目処に進めているところですよとの答弁でした。

22、庁舎内のバリアフリーや郵便局前から役場までの点字ブロックを設置する予定はないかとの質疑に対し、今のところ予定はありませんとの答弁でした。

23、久米島町の住民健診率の状況はとの質疑に対し、国保加入者分で35.6%ですよとの答弁でした。

24、儀間保育園職員給料負担以外に諸手当も同様に派遣職員に支払われているかとの質疑に対し、給与の差額分は補填しているが、諸手当に関しては確認して後日報告しますとの答弁でした。

次に、水道事業会計決算について。

1、儀間川総合開発事業儀間ダムの負担金とタイ原建設工事負担金は総事業費の何パーセントで地元負担金かという質疑に対し、工事費全体の約2.6%で現時点では約2億6千万円の負担金が出ていますとの答弁でした。

次に、下水道事業特別会計歳入・歳出決算について。

1、接続の推進方法かという質疑に対し、

特例措置を設けて推進しています。今後、現場で機会があるごとに声をかけながら促進していきますという答弁でした。

2、一般家庭滞納者の給水停止はあるかという質疑に対し、家庭の生活状況を調査して対応しており、悪質な者に対しては給水停止をしていますという答弁でした。

3、経営状況からして下水道料金の値上げ時期にきているのではとの質疑に対し、料金を上げた場合に接続が落ちる可能性があるので段階的に上げていく必要がありますという答弁でした。

次に、農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算について。

1、農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算については、特に質疑はありませんでした。

次に、国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認について。

1、収入未済額の今後の徴収対応についてはとの質疑に対し、今年度につきましては、財産調査の方から取り組みますとの答弁でした。

2、徴収率が対前年度1.5ポイントアップしている要因はとの質疑に対し、納付については本人と相談しながら納付契約書を作成し、契約書に基づいて徴収をしているのが大きな要因だと思いますとの答弁でした。

次に、老人保健特別会計歳入・歳出決算について。

老人保健特別会計歳入・歳出決算については、特に質疑はありませんでした。

次に、後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算について。

1、短期保険証の発行の取り扱いはとの質

疑に対し、平成20年度から後期高齢者医療制度が始まりましたので、次年度以降から短期証は発生してくると思いますとの答弁でした。

以上が認定第1号、認定第2号、認定第3号、認定第4号、認定第5号、認定第6号、認定第7号の決算審査特別委員会における質疑及び答弁の概要であります。

全会計とも質疑終了後、討論に入りましたが、反対の討論はなく、討論を集結しました。

続いて採決に入り、認定第1号、平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について。認定第2号、平成20年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について。認定第3号、平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について。認定第4号、平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について。認定第5号、平成20年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について。認定第6号、平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について。認定第7号、平成20年度久米島町水道事業会計決算認定について。

原案のとおり賛成の方の挙手を求めたところ、挙手全員でした。よって、決算認定については全会計とも原案のとおり認定すべきものと決定されました。

委員長報告で質疑答弁等多くの面で割愛させていただきましたことをご容赦下さい。

以上をもちまして、決算審査特別委員会審査の委員長報告を終わります。

(山城宗太郎決算審査特別委員長降壇)

○ 議長 山里昌輝

以上で委員長報告を終わります。

委員長報告に対する質疑を省略したいと思いますが、ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。したがって、委員長に対する質疑は省略します。

日程第2、認定第1号、平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定について。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、認定第1号、平成20年度久米島町一般会計歳入・歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定です。

本案は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。したがって、本案は委員長の報告のとおり認定することに決定されました。

○ 議長 山里昌輝

日程第3、認定第2号、平成20年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、認定第2号、平成20年度久米島町国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定です。

本案は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。したがって、本案は委員長の報告のとおり認定することに決定されました。

○ 議長 山里昌輝

日程第4、認定第3号、平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定について。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、認定第3号、平成20年度久米島町老人保健特別会計歳入・歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定です。

本案は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。したがって、本案は委員長の報告のとおり認定することに決定されました。

○ 議長 山里昌輝

日程第5、認定第4号、平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、認定第4号、平成20年度久米島町後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定です。

本案は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。したがって、本案は委員長の報告のとおり認定することに決定されました。

○ 議長 山里昌輝

日程第6、認定第5号、平成20年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、認定第5号、平成20年度久米島町下水道事業特別会計歳入・歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定です。

本案は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。したがって、本案は委員長の報告のとおり認定することに決定されました。

○ 議長 山里昌輝

日程第7、認定第6号、平成20年度久米島町農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、認定第6号、平成20年度久米島町農業排水事業特別会計歳入・歳出決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定です。

本案は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。したがって、本案は委員長の報告のとおり認定することに決定されました。

○ 議長 山里昌輝

日程第8、認定第7号、平成20年度久米島町水道事業会計決算認定について。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、認定第7号、平成20年度久米島町水道事業会計決算認定についてを採決します。

本案に対する委員長報告は原案の認定です。

本案は委員長の報告のとおり認定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 山里昌輝

全員挙手です。したがって、本案は委員長の報告のとおり認定することに決定されました。

日程第9 平成21年度の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

○ 議長 山里昌輝

日程第9、報告第6号、平成21年度の健全化判断比率及び資金不足比率の報告についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

報告第6号、平成21年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について。

平成20年度決算に基づき算定した地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の健全化判断比率及び同法第22条第1項の資金不足比率について、同法第3条第1項及び第22条第1項の規定により、別紙のとおり報告する。

平成21年9月14日提出

久米島町長 平良朝幸

10ページお願いします。添付資料としまして健全化判断比率、資金不足比率、その次のページ、総括表として健全化判断比率の状況、これは平成20年度分となっております。なお、先ほど説明ありましたとおり、参考資料として久米島町の財政指標、平成20年度の決算状況を添付しております。ご審議よろしく願います。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

○ 議長 山里昌輝

質疑なしと認めます。

これで平成21年度の健全化判断比率及び資金不足比率の報告についての報告を終わります。

日程第10 改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書について

○ 議長 山里昌輝

日程第10、発議第5号、改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

3番 饒平名智弘議員。

(饒平名智弘議員登壇)

○ 3番 饒平名智弘議員

発議第5号 平成21年9月25日
久米島町議会議長 山里昌輝殿

提出者 久米島町議会議員 饒平名智弘

賛成者 久米島町議会議員 平良義徳

改正貸金業法の早期完全施行等

を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、会議規則第14条の規定により提出します。

提案理由

2006年12月に改正貸金業法が成立し、出資法の上限金利の値下げ、収入の3分の1を超える加重貸し付け契約の禁止などを含む同法が完全施行される予定であるが、先延ばし金利規制などの貸金業者に対する規制の緩和は再び自殺者や自己破産者、多重債務者の急増を招き兼ねず、許されるべきではない。

今、多重債務者のために必要とされる政策

は、相談体制の拡充、セーフティネット貸付の充実及びヤミ金融の撲滅などである。よって、本町議会は改正貸金業法の完全施行が早期に実施されるように国に求めるため、本案を提出する。

(饒平名智弘議員降壇)

○ 議長 山里昌輝

これで提案理由の説明を終わります。

本案については質疑を省略したいと思いますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 山里昌輝

討論なしと認めます。

これから、発議第5号、改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○ 議長 山里昌輝

挙手全員です。したがって、発議第5号、改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書については原案のとおり可決されました。

日程第11 閉会中の議員派遣の件について

○ 議長 山里昌輝

日程第11、閉会中の議員派遣についてをお諮りします。

本件については県外視察研修及び沖縄県市町村議会議長会共催の市町村議会議員、職員研修会に閉会中の議員の派遣をしたいと思

ます。

これにご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 山里昌輝

異議なしと認めます。よって、閉会中の議員派遣については決定されました。

○ 議長 山里昌輝

以上で本日の議事日程は全て終了しました。

9月10日から長期に渡りました定例会においては、予定されておりました全議案が議員各位並びに執行部のご協力により終了することができました。ここに深く感謝を申し上げます。

これにて平成21年第7回久米島町議会定例会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 午前10時44分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 山里昌輝

署名議員（議席番号12番） 翁長 学

署名議員（議席番号13番） 平良 義徳